

雜報

議政出京

의정대금(議政大君)이 일전에 김승헌을

疑獄後聞

이번의 옥(獄)을 초초한 것이 전임경무관안

의, 희귀(希貴)하다는, 일수는 일시에

아라소, 고관아, 상히(上)히, 있다

다라

근일에 군부(軍部)의 신(新)...

작년으로부터 용달소

군(軍)의 작일에 한성지판소(漢城支判所)에

경무청 고문관

경(京)의 지(地)에, 정부에서, 판리

말이 있고, 술(酒)

다, 천명(天命)에, 감(感)한(感)다

가, 늘(늘)더러, 말(말)하되, 세(世)전에, 술(酒)을

오(五)마(馬)를, 인(人)천(天)부의(部)가서(서)체(體)류(類)한(한)지(地)가(가)오(오)리

다(多)라(多)간(間)다(多)라(多)

경(京)의 지(地)에, 정부에서, 판리

각주(各)인(人)더(多)리

관(官)리(理)더(多)리

인(人)아(亞)라(拉)하(哈)다(多)

도(道)감(監)고(高)가(加)

자(子)가(加), 또(又)한(한)

소(小)한(한)중(中)에(에)

도(道), 추(追)면(면)

본(本)부(部)에(에)

관(官)을(을)하(하)다(多)

관(官)을(을)하(하)다(多)

관(官)을(을)하(하)다(多)

관(官)을(을)하(하)다(多)

内死亡二十名
三十八名とし
來て漸次衰滅
の分は各被害
近年に稀れ
通くも小月
會旁題に提出
沈没廣瀨丙
組員の遺骸
遺骸は風浪
に及び何れも
目下其跡の點
水雷頭三箇迄
有アンクルニ

この軍部には無論再び使用し得るなるべく云々

たし衆國肌を穿くばかりなりし

THE

三

者建れり。又本社工に取付居り。其意不適合
所爲に因り候に付之を撤去し以て新用人は
る。本社に關係無之事
十一月三十日 漢城新報社

百 香 駒 久明一

受領ノ便ニ
附候テニ
領チ以ツテ
通シ御用前
御便利ニ
領々御注文
是出可申候

酒店

井出商店
京都 南門 大町 通

六業賣
ニ取扱
向アラ

八藏
仁川港商況年報
朝鮮新報社

新到着御披露

● 鮮魚 佃煮
● 海苔 大和煮
● 梨 挑梅杏 罐詰
● 堅魚 もんぶ
● 小鳥 大和煮

● 鮮魚 佃煮
● 海苔 大和煮
● 梨 挑梅杏 罐詰
● 堅魚 もんぶ
● 小鳥 大和煮

JAPANESE COAL DEALER
大 日 本 等 唐 津 石 炭 販 賣 所
木村健夫支店

着 荷 銃
西 洋 新 式 銃
二 元 連 込 銃
日 本 村 田 式 銃
廣 告
和 泉 附 屬
護 漢 履
長 西 洋 服 各 種
會 商 帽 子

溫 範 審 査 主
銃 賣 大 勉 強
五 拾 五 以 下
五 拾 五 以 上
壹 錢 八 厘
壹 錢 六 厘
岩 源

第九會正風集

題 霜 炭

豐秋園瑞穂宗匠樂撰

第九會正風集
題 霜 炭
豐秋園瑞穂宗匠樂撰
正風 一 拾 八 卷 四 拾 五 卷 二 卷
投込所 正風會

仁川港商況年報

小林菓子製造所

原田虎一

御披露
一 茶 碗 むし
一 小 田 卷 むし
一 歌 哉 句 ぞ ば
一 稻 荷 う ぞ ば
一 う ぞ ば
一 善 哉
一 御 調 子 哉

御披露
一 茶 碗 むし
一 小 田 卷 むし
一 歌 哉 句 ぞ ば
一 稻 荷 う ぞ ば
一 う ぞ ば
一 善 哉
一 御 調 子 哉

御披露
一 茶 碗 むし
一 小 田 卷 むし
一 歌 哉 句 ぞ ば
一 稻 荷 う ぞ ば
一 う ぞ ば
一 善 哉
一 御 調 子 哉

種痘醫養成所

文藝俱樂部

種痘醫養成所
文藝俱樂部
發行所 博文館

發行所 朝鮮新報社
發行所 朝鮮新報社

官報抄錄

만팔천사십삼인응인도국의슈

모로나, 그침이 유명하여, 한번만

하느님에 대한 믿음이

1000

夏大司馬監上全

부외각서

동정을 보다가 날이 저무러

전일에 활영이, 성공하여, 주정
수의 각서에, 노리하는게서, 모다
활영에, 판니라, 이예출판이, 더야
셔, 일의은화하고, 각처에, 경치듯
크, 못커날, 이곳저곳, 만년면서, 활
공부하디나, 일수는발손스난, 김활
영하나이, 이셔서, 여러활영을과, 더
부러, 어느곳에가서, 활공부하디가
셔, 양설노애, 다각한, 집으로, 도락
을시, 김활영이, 화를매고, 발손으로
올피에, 이골목저목, 오다가, 어너
골목에, 다스르나, 지인가마한나이
어느골목에서, 나와서, 가만히, 가
마도, 조코, 그가마뒤에, 싸라오난,
종계집아허가, 나히열육철제줄터
고, 오천모다, 흰거스로, 하아서, 조
출내개입고, 가파쳐를, 눈질고, 다라
가만히, 그자두지족과, 가만히도가
참쳐음보간키라, 김활영이, 혼자
말노, 싸라가난, 종도저다지, 으엿부
게든, 그가마안에, 잇단스름이야, 노
소산, 모로거니와, 오작으엿부리오
어니골목, 어너집으로, 가만지, 더
따라가, 로리라하고, 멀지막아, 뒤
을웃차, 싸라갈져, 이교군니, 이리저
리, 북촌으로, 가서, 어느집으로드
라가만히, 그집인죽, 비록히술하니,
본체난, 큰집이다라, 그씨가아주어
들지, 아니하고, 허가중, 잇거날, 김
활영이, 그근처에, 두루한이면, 그등
정형, 보면서, 아들이를, 기다이니,
그집이, 그가마, 드려만후해, 다시
아모도, 되황하난, 사대도읍고, 문전
이, 소설하니, 뒤례에, 해아라되, 이
집이, 의무중정할가, 웃어야, 저발
그러, 되양하난, 스름도읍고, 안으로

화가, 안으로서, 나와서, 문을닫고,
드러가만지라, 김활영이, 곳그계집
아희를, 싸라드러가고, 실푸나, 그
속을, 모로안코로, 밭들기를, 기다려
잇다가, 밤이으릭거날, 드러갈곳
을, 차차복죽담아다닐고, 드러가기
가, 이르으나, 김활영인죽, 본히녀
력이크, 날닌지라, 몸을소스, 담으니
어, 드러가서, 두루한너러분죽, 랑
이, 다아들고, 황하니이, 불을현, 잇
거날, 자초을, 가마니하야, 근처에
가서, 등정을보니, 아모일성은없고
불탄발근지라, 그문전으로, 갓가이
드러가서, 문들을, 열므로, 엿분죽, 향안
에, 다른사냥의날, 하낫도읍고, 다한
여인, 들근니가, 이셔서, 엿디호, 절
문여인에, 쿠를을, 버이고, 이를잡
퍼거날, 그절문여인숙죽, 소복을입
고, 속하에안잠난히, 인물이, 일척
이오, 나히, 이심증되야, 외이난지라
드노겄히, 그계집아허가, 안잠거
날, 다모양을보니, 화려한빛손을고
다단슈삼만, 그득하야외이니, 이
일일인지, 짐작지못하야, 을리쥬져
하더니, 그노인이, 이러안조며, 일이
흐춤지고, 그절문여인다라, 일어나
아히, 밤이오리쓰니, 가셔자라하니,
그절문여인이, 그다른방으로, 나
가만히, 그계집아허도싸라가거날,
이스름이, 또된것웃차, 그밖문전에
가셔, 문금그로, 드러다보니, 그절을
머이니, 초흔침전을제고축을도스
고, 우슴절에, 안적거날, 그모양의,
환장부하, 마암을, 도스잔치라, 이
스름이, 못드러가, 슈장을하고슬푸

나하니, 그계집아허가, 뒤밧을양,
아히, 밤이, 미우, 오리엇다아미,
데, 그노인이, 그이회만타, 갈아피
그러하면, 네랑해, 나가서, 자거라하
니, 그계집아허가, 제방으로, 나가
거날, 아함영이, 그절문여인이, 혼
자스난거설, 깃거하야, 그계집아허
나가서, 장들기를기다려, 드러가,
볼니라하고, 좀박질하엿다가, 드러
갈아함, 조음에, 어찌로서, 무슨인
짜나거날, 놀거셔서, 몸을보조익셔
가마니로니, 웃으며, 하의늘, 하
나이, 땅을더머, 드러와서, 쳐도반제
셔, 등정을보니, 아모도, 음한영
을보고, 문을열고, 드러가니, 이스
름이, 그놈드려관후, 뒤안타라, 또가
셔, 문들을으로엿분죽, 그절문계집이
이늘드러오난거설, 보다가, 환기
여이라, 손을잡고, 엿신히, 금천
우에가서, 두리안져서, 화학이, 무
삼하니, 김활영이, 이교군은본토
분대되말하야, 사두를, 모리라하
고, 가라나안져서, 이유하보니, 그
계집과, 그스나의가, 축발을도스고
아져서미와

○본토 김활영이본국의사람이요
영국제일총독의영국지동령이완
이있섯서, 니이안턴의영원지로영
연이그릇을거서라, 영국국민죽환제가
슈명이민하였소스미본토의영원
는자라무릇지동령이영원의영
은바밀죽지다아니, 이영원지
라맛치미국과영국간의영원고의영
죽이런되, 동영이를본지라, 그영고
로아예삼가셔바르게알노랑

の我宮内大臣の

るの事ある時と公共の利益となるべき事とを
と意見したる者は直ちに内閣に向つて意見を
する所あるべしと
●給する所當にも 獨立記者曰く余は國

四月二十二日早曉數十名の惡盜南大門内の聚會所所有金庫(積寶庫)に侵入し七千七百圓を奪ひ去りしことは當時の紙上に暴記する。斯の如し則卷翁へ曰ふ頼朝ブラサン氏の意見は

二里以上に及ぶもの少しとせざぬに土民衆を
設けて雇ひに働かせしめ其の近方に於ける
掘花菱等々の各港は以前は日本人船隻の廻

所あるものゝ
 適するところ
 然らずして
 所あるもの

こと補充せざるべし。由かゝるに當今は其業を営むもの一人！
 實とは部内統
 け就ては亦た
 片津二ヶ月
 船に充つべ
 る否やと
 然るに其の各港には日本船民二十四組
 の船が在り、其の製造とも爲し居れり太
 陸國威威の常崎浦附近なる各港は水の深さ六
 七草に達すれば是の故に然るも亦日に漁民閉
 鎖の因なり、此等の各港は日本船民二十四組
 の船の便宜しからざるを以て日本人の米買
 込等に来るものなし
 光男は渡河就見島より、順天に廻す
 う符路に附れるも、運道の一節なり、詔守もて
 之と相詰す此處運幸と近ること僅かに一里に
 敷てたるものなり、假の七八百は所謂不可航
 敷四百八十千水阻也、廻つて來港する多
 方の損害にして、百つかがる費用を要すべきの

[illegible]

更草の時野
牧説書の當時聚會せし人員が三分一に及ぶ月數七百人口四千池部に比して稍、繁盛二十五兩宛沿海郡とし感情は、非無聞、亦是前近傍に在りては土人等は大抵無能と云ふ事案に使役せらるゝ故其の多しを以て市場は毎月一、六の日に開かれ買賣すも概ひしては賤かじと泣て悔み

人として少くも道義を失ふべき事なしと云ふ
の者諸親類
に當五短
する者も
にも犯せし
るは幾組の一二が土人の奥附近に於て多少の
争ひなきをせしこともあらず由なれば今日本に
至りては安我の或諸互に全く御知せしものい
知く得に亦諸親類の知きは若くす評を得る
るに足る且つ俗弊の諸國には又に察會閣を鑑
して云ふ
平安堂義州府公倉庫なる
もの取れて其の所有の田地を同倉庫川郡公倉
庫の取れて其の所有の田地を同倉庫川郡公倉

は其陳談を
べしと云ふ
とかり
は李が歌
じしたる日
に至れり
△虎害
筑豊は登山麓と距る海上二十五里
巨勢島より三里所故と千餘人口三宮土地皆州
國風は後魏より大落の骨に當り一面海に面す
る及寄立はるなり現方特有の節氣ありと云ふ
へ水路交通の便特に宜しされど日本人の生活
は至りて少なく時は漁船の一舟入港するに
して土人の風俗亦尤異なり
△金田氏教は金田 首法親義警官金田義武
は今寄地方里談の時其妻子は被害せられ
冤獄を蒙りせしが中途にて論吏の目を憐み脱
獄し越前へ逃れしに越前郡は直ちに府吏を發して
龍州郡に廻送し龍州郡は直ちに府吏を發して

に左に記す
近邊の諸國自然山地に遍張し大市場と爲せり
當時日本商人は安山德北嶺で居賣物見入米穀
の原山山口縣平賀小山村喜助(十七年)一人の
るのみ商人と別に商賣を爲さず本年七月前よ
ることに和蘭國よりてうど諸氏の義塾や喜助
を以て法部主事超數領氏登進人と爲り郡内の
各制禁に順照して之れが救恤金と辨ひ難要仕
官は各二三元と、判任官は各一三元を裁損す
るべし最迄の叙父会墓給が所爲なること明白
なれば當の仇は絶絶なりと云ふ直ちに送歸せ

又た仲實を殺して父の仇を報せんと志せり
 家に至り過りて之を慰安せり依て驍騎の子に
 又た仲實を殺して父の仇を報せんと志せり
 家に至り過りて之を慰安せり依て驍騎の子に

こと相互に
長を示し
自ら厭わ
各々相互
中堅人の
三村あり行路高山繞嶺さても低調小丘割う電
△面城 面城は統營を距る六里其間に九門
土人の設警等は互に相輔せざるものゝ如し
赤崙附近より岫巖せらるものにて其勢功益に
祖の遺りし屋宇等を望み五穀に充てずして
酒を文明に見ゆかん目的するに此れを之れ思ふ
すして現に故六月の水と我新紙と傳説しやが
其代價を爲はざる人勢からテ收支相償ばざ
るに付て來年初用より代價を二十四縣に計ふ

第八合正氣集芳錄
附
（前）
（乾）
夜水
○戒拾録
（乾）

是處も差違
 に超伏し平地田圃に乏し淑内戸數三百餘人人口
 是等は自己
 一千五百人民就れ農を以て業とし又多少漁獵
 宗教の他
 を營むものなり市は毎月一六代目と以て相
 開市翌日の外は平生閑寂を營むものなり日本
 商人の交通頻至りて音なり
 上げ町金銀のみに依りたりと、此種處に附た
 獨立新聞のみまらんや
 の百本計新聞一紙
 今因新戸時法其意の差
 未だ新式を讀らんせざる者頗る多く朝報士
 爲る等と云はれて旧戸表價寄所と而して一紙の
 新本に是た新本と云ふも同じ
 新米の起處や縣報の言費似り
 村々の隔るはひにけり今年米
 登明の光かゝ星たけし今年米
 雨に以て話しも添ふて今年米
 全 中島
 全 寧記
 全 霧花
 全 細起

高宮の子
△開川
三ノ月、父三ノ月、人口一千五百有る宇之江と云治す
人民就は農業に業ぎ、市は毎月五、十の日に
に開かれ日入の市而皆殆んど悉し
△尼崎
尼崎は日置三ノ月、就は農業に業ぎ、市は毎月五、十の日に
に開かれ日入の市而皆殆んど悉し

其の美事
 衆に従事する者少し地方山に遠く飛上りて
 して坐せ
 其の美事
 衆に従事する者少し地方山に遠く飛上りて
 して坐せ
 其の美事
 衆に従事する者少し地方山に遠く飛上りて
 して坐せ

三、能辨
 口二千五百居民買置を以て深とる此地又紙の
 製鐵廠にして得付の鉄筋をす各地の商人來り
 て買ひ入るゝもの多し市場は毎月三四回開市
 し其の買物は銅り此の地の産用品のみを賣り
 へる者より鉄鋼され銀五十五石と計るゝのみ也
 今新開代へ無の無念國境の地を以て下
 設定ニ町地
 町田書肆へ依託仕置領典
 設定ニ町地
 町田書肆へ依託仕置領典

二竹居郎次郎、後下北沢の竹居氏に傳へたる
 十二月四日
 漢城新報社

廣告



日本郵船株式會社

兵庫丸

十二月五日 出帆 八日 入港

玄海丸

十二月十一日 出帆 十四日 入港

仙臺丸

十二月十二日 出帆 十五日 入港

伏木丸

十二月十二日 出帆 十五日 入港

駿河丸

十二月十二日 出帆 十五日 入港

肥後丸

十二月十二日 出帆 十五日 入港

長門丸

十二月十二日 出帆 十五日 入港

顯益號

十二月十二日 出帆 十五日 入港

日本郵船株式會社

仁川支店

舞子丸

十二月十二日 出帆 十五日 入港

隆盛丸

十二月十二日 出帆 十五日 入港

南越丸

十二月十二日 出帆 十五日 入港

仁川荷客取扱所



御旅神戶屋

上等 金壹圓 中等 金七拾錢 下等 金五拾錢

Table with financial data, including columns for income (収入), expenses (支出), and various account entries.

種痘醫養成所 (Vaccination Training Institute) advertisement

朝鮮王國 (Kingdom of Korea) advertisement

銘酒販賣廣告 (Famous Wine Sales Advertisement) and 佐藤酒店 (Sato Hotel) advertisement

明一駒

新到荷蘭着御披露

●鮮魚佃煮
●海苔大和煮
●小田卷むし
●歌句うせん
●稲荷うせん
●うせんそば
●善調子
●御披露

●鮮魚佃煮
●海苔大和煮
●小田卷むし
●歌句うせん
●稲荷うせん
●うせんそば
●善調子
●御披露

JAPANESE
COAL
DEALER
大日本
唐津石炭販賣所
本村健夫支店

新式西洋
二元新式
日本利田式
廣 告

和泉長
西洋服各
會 商 泉 和
帽 子 履 履

十一月
原田虎一

仁川港商況年報
東京商會刊行
定額金貳拾圓

一記
朝鮮船
小松菓子製造所

朝鮮新報社
發行所

第拾會正風集

豐秋園瑞穂宗匠筆

正風會

豐秋園瑞穂宗匠筆
正風會

壹錢八厘
壹錢六厘
源

御披露
茶碗むし
小田卷むし
歌句うせん
稲荷うせん
うせんそば
善調子
御披露

少年文集
第一卷
十一月
發行

文藝俱樂部
第一卷
十一月
發行

漢城新報社
發行所

漢城新報社
發行所

[illegible][illegible][illegible]

3
39

の全編第十三回の終止

「我這行書，不關風氣。」

況中、不肖已猶有餘行ある代と云ふに於ては、
改悔を爲さざればこそと雖も、さういふ多くの
主君は、此れが彼等の責任を許さず、第一國の
次第に關するが爲めの小幡して政府の組織は
今日其調を以て引く處へ置く政體だと見な
ふに非ざるものにて之に就て懲罰せらるゝこと
一日も速に決意して助成せんことを望んで
我々（在り）

◎ 雜誌部主任 吳漢丁

法部大臣爲主高松が已に三回たる遊樂の上の
うしは越日の紙上記する所を知り得く高松に接
れ高松は此程さへは高松の決心甚だ堅くありし
を此收め下りて 最意の願ふを遂げたるは誠
泣し身を擧げて報救すべきを願ひ心へ留止す
ることに決したると

○ 本 報 爲 廣 告 刊 例

し
こ
の
跡

●具氏殺されたり

この風説

[illegible]

○京釜鐵道に關する大隈外相の決心

[illegible]

2. 平野道太郎氏宛ての書翰

本年當選出人が日本人に對し不遇の舉動あり
 といふ事ありしこと前報載せる大區長より
 之とす。當選仁川の區區長は爲政し來りたる
 を以て區區長は直に該地に在る本邦商人保護の爲
 め者を出張せしめられんことを責むるに當り
 し頃、當選より之直ちに二區三名を出張せしむ
 ることに決し去三日午會大岡江村の區區長
 以て上區區長部長及名原、部長の二區長を
 同地より召しめたり又該地長岡大區長は仁川
 の區區長を以て其の地の保護を仰がん爲め
 去る三十日部長部長官ををして仁川に向はし
 め長岡は去一日區區長部長に會ひしれり
 今聞人の言語をうと云ふを聞くと去る二十日
 頃平壤在留の本邦商人河村將英ある者銀行益
 子通と爲へ米穀其出しの爲め該地に赴かん
 とすし當選區區長官の用意を以てへ出張の爲め
 該地に上りたしとす又青森に就かず一室
 を於て居るを尋ねしが翌朝に三ノ方に出張せ
 ることと區内に仕舞居るなる報告を致すこと
 五日目の夕方よりさうしを以て大に驚き
 出張せしめらるものなり是れ區内に居らうと
 の下で區區長の意圖しうと爲るを思はぬの爲め
 と思ふなり又聞人曰く出入し得るを知つた
 らうと云ふこと以て又該地區區長（並中人）の不
 遇なることと云ふことと思ひし區區長を尋ね
 ししれり又該地區内に居る者故に辭々を以て
 せし一二區に於て酒を呑み妓に戯れ居たり

しうは其の船中と非ず、船中したるは船中示
の言多く且つ今人は獄でよう不正の行爲多く
不可思議せんと思ひ居りたる程なるを以てし
ては教訓官として大司教に附けへ出でたりと
が大司教は獄を尋問に及びたるも其を吐かず
依て警備官の手と被し獄を具して之れが取調

會計に英
にオウソ
せり
○米國公
て開會せ

に結問録りに可聴ありし事や否に其の疑念を
推折するに至りたり此の事を却て問ふたると
山人等は問辨人が日本人の語彙に依り終に問
かへる問を擬ひたるものなりし大に傾り日本
人と對して皮を剥ぎて骨を食ふと謂ふ其を思ふ

○預選地
○地合せ
四日に
○難を避

として歸る。この新縣は行て改稱し其府に同縣人
を會合して其の府城を置し其府を對する縣
の令丞兩に鎮んあるに置れり。其年親に在
る松山人は七下等名にして日本へ入廻遊た
るものは其の三分の一であるが元來政府が早稲
に集合せるは是まで廻遊として日本人に厚
れ相當の賃銀を得る事を爲たざるは故ると本年
之に對する人の同地を租借せらるゝより數に生

例し或は
 等集に至
 の難を避
 ○
 我末は居
 海次、和
 氏は一程

活の點を失ひ日本日本人が再び其地に入居する
たると斯かる少額の費用を使用するの必要と
さより當時の多くは無爲徒食始んで其地に退
り居れり故に同鄉人を勧ぐる氣云ふも其の當
日本人を著しめて地方一部の民心を亦も動
の間に恣に恣にせんとするの心より新く日本
人に敬意を示す者あらん又た横濱の兄弟は
三川に在るを以て是を招致し其地として請求

親合と親
合意とを
る所願る
一本合は
一本合は

せしめ復讐を計り、近江坂田藩者の生命に異状
 からは全幕を奉て、飛騨手取に歸へんと云ひ居
 れうされ、且下佐留の日本人と未だ危急に迫
 れうとは云ふ能はざるも民心何と云ふ不穩の
 模様なれば何れも其害に處するの急務を爲し
 居れうと又夜一時三刻は該地より、山人等數
 萬進だしくして已に重害を蒙けんとせしも主
 君は諭し其後細く平穩ありとの電報、宇川の該

一本合は
一會員相
毎に賀
但し
の居
一春秋二
各自持

國本部に送せり
○縣界編成　今や各縣とも明治年度の預算編成中にて中々縣社の振舞あり聞し所は抜れば内部の知事は各地方局より差出せたる決算書中調査計法に依らざるもの同るや之れが調べ直しに中々調査が居る内にて地方中は部員徹夜して計算せざるべからざることをやうんと云ふ

一會場名
一會場の
一會場名
一會場名
一會場名

○各留地會員員額及役員選舉
仁川各留地會合は職員及親堂氏部副担任に
付去る二日を以て留地會合選舉法に於て其の
權限選舉を其行したり當日の投票所は仁川領
事館に於て是れ也

買物を賣る
屋入萬債の
記せしが其
は之れを察
し、み立て見
る盛況は
昨來の大豊
に盡くし盡

州監獄亭に在る三氏をして午前十時より投票
をせり午後一時開票し爲本郷氏當選なり（次
點藤澤調吏アキン氏一、坂田忠一、一、割合
を四割より出部者は東京より本郷公使ナルハ、割
石野頭等タムシンの二氏、仁川より石井頭、砂
矢野頭等、仁川監獄亭に在り、タムシノミド、
西脇長太郎、清水原の諸氏はして先々各監獄
に在りて投票を請ふる處より直接して本郷公

此上も亦
の第一銀行
を始めたる
し居りし盛
國他の二三
の爲め先以
して又

[illegible][illegible][illegible][illegible]

廣告



日本郵船會社
汽船仁川通廣告

長門丸 十二月六日 仁川 出帆

兵庫丸 十二月六日 仁川 出帆

立海丸 十二月九日 仁川 出帆

仙臺丸 十二月九日 仁川 出帆

伏木丸 十二月九日 仁川 出帆

駿河丸 十二月九日 仁川 出帆

肥後丸 十二月九日 仁川 出帆

顯益丸 十二月九日 仁川 出帆

日本郵船會社 仁川支店

舞子丸 十二月九日 仁川 出帆

筑後丸 十二月九日 仁川 出帆

南越丸 十二月九日 仁川 出帆

仁川荷客取扱所



御旅月屋

上等 金壹圓
中等 金七角
下等 金五角

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

一等 壹圓
二等 七角
三等 五十錢

銘酒販賣廣告

一 菊正宗 一 春駒

一 金露 一 文明一

一 澤龜

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

一 萬壽油

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

新到荷蘭

九ノ二
 ハツテ
 同
 注
 文

此入鑑
白頭
糸頭
知社
上野
英道
美津
大谷
公社
痘痘
痘

取所

露波初看到荷新

○ 腰カルのスラング
○ 頭部をスグワ
○ 顔入目蓋子取道
○ 眼蓋子取道
○ 壁金
○ 小島大和港

魚飼煮

JAPANESE,
COAL,
DEALER,
大日本
一等
唐
津
石
炭
販
賣
所
本利隆夫支店

廣	着	荷	鏡
日	二	元	西
本	進	達	新
新	式	新	式
鏡	鏡	鏡	鏡
屬	荷	鏡	鏡
會	南	永	和
帽	西	長	護
子	洋	履	履
	服		
	各		
	種		

十一月
原
因
是

聯合鐵道は新ノ井のテ以テ一節増大せり
又テ在籍十年以上ノ有志者ニシテ入会ス
者甚多ト下右ヘ由スアン
家六ノ組頭等一由日本鐵道ニ在籍由

[illegible]

豐秋園詩集卷之五

昭和十二年十二月二十二日(迄)	月別	〇入定額員(〇月)金六萬
昭和十二年十二月二十二日(迄)	五風	第六〇三回総取組ニユ
昭和十二年十二月二十二日(迄)	正風會	

卸賣大勉強
五拾五以上
壹錢六厘

[illegible][illegible]

少年文集

圖書集成

口信 〇一 〇二 〇三 〇四 〇五 〇六 〇七 〇八 〇九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇 二一 二二 二三 二四 二五 二六 二七 二八 二九 三〇 三一 三二 三三 三四 三五 三六 三七 三八 三九 四〇 四一 四二 四三 四四 四五 四六 四七 四八 四九 五〇 五一 五二 五三 五四 五五 五六 五七 五八 五九 六〇 六一 六二 六三 六四 六五 六六 六七 六八 六九 七〇 七一 七二 七三 七四 七五 七六 七七 七八 七九 八〇 八一 八二 八三 八四 八五 八六 八七 八八 八九 九〇 九一 九二 九三 九四 九五 九六 九七 九八 九九 一〇〇

發行所
漢城新報社

漢城新報

中華民國二十二年三月六日 星期三
第...號
本報地址：漢城...
電話：...
發行人：...
印刷所：...

文書運送施設

○文書運送施設
文書運送施設...
文書運送施設...
文書運送施設...

文書運送施設...
文書運送施設...
文書運送施設...

文書運送施設...
文書運送施設...
文書運送施設...

文書運送施設

文書運送施設...
文書運送施設...
文書運送施設...

文書運送施設...
文書運送施設...
文書運送施設...

文書運送施設...
文書運送施設...
文書運送施設...

文書運送施設...
文書運送施設...
文書運送施設...

[illegible]

行はるゝのやうに云はれたる此の歌は、大抵
 死を思ふ爲めの題目、花散歌と申すべきやうな
 思ふへに思ふてしるの題目、やゝ長く思ふへに思
 うゝ思ふてしるの思ふへなると思ふ地の思
 ふは別調、然るに問題がつて思ふ思ふし
 の思ふ思ふの思ふ

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
CHICAGO, ILL.
JAN 10 1967

[illegible][illegible]

神樂と大喧したる大蛇を、龍王は、ついでに、
面々格闘を數すて、龍王は、時を以て、
餘行し神國には、悲花雪の夢を思はせ、
をわげり、さうして、其へもの由を、
神國にも思はせ、其の神を、
神國にも思はせ、其の神を、
神國にも思はせ、其の神を、

[illegible]

丁巳年九月廿九日

[illegible][illegible][illegible]

開警部は巡查竹内、神戸、石松の三氏を率ひ在

は協恭謙遜御氏教日進躬ら度支節に往々取願

東坡全集

漢城新報

明治二十八年三月六日 還信省認可
陰曆丙申十一月小 初六日 木曜 (丁酉)
大日本神武天皇即位紀元二千五百五十六年
大朝鮮開國紀元五百五十五年
西曆一千八百九十六年
大清光緒二十二年

日	期	日	期
初六日	十三日	二十日	
初七日	初九日	十六日	

官報抄錄

●官報抄錄 △詔曰王師之出征嘗得已者哉
定痛懲不避鋒鏑以救其數億之民者雖其分所
當爲我所有而朕未嘗一日安于枕食投箸當
經今當益振底定師旅休息此固我赤子之自
新而化而亦諸將士之力也朕心喜幸易有其極功
德無量有常典大小將卒之出駐各道効勞行間
者令軍部大臣親執功勞分等開敘死者褒恤之典
一轉入奏以示酬家勳功之意建國元年十二月六
日典與醫司日大問 安 答曰知道 王太后
氣候一候王太子王太子妃氣度支過爾等不必入
侍至十二月五日(以上八日)○詔曰 順 殿
宮 殿大小享祀之并停今爲周歲禮體缺然
既有我家已行之例其令奉禮院議遵舉行△詔曰
建國山前私家宅第與祥禮毋禁以上十二月八日
以十九日

濟州牧 六 六四、八〇 一 三六
計 二二二、二五〇、五、六〇、二、三、八、二、八
(備考)罪囚食費日計가, 삼삼도와 제 주 목
을 도 합하여, 육원구십육전이요, 그
年計와 押半年 給돈을 합하여, 삼천삼백
삼십삼원육십전인디, 이 도 합속에
서 本年에 쓸 거슨, 일천삼백육십일원
아십이전이니라

支司를設置하고, 郡邊物을 間一日一度式該
地方에 送達하기로 定해, 亞스나 人民은 洞
悉하여 舊信을 出付하기 可호 (九日)
●官廳事項 △度支部에서 諸議호 襄運
宮修理費增額三萬元과 議政府經費預算七千
八百九十四元六十四錢六厘와 駐美公使以下
赴任時加給及旅費四千〇一十一元四十九錢과 議
政府經費修理費十二元十四錢과 前議州府觀察
使以下殿官俸給一千七百二十二元九十六錢二
厘와 元山港警署移遷費五百元과 地方各府
郡公廳修理及土木工費三萬元과 前忠州府巡檢
署舊址民塚移葬費一百八十元과 前內閣補佐員
一人解雇後俸給과 旅費金九百〇三元三十三錢
三厘와 前內閣員一人解雇後俸給額六十元
을 預備金中 支出事로 議政府會議을 經호 後
에 上 奏호야 制曰可라 度支部에
서 諸議호 俄語學校費增額八十元을 豫備金中
支出事로 議政府會議을 經호 後에 上 奏호
야 制曰依前議施行호라 度支部에
서 諸議호 議政府今年度經費預算立案事로 議
政府會議을 經호야 議政府所管으로 立案하
爲宜호 意로 衆議協同호 後에 上 奏호야
制曰可라 度支部에서 諸議호 前內閣
經費餘額一萬五千二百五十八元五十九錢九厘
을 豫備金에 還入호 事로 會議을 經호 後에 上
奏호야 制曰可라 度支部以上十二月六日(九
日)

●辭令 △解州時習理度支部大臣事務 內
務大臣朴定陽 命署理大臣事務 內務部議事
院照以上十二月六日(以上八日)

●分令 △地方官吏選用規則(十二月六日)
第五號) 第壹條 府部의 判任官이 三十六期
勳任호고 才力가 有호人을 豫用호야 矣
第貳條 普通文官 判任官以上人은 勳任호 不
拘호고 普通文官 判任官六品官職의 入仕 (若下
勳任 判任 三品以上人은 才力가 有호人을 豫用
호야 矣) 第參條 普通文官 判任官과 佐官의
任任의 十年이 滿호야 後 三才力가 有호人을 豫用
호야 矣 豫用호야 矣 第肆條 本令은 豫布
日三才力가 有호人을 豫用호야 矣 △地方官 判任官 食費
日六號) 第壹條 地方官 判任官과 佐官의
任任의 食費及被服費와 押半給料와 仁川東萊海
運與四港口罪囚被服費를 豫算호야 左開호
第貳條 食費와 如호야 矣

區分	飯計	年計	押半	年給
京畿	二五	二七〇、〇〇	二	二七二
忠清北道	一一	一一八、八〇	一	一二〇
忠清南道	二四	二五九、二〇	二	二六二
全羅北道	一八	一九四、四〇	二	二七二
全羅南道	二二	二三七、六〇	二	二七二
慶尙北道	二七	二九一、六〇	二	二七二
慶尙南道	二〇	二一六、〇〇	二	二七二
黃海道	一六	一七二、八〇	二	二七二
平安北道	一四	一五一、二〇	一	一五六
平安南道	一六	一七二、八〇	二	二七二
江原道	一六	一七二、八〇	二	二七二
咸鏡北道	七	七五、二〇	一	七六
咸鏡南道	一〇	一〇八、〇〇	一	一三六

濟州牧 六 六四、八〇 一 三六
計 二二二、二五〇、五、六〇、二、三、八、二、八
(備考)罪囚食費日計가, 삼삼도와 제 주 목
을 도 합하여, 육원구십육전이요, 그
年計와 押半年 給돈을 합하여, 삼천삼백
삼십삼원육십전인디, 이 도 합속에
서 本年에 쓸 거슨, 일천삼백육십일원
아십이전이니라

支司를設置하고, 郡邊物을 間一日一度式該
地方에 送達하기로 定해, 亞스나 人民은 洞
悉하여 舊信을 出付하기 可호 (九日)
●官廳事項 △度支部에서 諸議호 襄運
宮修理費增額三萬元과 議政府經費預算七千
八百九十四元六十四錢六厘와 駐美公使以下
赴任時加給及旅費四千〇一十一元四十九錢과 議
政府經費修理費十二元十四錢과 前議州府觀察
使以下殿官俸給一千七百二十二元九十六錢二
厘와 元山港警署移遷費五百元과 地方各府
郡公廳修理及土木工費三萬元과 前忠州府巡檢
署舊址民塚移葬費一百八十元과 前內閣補佐員
一人解雇後俸給과 旅費金九百〇三元三十三錢
三厘와 前內閣員一人解雇後俸給額六十元
을 預備金中 支出事로 議政府會議을 經호 後
에 上 奏호야 制曰可라 度支部에
서 諸議호 俄語學校費增額八十元을 豫備金中
支出事로 議政府會議을 經호 後에 上 奏호
야 制曰依前議施行호라 度支部에
서 諸議호 議政府今年度經費預算立案事로 議
政府會議을 經호야 議政府所管으로 立案하
爲宜호 意로 衆議協同호 後에 上 奏호야
制曰可라 度支部에서 諸議호 前內閣
經費餘額一萬五千二百五十八元五十九錢九厘
을 豫備金에 還入호 事로 會議을 經호 後에 上
奏호야 制曰可라 度支部以上十二月六日(九
日)

雜報

●談言微中 趙李李藩伯이, 각국을
遊歷호고, 회국호야, 서울로와서, 북
명호후에, 국왕을 見호니, 심이 깊게
호야, 丹後을 見호니, 위로호거날, 나호장
이 叩頭호스호니 太后가, 西閣情形을, 무
루니, 홍장이, 그중호호호호, 주덕호
디, 丹후루사디, 각국에, 어명호호로,
가시디, 어느나라이, 디예로, 디접호
디나호니, 홍장이, 주알, 微호니, 微호
노말호호호

●談言微中 趙李李藩伯이, 각국을
遊歷호고, 회국호야, 서울로와서, 북
명호후에, 국왕을 見호니, 심이 깊게
호야, 丹後을 見호니, 위로호거날, 나호장
이 叩頭호스호니 太后가, 西閣情形을, 무
루니, 홍장이, 그중호호호호, 주덕호
디, 丹후루사디, 각국에, 어명호호로,
가시디, 어느나라이, 디예로, 디접호
디나호니, 홍장이, 주알, 微호니, 微호
노말호호호

支司를設置하고, 郡邊物을 間一日一度式該
地方에 送達하기로 定해, 亞스나 人民은 洞
悉하여 舊信을 出付하기 可호 (九日)
●官廳事項 △度支部에서 諸議호 襄運
宮修理費增額三萬元과 議政府經費預算七千
八百九十四元六十四錢六厘와 駐美公使以下
赴任時加給及旅費四千〇一十一元四十九錢과 議
政府經費修理費十二元十四錢과 前議州府觀察
使以下殿官俸給一千七百二十二元九十六錢二
厘와 元山港警署移遷費五百元과 地方各府
郡公廳修理及土木工費三萬元과 前忠州府巡檢
署舊址民塚移葬費一百八十元과 前內閣補佐員
一人解雇後俸給과 旅費金九百〇三元三十三錢
三厘와 前內閣員一人解雇後俸給額六十元
을 預備金中 支出事로 議政府會議을 經호 後
에 上 奏호야 制曰可라 度支部에
서 諸議호 俄語學校費增額八十元을 豫備金中
支出事로 議政府會議을 經호 後에 上 奏호
야 制曰依前議施行호라 度支部에
서 諸議호 議政府今年度經費預算立案事로 議
政府會議을 經호야 議政府所管으로 立案하
爲宜호 意로 衆議協同호 後에 上 奏호야
制曰可라 度支部에서 諸議호 前內閣
經費餘額一萬五千二百五十八元五十九錢九厘
을 豫備金에 還入호 事로 會議을 經호 後에 上
奏호야 制曰可라 度支部以上十二月六日(九
日)

支司를設置하고, 郡邊物을 間一日一度式該
地方에 送達하기로 定해, 亞스나 人民은 洞
悉하여 舊信을 出付하기 可호 (九日)
●官廳事項 △度支部에서 諸議호 襄運
宮修理費增額三萬元과 議政府經費預算七千
八百九十四元六十四錢六厘와 駐美公使以下
赴任時加給及旅費四千〇一十一元四十九錢과 議
政府經費修理費十二元十四錢과 前議州府觀察
使以下殿官俸給一千七百二十二元九十六錢二
厘와 元山港警署移遷費五百元과 地方各府
郡公廳修理及土木工費三萬元과 前忠州府巡檢
署舊址民塚移葬費一百八十元과 前內閣補佐員
一人解雇後俸給과 旅費金九百〇三元三十三錢
三厘와 前內閣員一人解雇後俸給額六十元
을 預備金中 支出事로 議政府會議을 經호 後
에 上 奏호야 制曰可라 度支部에
서 諸議호 俄語學校費增額八十元을 豫備金中
支出事로 議政府會議을 經호 後에 上 奏호
야 制曰依前議施行호라 度支部에
서 諸議호 議政府今年度經費預算立案事로 議
政府會議을 經호야 議政府所管으로 立案하
爲宜호 意로 衆議協同호 後에 上 奏호야
制曰可라 度支部에서 諸議호 前內閣
經費餘額一萬五千二百五十八元五十九錢九厘
을 豫備金에 還入호 事로 會議을 經호 後에 上
奏호야 制曰可라 度支部以上十二月六日(九
日)



노말의 양어 정부에 의지함을

卷之四

(十五)

18-11

雜報

聖恩主渥

준간의로부터 비도가 봉의하야, 병

조서를, 나리와, 위로하심은, 은

단위로, 본보에, 올리였거니와, 지금

구별이, 영을나리와, 군부대신

니, 과를, 잡고본드하야, 기록하되

죽은자나, 영혼의, 일체일주

야, 임의, 관보초록에, 기록하야스

니, 승은이, 이가치, 감격하리라, 정

불공단장들이, 이를, 드르면, 감격하

니, 주기를, 이저서, 국가를, 위하

리라

대령장, 본월일하야, 군부대신

대령장, 천위대장들을, 크게호쾌

하더라

軍紀綱, 이번, 육군이후로, 별

이, 규칙을, 정하야서, 군부대신

니, 명령이, 아니면, 비록협판이하

장이라도, 임의로, 병정을, 천드

지하야하더라

開缺少, 군부대신, 閣議後氏집에

고, 임의, 전말하더라, 전보에,

기록하야, 가니와, 일전에, 민씨에

니, 천하바, 사문하나, 민씨를, 되

야, 갈아타, 근일에, 거마조스더리

아, 참하야, 은박하, 만이오되,

니, 전말하야, 등, 자하, 일이음

니, 물니, 가난자더리, 심이, 만하

이, 거시, 하사저공이, 못된다, 하난

으로, 민씨가, 군사자랄, 명하야, 되

니, 죽은에, 유증병정을, 다물니고, 다

니, 유상지인만, 드리지, 말하하

니, 노조차, 혼잡이, 풀니에, 출입자

니, 편하, 하더라

再錄天報不, 일전에, 천명에, 다

하하바, 자서치, 못하야, 또담문

니, 조공미상하거시, 이기에, 참전적

은, 말노, 두번지, 기록하노라, 선해

정에, 드러가서, 두금하, 도적을, 제

척일에, 근포하야, 제명을, 잡았단

고, 의당, 다도하야고, 만전하야, 잡

은, 거선, 남의문안, 창동하야, 전

의천군슈, 윤기선정, 비부라, 이

이, 근일에, 돈쓰기를, 용이하

스름이다, 의뢰이, 여기난지라, 전

해청으로, 전설은, 은화가, 못금년에

니, 자은바인디, 근양원전, 인출하, 돈

이라, 이돈을, 아즉형용치, 아니하

로, 별슈검이, 일노, 근포, 하야

니, 적당중에, 두명은, 돈을가, 지고

의방에, 가서, 장수하하하, 이돈은

조가, 에서도, 아즉조지하하하, 고

도적이, 만저쳐서, 한노가, 하더라

移府庫, 지방일에, 남대문안, 宣惠

廳에, 두엇은, 돈을, 지게군이, 일하스

명이, 절머지고, 영은, 문안에, 잇는

庫로, 옮겨다, 는디, 이돈, 남대문

두엇다가, 돈, 도적이, 드라을, 넘

잇스므로, 그돈을, 다, 宣惠庫로, 옮겨

지, 다른, 목절이, 잇서, 그러하, 아

確說은, 안드릿노라

禁府紀事, 한성지, 관소, 관리들이

니, 양오전의, 스진하, 밋오정, 이

되면, 공을, 나, 오미, 승민들, 정

하, 장인들, 등, 그, 시간, 상

고하야서, 만일, 오정이, 지닐, 그

지를, 밋지하하하, 고, 만일, 조공, 돈

와서, 정소하, 관리가, 스진하

하하하, 물니, 치미, 일노, 하야서, 승

민들이, 후스, 스로, 붓그려, 하

하, 다, 갈아타, 우리, 일노, 되

각이, 귀염하, 불금도, 말하하

과사도, 말하하하, 바야, 호로, 지

명한, 모단, 나라이, 법제가, 그러

거든, 은, 한성지, 관소가, 붓그려

리요, 하, 머스, 스로, 분함을, 이

못하하하, 분만, 하하하, 하하

그르더라, 宣惠, 宣惠, 宣惠

음이, 경무청의, 갓친자, 가, 지

철기, 일하, 이, 하, 무손, 죄의, 지

피여, 갓친자, 아지도, 못하, 또

관심, 하하하, 하하, 하하, 하

절을, 당하야, 호호, 하하, 하

이, 크게, 하하, 하하, 하하

하하하, 하하하, 하하하, 하하

지, 감하, 밋지, 하하하, 하

聖恩大教, 하하하, 하하하, 하

승성, 모집하, 단말은, 전보에, 다

야거니와, 그하도, 명슈난, 상

명인디, 전일에, 본부지, 슈보, 오

미스, 함으로, 닳스하야, 지금, 전

상에, 붓쳐, 두고, 또, 전일유리, 하

스명하, 합삼십명인디, 그, 줄

기를, 한일년인디, 일하, 영하, 손

과, 밋장, 하하하, 하하하, 하

법을, 못하면, 또, 일년이오, 또

년에, 못하면, 또, 일년이오, 또

삼십명들, 모집하하하, 그, 중

스람이, 청축으로, 부속하야, 남

제, 조소만, 하하하하하, 하

聖恩大教, 아하하하하하하, 다

하하하, 하하하, 하하하, 하

인은, 스람이, 슈삼인이나, 그러

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

하하하, 하하하, 하하하, 하

장차 쓸
손 근쳐의, 두녀 조가, 잇스니, 누
술검의, 卽 子貞字 황희도, 곡손, 고단

아니, 할지라, 북부숨청등의, 스는디
집의적축호, 바이음서서, 동씨가,
동휘서디호야서, 그기집을, 주고, 그
서로, 사랑호는, 정이, 소년보다, 싹비
는, 더호다라, 동씨의, 아들파, 손조
가, 그시골, 집으로, 도라가서, 안한

이요條數及回數로 좃차서 갑

슬랄 밧고 此廣告 順선 도금 의

● 論功行賞の詔勅

己の意見を抱き居たり、而して之れに同
じ、某等の一派は、李氏を惡と評し、

年計、千五百〇五圓六十錢、押案の員数は前
年比二十三人多し之が年給額は八百二十八圓

の様に就くも違ふにあらざるべく其他の徒黨
阿づれへ逃亡せしかば衛全たゞ不明なりと
云ふ

依頼に依り通
物と輸入せし
客品船積規則

依に依り過る九月二十五日玄海丸は、
物と輸入せし蝦本縣平民宮崎嘉吉なる者
書、船積規則違反を以て仁川領事館の

斯う翁曰く吾ハ愛妾ヲ棄ク獨リ去ルニ忍ビ
 妾ヲ老婦ニ亦た其處ニ離ルニ欲セ
 耶去らば別ち妾は棄れて死せんのみぞ

明治三十二年七月
京城居留民總代役場
京城商業會議所

金五圓	加藤國時代理公使
金二圓	次月 齋 肥 官
金三圓	公使 館 官
金一圓	若松 實 官
金十圓	若松 年 官
金三圓	若松 年 官

金五圓	加藤國時代理公使
金二圓	次月 齋 肥 官
金三圓	公使 館 官
金一圓	若松 實 官
金十圓	若松 年 官
金三圓	若松 年 官

治世九至十二月七日

京城居留民總代役場
京城商業會議所



日本郵船株式會社 汽船仁川廣告

玄海丸 十一月廿二日出港 廿一日入
芝罘行 茂木、彌之
七百八十四噸 船長 茂木、彌之

仙臺丸 十二月廿九日出港 廿八日入
芝罘行 船長 彌之
一千六百四噸 船長 彌之

兵庫丸 十二月 日出
釜山、馬關、神戶行 船長 ウチノカタ
八百八十一噸 船長 ウチノカタ

長門丸 十二月 日出 日入
釜山、元山、浦項行 船長 ウチノカタ
千四百九十九噸 船長 ウチノカタ

伏木丸 十二月 日出 日入
馬關、神戶行 船長 ウチノカタ
六百八十九噸 船長 ウチノカタ

駿河丸 十二月 日出 日入
釜山、馬關、神戶行 船長 井上猪三郎
六百八十九噸 船長 井上猪三郎

肥後丸 十二月 日出 日入
釜山、對馬、馬關、神戶行 船長 保
八百七十一噸 船長 保

顯益號 十二月 日(陰曆九月)
午前十一時出港
木浦、上海行

日本郵船株式會社 仁川支店

舞子丸 十二月五日入港 同六日出港
釜山、馬關、神戶、大坂行

筑後川丸 十二月十二日入港 同十三日出港
釜山、馬關、神戶、大坂行

南越丸 十二月十三日入港 同十五日出港
釜山、馬關、神戶、大坂行

仁川荷客取扱所

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

御旅神戶屋 朝鮮仁川各國居留地
第貳拾六號地

第一等 壹圓
第二等 七角
第三等 五十錢
下等 三十五錢

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

田原旅館

銘酒販賣廣告

一菊正宗 一春駒

一金露 一文明

一澤龜

其他醬油類各種

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

佐藤酒店

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露


新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露

新到御披露


 溫飽蕎麥玉
 卸賣大勉強
 五拾五以下
 五拾五以上
 壹錢八厘
 壹錢六厘
 君々謹麥事
 岩
 源

發行所 漢城新報社

자하디, 니씨가 갈아티, 상서롭지 아니한, 돈이라 하야, 밭지 아니하니

니 에, 돈 밭지 아니, 하난 거시, 낙지 이리로, 일죽이, 잊지 못할 비라, 하라

●無少年 繼繼市廛市人裴更賢이란 사람 이 아 들 하나 이 있난 디 나 히 十七八歲 되던 데 年 前부터 失算한 사람이 되

여 勤小在家하고 色이 素常하니 近日에 之한 俗泥親近傍에 불랑 被難한 노 들이

이 失算한 사람을 誦同하고 錢五千元手 續을 써 가지고 日本人 에 게 빚 설어 드라 당

긴 다 니 사름 사 귀는 법 에 총 패 심 한 등 어 디 라

○瞻報飯德

●無少年 繼繼市廛市人裴更賢이란 사람 이 아 들 하나 이 있난 디 나 히 十七八歲 되던 데 年 前부터 失算한 사람이 되

여 勤小在家하고 色이 素常하니 近日에 之한 俗泥親近傍에 불랑 被難한 노 들이

이 失算한 사람을 誦同하고 錢五千元手 續을 써 가지고 日本人 에 게 빚 설어 드라 당

긴 다 니 사름 사 귀는 법 에 총 패 심 한 등 어 디 라

●無少年 繼繼市廛市人裴更賢이란 사람 이 아 들 하나 이 있난 디 나 히 十七八歲 되던 데 年 前부터 失算한 사람이 되

여 勤小在家하고 色이 素常하니 近日에 之한 俗泥親近傍에 불랑 被難한 노 들이

이 失算한 사람을 誦同하고 錢五千元手 續을 써 가지고 日本人 에 게 빚 설어 드라 당

긴 다 니 사름 사 귀는 법 에 총 패 심 한 등 어 디 라

●無少年 繼繼市廛市人裴更賢이란 사람 이 아 들 하나 이 있난 디 나 히 十七八歲 되던 데 年 前부터 失算한 사람이 되

여 勤小在家하고 色이 素常하니 近日에 之한 俗泥親近傍에 불랑 被難한 노 들이

락한, 제집 아 회를, 구 할 서, 김 씨 녀 아

에 게, 지 목 이, 되 야, 구 술 을, 된 일

하니, 수 일 이, 겨 혼 지 라, 김 씨 녀 아

가 기 를, 남 하 야, 두 겁 이 를, 어 로 만

지 며, 밥 을, 먹 으 며, 음 도, 어 로 만 하 야, 지

으 디, 나, 널 도, 더 부 러, 숨 년 을, 조 서

으 로, 갖 차 지 니 더 니, 명 되, 피 박 하 여

장 차, 죽 으 러 가 니, 종 차, 너 로, 싱 이

스 별 이 라, 어 디 로, 가 든 지, 잘 있 스 라

하니, 두 겁 이, 눈 을, 삼 켜 이 며, 말 을,

듣 는 듯, 슬 어 하 는 거 시, 갖 더 니, 홀 연,

씩 으 며, 치 마 에, 안 기 거 날, 김 씨 녀 아,

다 시, 일 너 왈, 나 는 피 흘 길 이, 업 서,

가 죽 으 러 니 와, 나 는, 무 슴 일 노, 날

따 라, 죽 으 러 하 는 다, 창 곽 하 나, 할 일

업 스 니, 나 는, 나 갈 따 로, 가 라 하 고,

되 러 노 호 니, 두 겁 이, 또, 썩 으 을 나,

떠 러 지 지, 아 니 하 는 지 라, 김 씨 녀 아,

그 느 소 들, 가 런 지, 너 으, 치 마 압 하,

싸 안 고, 창 집 압 하, 나 아 가 니, 남 니

노 소, 구 름 모 이 등 하 야, 크 게, 구 술

차 리 고, 모 든 무 녀 등 아 증 복 을, 올 니

며, 일 유 야 를, 구 술 하 더 니, 그 이 한

창 문 을, 열 고, 김 씨 녀 아 를, 그 안 의

넋 코, 문 을, 잠 이 거 러 김 씨 녀 아,

집 안 에, 드 러 와, 눈 을 드 러, 살 펴 보 니

침 침 창 칠 실 속 에, 어 디 가, 어 디 지,

주 야 를, 눈 간 치 모 술 지 라, 두 겁 이 를

압 하 노 코, 눈 물 을, 흘 이 며, 엇 지 할 줄

모 로 는 디, 총 집 밧 게 서 는, 금 고 를,

올 니 며, 여 러 무 양 이, 구 하 노 라, 지

적 과 는 소 리, 정 신 을, 추 리 지 못 하 니

라, 구 하 기 를, 맞 는 나 날, 홀 연, 창 집 보

느 지, 이 상 으 로, 무 슴, 고 이 한 소 리,

나 며, 비 린 브 램 이, 이 러 나 고, 들 비 갖

혼 귀 은 이, 무 지 지 갖 치, 썩 으 며, 싱

니, 김 씨 녀 아, 정 신 이, 아 두 나 으, 싱

중 의, 해 오 디, 이 제 는, 더 가, 주 연 도

다 하 고, 두 겁 이 를, 어 로 만 지 며, 한 음

하 디, 나, 문 을, 두 겁 이, 입 으 로, 일 노

금 광 을, 토 하 여, 그 나 려 오 는 디 은 피

마 조 하 는 나, 그, 나 려 오 는 디 은 피

점 점, 스 러 저, 여 러 시 간 에, 아 조, 는

적 이, 업 서 지 거 날, 심 중 의, 무 슴

절 연 지, 모 로 고, 고 이 히, 너 이 더 니,

홀 연, 번 번 구 호 소 리, 나 며, 무 어 사

떠 러 지 거 날, 김 씨 녀 아, 크 게, 경 겁

며, 문 을, 피 호 고 조 하 나, 치 책 을, 분

변 치 못 하 며, 잊 지 못 들, 업 서, 정 신

이, 출 물 하 는 중, 다 산, 죽 기 만, 다

리 더 라, 총 집 밧 게 서, 구, 기 를, 파

하 고, 사 름 이, 다, 각 가, 후 허 진 주,

그 마 을, 사 름 이, 총 집 밧 게 와, 동 정

을, 살 피 거 날, 김 씨 녀 아, 소 리 를, 크

게 하 며, 사 름 살 나 라 하 니, 마 을 사 름

들 이, 또 한, 놀 나, 서 로 일 오 디, 이 전

에 는, 이 러 한 일 이, 업 더 니, 이 번 은,

죽 지 아 니 하 고, 사 랫 스 니, 피 이 홀 일

이 라, 사 름 인 자, 귀 신 인 지, 알 기 업

스 니, 여 러 등 니, 사 름 을, 모 아 가 지

고, 총 문 을, 열 어 보 조 하 고, 죽 시, 인

동 사 름 들 을, 모 은 후, 총 문 을, 열 고 보

니, 김 씨 녀 아, 의 구 이, 스 라 안 저, 을

거 날, 모 든 사 름 이, 붓 드 러 더 으, 음

식 을, 원 하 며 놀 는 마 음 을, 위 로 하 고

지 닌 스 연 을, 무 르 니, 김 씨, 조 조 지

중 을, 일 일 이 말 하 고, 총 집 안 에, 드

러 가, 조 서 이, 살 피 라 하 니, 모 든 사 름

이, 일 제 이, 불 을 발 키 고, 드 러 가 보

너, 불 빛 조 혼, 진 하 나 이 떠 러 저, 죽

었 더 디, 기 리, 다 섰 발 이 나 되 고, 널

뵈 두 어 조 되 니, 보 는 사 름 이, 뒤 아 니

놀 나 리 요, 고 이 한, 너 음 서 코 들, 썩

르 니, 사 름 마 다, 감 히, 구 가 이, 가 지

못 하 고, 서 로 도 라 보 며, 엇 지 못 들,

모 로 더 라, 또, 한 편 에, 두 겁 이, 하 나

이, 크 기, 박 셔 만 한 거 시, 일 을 버 리

고, 죽 으 거 날, 고 이 히, 너 으, 김 씨 녀

아 다 러, 무 르 니, 김 씨, 올 며, 먼 후 슈

말 을, 고 하 디, 모 든 사 름 이, 다, 신 과

雜報

● 一 變 量 法

향일에,
능지를 정할 날 노, 니궁 뒤부, 뒤신,
제술씨와, 맛다른, 관원들이, 자
를, 영술하고, 슈츠는 갖다가, 완
치, 못하였단 말은, 듣는디로, 전
의, 과지후연거니와, 나더신이, 이
번의, 종덕등지로, 도라와서, 이술
치, 영지를 정하고, 슈일전의, 들어와
서, 그도형으로, 써 상주하야, 일
간의, 다시 한번, 간삼하야서, 그슈
치, 중의, 한곳설 확정할듯, 하다
며, 예정하얏던, 슈습처든, 등디문
밖과, 도양휴쌍, 칠십니, 되는데, 의,
도종덕, 등지라하느, 우리도담은,
듣는디로, 기록하노라

● 命在襁褓 明희조, 능침, 도형
야, 음이로, 姜健氏가, 금능이로, 갖다
난, 말은, 듯난되로, 전보에, 기록한
거니와, 지금다시, 드르니, 강씨가,
지금거저, 집에서, 떠나지, 아니하고
다만영선스장으로, 사무한다난되,
등씨가, 청국으로, 가난지, 아니가
난지, 우리난, 그진위를, 자서이, 모
로인더라

● 新羅國布 當國의 淸年을 다 양식
일일로써 반포하는 규식이더니 금년
인즉 하루편집의 건양이년 曆子로致致
가 불일하야 서서 맛당이 외국으 뵙는
년으로 써하는 거사가 하다 함으로 이
의논이 확실치 못하고로서 상조각조
회에 흔바 달년 인즉 외국으 뵙는 년으
로 반포하얏고 근일에 뒤 군주 편
하 축교의 건양이년 淸年으로 반포하
는 거사가 하다 함을 서서그런고로 비
로소 반포한다더라

●部門雜抄 道성인민, 들가스인
토지를, 미다할떡의, 사다로, 스다
로, 성표하지, 못하게하고, 本府관관
과, 官翼을, 합하야, 으든연후의, 미
할, 뜻으로, 임의관척이, 잇섯더니
근일녀항간에서, 스스로, 成德의다
하노자이, 파다호고로, 판은은采淵
가, 다시, 고시하야서, 다차이후

고, 비록 밭을 두럭과, 잡간이라
도, 밭을 밭에, 관각한판계가, 아
니고, 사사로이, 성표하야, 밭을 밭
자란, 영위속공할, 뜻으로, 스쳐에
제방을 밭다라, △종설에 드르니,
근일에, 한성지판소로부터, 호구조
스랄, 미십호에, 작등하야, 밭에,
간스 일의식정하야, 그심호되에, 인
구와, 집간살을, 조스한다말은, 전
호에, 기록하야거니와, 북서모등모
인니, 등슈하야를, 명할뜻으로, 청
축하야, 북서장에, 청소하야, 지
작일에, 등슈를, 면하야다하리라 △
호구조스, 심호등슈를, 현관니, 잇난
자란, 홍종경, 과작이, 잇난자로, 하
고, 의타에난, 가감자로, 된정하야,
방하야, 스름에, 가부난, 헤아리지,
아니하야고, 등슈를, 정하니, 그등슈가
, 품파리군, 하천호, 스름인고로, 이
스름더리, 등슈지음을, 이기지, 못
하야, 한성판소, 案來淵에, 호소
하니, 니셔가, 맛당이, 별받정삭, 하
다하야고, 이상두조건은, 아득전위를,

○ 敬爾畏威 敬上當道로 하옵고
손님이 우리더러 말하야 글아되
본도함양 威德 군수의 勳을 默씨가
정스에 불미흔거시 만터니 동씨
가 해군 吏로 더부러 등심하야
갑오이후로 민간의 슈취한 결전 籍
證을 가마니 스스로 방공하고 모
다 먹으니 皮肉을 손 體役開散한리 속
들이 그슈리에 게 분함을 더금고
인하야 발각하야서 그소문이 읍초
의 전금하니 인민들이 다글아되
이러한 창량을 석을 당하야서 帛성
의 결전을 더두어서 탐은 군수의
밋슈리의 흉복만 하였시니 帛성이
가히 보존쳐 못하겟다 하고 일시의
향응하야 모두어서 회음중의 두
취하야서 해군슈와 다투고 해슈리
장차 부지하야 평이라 하더라
○ 治調스난 新運에 선영
위로가 果川에 이르러 유권

이 자지 할거 날 속하여서 방교스 방교
 藥가 달집을 전집 할 앓다 하고 추 슈 할
 다 하기 로 본 관에 정 할 야 관 제를 본 등
 에 북칠식 강가 중 간 칼거 호고 로 본 관
 이 또 전령 할 앓스 되 강가 가 은 연히 추
 슈 하 니 한성지 판 소에 지 판을 즉 허 가
 의 문 권은 두 후 요 강 가 의 문 서 한 報 字
 요 스 표도 부 등 호 고 로 강 가 를 파 천 으
 로 호령 할 야 책 라 할 되 발 자 거 든 차 지
 호 고 자 자 거 거 든 추 슈 서 지 환 금 할 양
 으 로 다 정 호 고 가 서 여 러 날 이 되 도록
 책 양을 아니 할 더 니 발 자 남 허 가 가 저
 의 집 에 와 서 물 니 곳 쳤 다 할 더 지 판을
 잘못 호 영 으 로 구 무 호 고 또 고 등 지 판
 소에 무 소 호 지 여 러 날 에 지 판 하 라 오
 지 아니 할 니 가 스 허 가 발 자 를 곳 쳤 스
 면 스 표도 곳 쳤 스 며 지 판을 잘못 할 앓
 다 니 웃 지 할 야 잘못 할 앓 다 할 난 지 알
 슈 읍 실 썬 더 러 강 가 에 관 제 탈 취 함 과
 정 소 할 고 피 호령 은 무 손 슈 의 인 지 더
 옥 모 를 니 라 이 것 과 전 소 무 니 덕 이 하
 니 누 가 올 은 지 아니 못 할 기 의 두 번 고
 록 할 니 보 시 난 사 름 은 곡 족 을 살 피 시
 오 할 앓 더 라

○ 卷四 景의도 김포군에 소난너운
문이라 할 난자야 그 선묘를 그 고을 소
난임씨에 산근 처에 장사지나여 두집
이셔로 입장호지 가 철팔 십년이라 금
출에 니윤분이 가 호묘를 임씨 산근
지근에 지니쓰니 임씨 난고 단호고니
씨 난번성호야 임씨가 분호을 이기지
못호야 니씨 예묘다섯장을 파서 빅골
을 정호계싸서 나씨 계로 보닛더니
씨가 또 호분원호야 일변으로 관가에
고호야 임씨를 잡아 가 두고 일변으로
임씨 묘속장을 파서 그 빅골을 한티자
로에 넷코혹더러 일기도 호고 제집에
감초고 임씨를 죽지 아니하니 임씨 제
죽이고 관호야 후명호적부조에 빅골
을 분번처 못호지 난자라 밤계 홀런이
그 빅골둔집이 불어 나서 빅골이 다라
서야 모것도 읍난지라 한성지 관소에
서심니호야 니씨 임씨 두 사람을 다 죽
신종역에 처호다 호더라

○ 卷五 景의도 동천군 고포
의 소난 김상인이라 호고사문호

海關總稅務司 爲示 茲因內地土地家屋買賣...

●日通商事項の調査 今度農商務省に於て日通商事項の調査...

●巨島沿岸漁業者の困難 岡山縣渡口郡柏崎町岡田三氏は數年前より當朝國慶商道...

●密兵猛虎を斃す 當國可興に駐屯せる電報守備隊の憲兵青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●密兵猛虎を斃す (續) 青山萬之助氏外二名が去月三日...

●十九年京城輸出月報

(京城商會所調查の要覽)

●本月中輸出入統計

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

●輸入統計と類別すれば

●輸出統計と類別すれば

日本郵船會社 瀛船仁川廣告

海丸 十一月廿二日 出帆 一日入
芝罘行 船長 茂木 彌之
七百八十四噸

仙臺丸 十二月廿九日 出帆 八日入
長崎 香港行 船長
一千六百四噸

後丸 十二月十二日 出帆
馬關 神戶行 船長
八百八十一噸

庫丸 十二月 出帆 一日入
釜山 馬關 神戶行 船長
八百八十一噸

門丸 十二月 出帆 一日入
長崎 釜山 元山 神戶行 船長
千四百九十九噸

木丸 十二月 出帆 一日入
馬關 神戶行 船長
八百八十一噸

河丸 十二月 出帆 一日入
釜山 馬關 神戶行 船長
六百八十九噸

後丸 十二月 出帆 一日入
釜山 對馬 長崎 馬關 神戶行 船長
八百七十一噸

本郵船會社 仁川支店

瀛船仁川廣告

子丸 十一月 出帆 一日入
馬關 神戶 大坂行 船長
八百八十一噸

後丸 十一月 出帆 一日入
馬關 神戶 大坂行 船長
八百八十一噸

市越丸 十一月十三日 入港 同十五日 出港
釜山 馬關 神戶 大坂行 船長
八百八十一噸

仁川荷客取扱所

御旅神戶屋

一等 金壹圓
二等 金七拾錢
三等 金五拾錢
宿 金拾錢
仁川荷客取扱所

上等 壹圓
中 七錢
下 五錢
下等 三錢
田原旅館

東京流行新形帽子
中山 高山 打帽 折帽 大軍 海軍 學校 小學 供子 毛子 毛子
店商屋龜 舘泥城京

馬牛馬取扱所
御旅神戶屋
仁川荷客取扱所
馬牛馬取扱所

銘酒販賣廣告
一 菊正宗 一 春駒
一 金露 一 文明
一 澤龜
其他醬油類各種
佐藤酒店

雜貨并 買貨并
大坂 西區 前 雜貨并
大坂 西區 前 雜貨并

新刊發賣
朝鮮王國
總論 地理部
會部 社會部
發行所 民友社

卸溫 金澤末吉 露披御着到新

新刊美御地露

●東京カル、ス煎餅
●船來ビスケット
●瓶入洋菓子數種
●梨、桃、梅、杏、罐詰
●堅魚でんぶ
●小鳥大和煮

●鮮魚佃煮
●海苔大和煮

●松茸
●竹の子
●福神漬
●栗のき
●京城泥鰌

●外
●豆
●御膳
●辛子漬
●龜屋

JAPANESE
COAL
DEALER
本大等唐津石炭販賣所
京城泥鰌
木村健夫支店

何 銃
看 廣
告 品

西洋新式銃
二元連銃
日本村田式銃

銃 附
和 泉 商 會
護 長 西 洋 服 各 種
漢 履 履 子

醫師ノ戒告ニ依リ自今禁酒ス
南大門通野支店
十一月 原田虎一

在仁川帝國領事館調查
明治二十八年
仁川港商況年報
東京秀英舎印刷製本
定價金貳拾貳圓貳角

書中目次：總論、輸入貿易、輸出貿易、金銀、銅、鐵、及貨物、海關、運輸及交通、内地行商、居留民、景況

發行所 朝鮮新報社

第拾會正風集
題歲暮隨意

天位漢城新報二ヶ月分
地位全一ヶ月分人位貳
組五聖堂組拾五半組宛
各次會無入花集何高ニ
依リ贈賞

豐秋園瑞穂宗匠樂撰
寄限
來十二月十五日迄
撰定ノ上ハ漢城新報ニ
掲載詠草ニハ居處雅號
及ビ通稱ノ明記ヲ乞フ

句調
正風
除ハ聖堂四號詠草ニ添ニ

投込所 漢城新報 正風會
社通信設

溫飽蕎麥玉 五拾五以下
卸賣大勉強 五拾五以上

壹錢八厘 君う蕎麥事
壹錢六厘 源

御披露
茶碗むし
小田卷むし
歌哉句そは
稻荷うそは
うさんそは
善哉
御調子

此外御看るゝ
台と先月より開業仕升たゞ就て之第一杯
勉強 致主升併くし風味はけり
御客の御譽に預る程には出來
升るがハンの熱ひが取得に去て
風呂の返へり道に一寸一盃おさかの
内よりも御暖うあれと蕎麥湯の熱釜
去るも香ふものは
南山湯の戻り道
けふ 君が蕎麥

少年文集
第二卷
第十一期
發行

●正價 壹冊(百五十頁)全拾錢 三冊前金
三拾錢 六冊前金五拾七錢 十二冊前金壹圓
拾錢 郵税壹冊壹錢五厘宛

●口繪 (寫真銅板) 獨逸國阿蘭陀下 京都王
寺之景色 近衛邸園大演習 東京園子坂之菊
山城津川之勝景 巴里ニフニル塔
敦アルバート紀念碑

●評論 眼孔ノ明ナル如ク議論堂々向フ
所前ナシ 雜談 漢書有金須ノ文字 文
話及文苑 實ニ是ノ少年作文ノ好技折ナリ

●其他 應賞作文ノ披露アリ 華果アリ 又詩樂雜
等書記事精練材料豐富少年諸君机趣ノ好侶伴
ナリ

文藝俱樂部
第貳卷
第十一期
發行

●正價 一冊(三百頁)拾五錢 六冊前金
八拾五錢 十二冊前金壹圓六拾五錢 廿四冊
前金三圓貳拾錢 郵税一冊貳錢五厘宛

●口繪 雙々綺語圖 木版 三島蕪窓筆
一笑百美圖 寫真銅板 八

●小 雲のゆくへ 山田美妙
大 理想の佳人 水谷不倒
六 六 泉鏡花

●其他 雜談 詞苑 雜報記事豐富筆華絢爛

發行所 漢城新報社

新聞定例
一ヶ月 貳拾五錢
三個月 七拾五錢
六個月 壹圓拾五錢

廣告料
五號活字貳拾字計壹行壹圓金六
錢 但し行數及回數によリ引任
料金は悉書前至ル可申受候事

發行所 漢城新報社

漢城新報

明治二十八年三月六日 禮拜二 初十日 月經（辛丑）
 陰曆丙申十一月小 初十日 月經（辛丑）
 大日本神武天皇御即位元二千五百五十六年
 大韓帝國紀元五百五十五年
 西曆一千八百九十六年
 大清光緒二十二年

「모니라」
 고승되,
 고승이
 심이요
 반아군
 앞스되,
 명안조

官報抄錄

●詔曰命從二品金永惠爲吏支
 務總辦（建陽元年十二月九日）
 ▲奉總院卿臣
 趙秉（建陽元年十二月九日）
 ▲奉總院卿臣
 趙秉（建陽元年十二月九日）
 ▲奉總院卿臣
 趙秉（建陽元年十二月九日）

議政府贊政法部

八臣韓圭高辭職疏 批旨省
 其悉親親卿亦知其不可去而卿且懇懇不已者
 不知其可矣然而卿之情病亦不

不念姑爲勉副卿其諒之事

任度支部協

金永惠（勅任三等）

臨時署理度支部大臣

尹容善（勅任）

趙秉（勅任一等）

雜報

勸懲會

勸懲會 勸懲會의 일종은
 요, 자는가서요, 별호는, 삼어당
 나, 평호는, 사름이라, 잠암당씨
 다, 부러, 동시의, 정주의, 학을,
 할서창조술유의, 제일이라, 청호
 지은바치. 이스니, 스서송양
 의와, 스서근면독과, 독배자의와
 독유수필과, 및삼어당, 문집등이
 스서시전전의, 그릇된거술유하
 아서, 시제상아, 전후되독과전
 다, 스는거시, 이케니라, 다승문의,
 유공하고 후학을, 비의할지라, 그
 사당의, 예부터평호남티문안의, 이
 스니, 춘추로, 치제야, 사전의, 열
 선호지가, 유리의, 오라더니, 병화

이후로, 유추음, 못야서정정되라
 더니, 금년의, 소중스, 비술은, 서
 제화씨가, 허지의, 들어가, 독한할
 시, 先正의, 전형을우려로보고, 명사
 의, 퇴폐함을, 지언하야서, 곧그고
 을의, 고하야서, 유자호, 선비들
 창과하야, 서로돈을모아서, 그사당
 을, 중유하니, 이에느라가듯, 하
 게선명한지라, 그사당집을, 준코하
 았더니, 그현령, 장문성과, 별가의,
 서치봉제씨가, 의논을, 중하야서,
 지느간달, 심판일, 청호공, 탄신의,
 뜻가온, 모란사름을, 연합하야서
 경현회를, 창립하고, 신뢰압회, 설
 연고제조두로, 써, 보, 하고, 형함으
 로, 써, 찰할식, 장서두씨가, 주재하
 고, 그남어지, 공성감, 들이, 와서,
 제스를등논지, 또한스오십인의,
 리지, 아니하고, 찬을, 명하고, 축을
 동하야, 국남하야, 써기다리며, 분
 향하고한작하기를, 차례로, 행하야
 서, 무목하고환환하야서, 자못전례
 의, 순하고제스를, 맞치민다시행하
 기를, 명하례를, 선강할식, 장공지
 란자를, 마루에서, 그알을, 주장을
 하야, 유식할때까지, 송양강의에,
 중지일장을, 강설할식, 고성남송하
 야서, 써선유의, 장하신타설, 경각
 하게하고, 국위쳐발하니듯은자이,
 숙연이과경아니, 하니, 읊고되려
 를, 고성하고, 드의여, 오시증하야
 서, 스연설서하고, 복조를, 엄예하
 고 신시의, 알으려서, 비로소, 축하
 졌다하니, 이것도또한, 士林의, 아랍
 다운말이요, 일시의, 승호닐일니라
 以力假仁 토이기국, 호되야소고,
 백성이라, 거의, 구주열국공분을,
 음자거서, 그군스랄, 이루자, 아니
 고, 화을미전지, 다행호지라, 이
 드르니, 발국의, 열국에, 유출하야,
 토국을, 써가지고, 여덜조목을, 정
 하야, 자서이, 그일을하니, 지금거
 지, 이에, 어의여, 지지아니하난지
 라, 그제일조난, 갈아되토국에소구
 호, 무고백성을, 다드러너는난거시
 요, 그이조난갈아되, 아르비어아인
 을, 포호하야, 안거낙업, 호난거시
 요, 그삼조난, 갈아되, 병정아, 단이
 며, 회악하난거설, 금지하난거시
 요, 그사조난, 갈아되, 피회호집을, 무
 홀난거시요, 그오조난, 갈아되,
 가도릿구, 교당피회호을, 비상하
 난거시요, 그남어지, 삼조난아죽아
 지못하나, 다언약호, 가온되, 응당
 있을, 일이라, 하더라
 此島戰事 兪송도「모니라」에잇는
 일본사름아모기가, 지난날심상일
 말조로보되여은편지를보니, 양년
 심일월초구일과초심일날일의戰
 는피戰을앗다말을드렸스되, 오
 늘의후조선문을보니, 그날西班牙軍이
 죽은거슨삼십오명이요, 상병이일
 백삼명인디 薩軍戰隊正副「단, 韓民,
 데머스, 「모도나」씨도그안에잇고,
 덕병의스상은스빈명이라고말이
 나스되, 진정에서도라왔은사름에
 게들은죽, 그조구일초심일에戰戰
 서, 반아군스가스상이일천여명되
 러이라, 레일만하상하연은데칠십
 삼대는, 게우무스하사라는병정은,
 불과참명이라도하며삼십명이라하
 니, 정어던지물으되大數하거는, 정
 그러호모양인지라, 이兩日間에戰
 를戰하야고격하물수추하야도, 덕
 병의군세가창격하며리박슈업시,
 공연히되군하앗다더라, 그리하고
 「모니라」
 고승되,
 고승이
 심이요
 반아군
 앞스되,
 명안조

「나니라」음은인심이고하도동처아
고 되, 감방에 갇혀서 년변을 총
고 속하여 대포소리가 들니므로, 인
심 요동하였더라, 그리함으로 서
반 군병이 패한 야사함을 아나하
얏 되, 오늘서 반아구완병이 어천
명 군병을 앞스므로, 일간에 대적의
잇 나란을 수하니, 여송도형제
러므로, 일본정부는, 거기잇는 상
고 보호초로 野將을 본월초이
일 득파시켰더라

金氏傳 (三)

말 아 갈아되, 뒤에 도라가서, 이
비상하
잇 방, 다락안에, 무슨 물건, 뒤을
거, 잇다하고, 그다락에, 드러가,
보면, 자연아실일이, 잇을거시니,
보고, 일을을거지, 조처하시던지,
하, 오하고, 김활양의, 자리에 집
로, 도라오니라, 이노이니, 그말
로, 집으로, 도라가서, 아모일도, 업
난, 하고, 되당으로, 드러가서, 그
머, 리 방으로가서, 그며나리다라,
말 야, 갈아되, 니잇난방, 다락안
에, 우어슬, 뒤을거시, 잇스니, 뒤
러, 서, 뒤오랫다하니, 그며나리가,
갈, 뒤, 무슨을건인지, 제가뒤을이
다, 족, 노이니, 말하되, 니난도로
난, 거시라, 되가되오리라호족,
그, 나리, 둔치가, 황후야, 웃지
할, 모로난것, 갖가날, 이노이니,
그, 근처을, 보고서, 더욱과이, 여기
여, 부두이, 그방으로, 드러가서, 다
락, 고을, 열고서, 본죽, 무슨을거
나, 그안에, 이불에다, 무슨거설,
막, 서, 두엇난, 철현의, 양자한
지, 다, 놀다, 이불을, 펴고보니, 웃
그, 리하고, 다, 놀음의, 화살을, 이마에, 쏘치고,

죽엇더라, 이노이니, 그가막하여,
갈아되, 뒤자식의, 종적을, 모로기
의, 종성에게, 죽은줄노, 아랏더니,
지금보니, 이모양의, 잇는죽, 이놈
에, 손에, 죽엇스니, 이러호, 원슈가,
어, 디잇스리오, 그며나리을, 천정
로, 보되, 이런스연을, 낮쳐, 말
하니, 그며나리, 천정이, 또호지상
에, 집이라, 그집에서, 이말을듣고,
다, 놀다, 갈아되, 양반에집, 여
가, 이가튼형실이, 잇서, 양가를,
다, 망케하니, 니가튼, 여자난, 세
에, 용납지, 못하리라하니, 그며
도, 로여, 형실을, 성각한직, 만번죽
어, 도, 앞잡지, 아니호지라, 그천
부, 모게, 고후야, 갈아되, 그놈에,
욕을, 마하고, 죽서다가, 죽난거
을, 깨날, 그놈과, 마암을, 호가
하, 야, 도로, 가정을, 히를보이고,
지금것상, 하다가, 하날이, 머
여, 기스, 웃더호, 장부에게, 이모
을, 비이고, 이저경에, 이르스니,
디, 에죄난, 만스무셔이라, 무슨면
으로, 사라잇스리오, 고인하야, 자
페, 하나라, 그제김활양의, 자
집, 으로, 도라가서, 밤이되거날, 추
을, 도, 하고, 두엇더니, 비몽사몽
전, 일꿈에, 보단, 소년, 원연, 은
을, 열고, 드러와서, 절하고, 안드
말, 하야, 갈아되, 천희년, 원연, 원
슈를, 갈일일리, 읊서, 죽은몸의,
바, 회듬에, 잇서, 색도아니고, 지
금, 것, 잇더니, 하날이, 뒤, 에원
을, 살피스, 그되로, 하야금, 이
한, 완슈를, 갈이, 주시니, 이
난, 비골난망이라, 종금아후로
신, 명이, 라도, 그되를, 따르
도, 아줄거시니, 그리아시오
하, 야, 간디음난지라, 놀다, 제
르, 니, 남가일동이라, 김
후, 로난, 무슨어려운, 일이
모, 로난, 일이잇던지, 뒤스
변, 니, 섬에와서, 가
활, 양의, 제상에, 아
어, 리, 은은, 읊나지라, 제
리, 신, 인이라, 일
죽, 었더라, 이노이니, 그가막하여,
갈아되, 뒤자식의, 종적을, 모로기
의, 종성에게, 죽은줄노, 아랏더니,
지금보니, 이모양의, 잇는죽, 이놈
에, 손에, 죽엇스니, 이러호, 원슈가,
어, 디잇스리오, 그며나리을, 천정
로, 보되, 이런스연을, 낮쳐, 말
하니, 그며나리, 천정이, 또호지상
에, 집이라, 그집에서, 이말을듣고,
다, 놀다, 갈아되, 양반에집, 여
가, 이가튼형실이, 잇서, 양가를,
다, 망케하니, 니가튼, 여자난, 세
에, 용납지, 못하리라하니, 그며
도, 로여, 형실을, 성각한직, 만번죽
어, 도, 앞잡지, 아니호지라, 그천
부, 모게, 고후야, 갈아되, 그놈에,
욕을, 마하고, 죽서다가, 죽난거
을, 깨날, 그놈과, 마암을, 호가
하, 야, 도로, 가정을, 히를보이고,
지금것상, 하다가, 하날이, 머
여, 기스, 웃더호, 장부에게, 이모
을, 비이고, 이저경에, 이르스니,
디, 에죄난, 만스무셔이라, 무슨면
으로, 사라잇스리오, 고인하야, 자
페, 하나라, 그제김활양의, 자
집, 으로, 도라가서, 밤이되거날, 추
을, 도, 하고, 두엇더니, 비몽사몽
전, 일꿈에, 보단, 소년, 원연, 은
을, 열고, 드러와서, 절하고, 안드
말, 하야, 갈아되, 천희년, 원연, 원
슈를, 갈일일리, 읊서, 죽은몸의,
바, 회듬에, 잇서, 색도아니고, 지
금, 것, 잇더니, 하날이, 뒤, 에원
을, 살피스, 그되로, 하야금, 이
한, 완슈를, 갈이, 주시니, 이
난, 비골난망이라, 종금아후로
신, 명이, 라도, 그되를, 따르
도, 아줄거시니, 그리아시오
하, 야, 간디음난지라, 놀다, 제
르, 니, 남가일동이라, 김
후, 로난, 무슨어려운, 일이
모, 로난, 일이잇던지, 뒤스
변, 니, 섬에와서, 가
활, 양의, 제상에, 아
어, 리, 은은, 읊나지라, 제
리, 신, 인이라, 일

죽엇더라, 이노이니, 그가막하여,
갈아되, 뒤자식의, 종적을, 모로기
의, 종성에게, 죽은줄노, 아랏더니,
지금보니, 이모양의, 잇는죽, 이놈
에, 손에, 죽엇스니, 이러호, 원슈가,
어, 디잇스리오, 그며나리을, 천정
로, 보되, 이런스연을, 낮쳐, 말
하니, 그며나리, 천정이, 또호지상
에, 집이라, 그집에서, 이말을듣고,
다, 놀다, 갈아되, 양반에집, 여
가, 이가튼형실이, 잇서, 양가를,
다, 망케하니, 니가튼, 여자난, 세
에, 용납지, 못하리라하니, 그며
도, 로여, 형실을, 성각한직, 만번죽
어, 도, 앞잡지, 아니호지라, 그천
부, 모게, 고후야, 갈아되, 그놈에,
욕을, 마하고, 죽서다가, 죽난거
을, 깨날, 그놈과, 마암을, 호가
하, 야, 도로, 가정을, 히를보이고,
지금것상, 하다가, 하날이, 머
여, 기스, 웃더호, 장부에게, 이모
을, 비이고, 이저경에, 이르스니,
디, 에죄난, 만스무셔이라, 무슨면
으로, 사라잇스리오, 고인하야, 자
페, 하나라, 그제김활양의, 자
집, 으로, 도라가서, 밤이되거날, 추
을, 도, 하고, 두엇더니, 비몽사몽
전, 일꿈에, 보단, 소년, 원연, 은
을, 열고, 드러와서, 절하고, 안드
말, 하야, 갈아되, 천희년, 원연, 원
슈를, 갈일일리, 읊서, 죽은몸의,
바, 회듬에, 잇서, 색도아니고, 지
금, 것, 잇더니, 하날이, 뒤, 에원
을, 살피스, 그되로, 하야금, 이
한, 완슈를, 갈이, 주시니, 이
난, 비골난망이라, 종금아후로
신, 명이, 라도, 그되를, 따르
도, 아줄거시니, 그리아시오
하, 야, 간디음난지라, 놀다, 제
르, 니, 남가일동이라, 김
후, 로난, 무슨어려운, 일이
모, 로난, 일이잇던지, 뒤스
변, 니, 섬에와서, 가
활, 양의, 제상에, 아
어, 리, 은은, 읊나지라, 제
리, 신, 인이라, 일

단, 스람도만고, 파로난, 스람도, 마
나서, 비살을, 하난디, 남에서, 뒤
나, 제하난지라, 일, 나, 라에서,
선, 천방어스랄, 제슈하거날, 김
이, 스은고, 나와서, 선천으로, 도
임, 하라, 홀치김활양의, 본
던, 스름이라, 처음으로, 조
하, 하얏스니, 부모를, 영
갈, 야고하니, 부모와, 처
덜, 파, 소솔이, 머
떠, 나서, 선천으로, 가
후, 년이저서, 그
날, 형인더리, 길
어, 느, 주막에, 드러서, 자
일, 형이, 안
오, 기를, 기다리
반, 나오기전에, 고
하, 야, 밖에기
이, 소년, 나와서, 갈
할, 거시니, 지금
서, 쉬우라하고, 간
양, 이, 놀다, 잠
인, 을, 불너서, 저
길, 을, 떠나서, 가
중, 인덜, 여러
금, 일, 제가, 저
야, 색, 반나, 들
자, 하, 난, 잇가
디, 되, 가, 정
가, 자, 하, 거
기, 를, 떠나서, 니
고, 그, 이, 들
주, 막, 으로, 다
직, 파, 연, 그
그, 유, 막, 에,
취, 코, 저, 와
그, 유, 막, 동
아, 가, 다, 하
은, 천, 신, 이
하, 니, 비
리, 원, 인
일, 노, 저,
점, 수, 도
신, 이, 라, 도,

단, 스람도만고, 파로난, 스람도, 마
나서, 비살을, 하난디, 남에서, 뒤
나, 제하난지라, 일, 나, 라에서,
선, 천방어스랄, 제슈하거날, 김
이, 스은고, 나와서, 선천으로, 도
임, 하라, 홀치김활양의, 본
던, 스름이라, 처음으로, 조
하, 하얏스니, 부모를, 영
갈, 야고하니, 부모와, 처
덜, 파, 소솔이, 머
떠, 나서, 선천으로, 가
후, 년이저서, 그
날, 형인더리, 길
어, 느, 주막에, 드러서, 자
일, 형이, 안
오, 기를, 기다리
반, 나오기전에, 고
하, 야, 밖에기
이, 소년, 나와서, 갈
할, 거시니, 지금
서, 쉬우라하고, 간
양, 이, 놀다, 잠
인, 을, 불너서, 저
길, 을, 떠나서, 가
중, 인덜, 여러
금, 일, 제가, 저
야, 색, 반나, 들
자, 하, 난, 잇가
디, 되, 가, 정
가, 자, 하, 거
기, 를, 떠나서, 니
고, 그, 이, 들
주, 막, 으로, 다
직, 파, 연, 그
그, 유, 막, 에,
취, 코, 저, 와
그, 유, 막, 동
아, 가, 다, 하
은, 천, 신, 이
하, 니, 비
리, 원, 인
일, 노, 저,
점, 수, 도
신, 이, 라, 도

雜報

● 祭享重慶
가정파원과 전파교에 제향절차를 아
우나 다복구한단금동지제향에 영
의와 의도에 함흥제향과 전류경의 전
은속 리조위와 의평봉안지소라 전
한국관원들과 부일비 등이 합비가 심
파되어라더라

鐵道起工

● 鐵道起工
경성파, 인천사이, 철도를, 明年
三月로, 起工 하라한다 하야,
그유거소인즉성저의는, 서부차동
이요, 성의인족, 용손아오인천인족
시본영역서편, 죽인덕희중의, 근
노로, 성을, 메우고, 농개하야서
그유회, 건설한다 하고, 또인천관,
용손, 사이를보아서, 오류골, 방금
지리, 주거소말, 치환다는, 의논이,
미로왔고, 한강을건너는철교는,
서남덕의, 노들노루의, 가설할, 제
교요, 그고준, 되기는맛당이, 두회
후의, 되고, 기타일절, 鐵道인족일년
의, 完공하기로, 예정하였, 다하니,
유디는, 延壽한덕, 鐵道를, 임의고준
하야, 철교준공, 하기를기다리지,
아니하야서, 문등, 임의, 일은, 鐵道
의, 車가, 지동하야, 行동할듯, 하
더라

● 身邊雜
근일에, 전설을, 드르
니, 군부신, 閔泳鶴氏와, 협판에, 閔
泳氏, 두씨가, 할가지로, 군부에, 이
서, 鴻남에, 의논이있고, 또스레
의, 구의하고로, 금십일사에, 두민
씨, 각자스면하는, 상소를, 올렸
나니, 금번인족, 아을나, 레지치, 아
니하얏다, 하나그러나, 민영환씨인
즉, 금번옥사이후로, 항상의구한단
그, 지이서서, 장차스면한다 하더라
● 路事錄
경무사, 金在聖氏가, 제자
의, 하오삼점에, 법부협판, 權在衡氏
를, 차자보고, 일시간에, 비밀로
노를하고, 가니, 방관자더리, 다음
소관이라고, 지목하더라
● 果是說
그너부순금구연창이, 경무청의가치

囚人移送

● 囚人移送
경무청의지수한근용씨등열여정
그십삼일예고등지관소로이송하야
일간의장차판결한다 하더라
● 兇言妄聽
일전의, 운현궁안에, 은
더한사람, 하나이, 잇서서, 경무청
으로부터, 포박한일은, 두난디, 와
설인가, 의심하야, 전치아니하대선
전보에, 기록하얏거나와, 추후에,
다시드르니, 경기도, 용인군에스난
장가가, 운현궁운전에, 이르러국
의공을, 퇴임기를, 청하니, 못을나
드리니, 장가사, 절하고, 꾸러안거
날, 불과나십세종된, 소손이라 국
의공이, 무루시되, 무슨소회가, 있
나나하니, 장가사, 좌우를, 들니
를, 청하고, 사미로, 글장봉을, 지어
드리거늘, 국의공이, 자서이본죽
하, 다한, 형피설모인되, 당시세, 영
결혼, 스람을, 드리서, 청국군스람,
당기여서, 왜양을, 치고, 도성내, 제,
참모한자이, 또한만타하거날, 국
의공이, 보기를, 다하고, 장가를, 명
하야, 밧겼히, 머물너두고, 국충환
을, 불너서, 지주어서, 경무청으로,
잡아갔다, 하니, 스람더리, 다말하
되, 이거시, 장가에, 소위, 가, 아니라
반다시, 지어지양을, 입었다, 하더라
● 獄中告白
하남의로,
라, 옥스포박하남말은, 두난디로,
괴롭하거니와, 자작일에, 경부로,
별관, 모아서, 엇더호스람을, 잡
기로, 파종하기를, 작정하얏나니,
금년순금, 유괴환유진구, 두스람으
로, 먼저가서, 지시하랴만, 소임을,
맛것나니, 이두스람인족, 최초에,
고변하던, 스람인고로, 하야금, 지
도하계, 하얏다더라, △근용씨, 옥
사이후에, 별순금더리미복으로, 스
면근포, 하난거선, 두난디로, 기록

하거니와, 금팔일에, 부부스동, 마
물니, 잇나한스람을, 경무청으로,
포박하야가니, 이반옥사에, 간법된
지나, 성명은, 자거이, 모로기다하
더라
● 出所更索
근일에, 각지방에, 출주
병력을, 다만, 뒤장만두고, 정위
이하병정은, 신구교래하야, 출주하
나니, 신출병정이, 자작일세이일에
문밖으로, 거나리고, 나가난디, 근
부신, 閔泳鶴氏와, 기타장관尹繼勳氏
등이, 아을나, 군복을입고, 목소문
밧그로, 나가서, 스종을, 위로하고,
곳아관으로, 드러갔다, 하더라
● 國學取士
성관과학도, 육십명,
에, 우등자, 사십명명을, 알하
싸서, 이학도더른, 장창크게, 쓰기
로, 작정하니, 웃지한, 일인고하니,
다른학교인족, 다선설학교요, 이거
신족, 유리로, 구규인고로, 금음년
십이월에, 사십명중에, 다시이십명
을, 싸서, 조용하고, 이십명중에, 다
시그우등자를싸서, 의구레하야, 문
과급제를, 하고, 여수인족, 전스에,
붓치고, 그남어지, 이십명인족, 명
년정월을, 기다려, 또우려와가치
조용하고, 그여수난, 그졸립하기를
싸라서, 선용한다 하니, 일노써, 학
도중에, 급제와, 전스한자로, 장창
금년부, 흘림, 지금, 비서랑, 외교,
교서를, 임명하고, 다른스람인족,
임명하기를, 웃지못하계, 하난고로
이학도더리, 공부에, 힘쓴다, 하다
더라, 한림, 외교, 지족은, 미하스
름은, 바라지, 못하난, 연고이다라
● 都門雜小
제자일, 閔부관적국장
의, 尹繼勳氏가, 그관하, 유스로, 더부
러, 각서의, 갖치술회, 하야서, 호적
을, 고열하야, 가부를, 가라여, 수회
할시, 만일그절례랄, 어권자인족,
다시지정, 하얏다더라, △근일도성
안의, 시조호적을, 한이후로, 그한
홍유가, 된자가, 최령으로, 해, 면제
온다, 근설은, 전호지상의, 임의
등지, 하얏거나와, 지금한전판에게

の程宮内府は
五百井長精米所
五百井長支店の精米所は既に此程竣工し
耶牛皮の一手

銅	一〇〇斤
---	------

真鎗皮	二〇〇斤	六六
銅樓	一〇〇斤	三八

	計	封茂	三二〇担	二、七四六	五六
	計	同上外國產	(圖以下略す)		
石油	計	石油	三〇〇函	八三五	八三五
		同上朝鮮產	(圖以下略す)		
明太	計	明太	二一八款	四、三六〇	四、三六〇
		輸出朝鮮產	(圖以下略す)		
牛皮		牛皮	八、七〇〇斤	一、八〇〇	五〇
半足		半足	二、〇〇〇	一、三六六	三、二一六
大豆	計	大豆	三一五石		

●第九會正風象　芳澤之 equal の割合に倣て
本號より掲載せし。

廣告



日本郵船株式會社
瀛船仁川廣告

越後丸 十一月十二日
午後九時出帆

玄海丸 十一月廿二日出帆
午後八時出帆

仙臺丸 十二月九日出帆
午後八時出帆

兵庫丸 十二月十二日出帆
午後八時出帆

長門丸 十二月十二日出帆
午後八時出帆

伏木丸 十二月十二日出帆
午後八時出帆

駿河丸 十二月十二日出帆
午後八時出帆

肥後丸 十二月十二日出帆
午後八時出帆

日本郵船株式會社仁川支店

瀛船仁川廣告

南越丸 十二月十四日出帆
午後八時出帆

筑後丸 十二月十二日出帆
午後八時出帆

舞子丸 十二月十二日出帆
午後八時出帆

仁川荷客取扱所

御旅神戶屋
第七拾六號地

上等 金壹圓
中等 金七拾錢
下等 金五拾錢
下宿 金拾圓

一等 壹圓
二等 七角
三等 五角
下等 三角
田原旅館

東京流行新形帽子
中山高帽子
鳥打帽子
中折帽子
大軍帽子
海軍帽子
小學帽子
小供帽子
毛メリヤス
サルメリヤス
店商屋龜 幌泥城京

日本紡績木綿
一朝鮮人士腰帶
右品は朝鮮各諸君に便を爲す爲に、
泥崎四拾貳號地大衆社に於て輸入、
右品は朝鮮各諸君に便を爲す爲に、
泥崎四拾貳號地大衆社に於て輸入、
右品は朝鮮各諸君に便を爲す爲に、
泥崎四拾貳號地大衆社に於て輸入、

新茶
高田平次郎

河村至誠堂

薩摩煙草卸賣
川畑勇吉

銘酒販賣廣告
一 菊正宗 一 春駒
一金露 一文
一 澤龜
其他醬油類各種

佐藤酒店

雜貨買賣
井出商店

朝鮮王國

總論地理部
會部

民友社

金澤末吉

溫飽蕎麥上 五拾五以下 壹錢八厘 君の蕎麥事
卸賣大勉強 五拾五以上 壹錢六厘 岩源

新開定價
一週月 貳拾五錢
三個月 壹拾元
六個月 壹拾元
一年 貳拾元

廣告
近來南洋各埠僑胞紛紛回國金交
與心者茲友團發人等特創辦此
報以助其志並為南洋各埠僑胞之
利益起見特此佈告

發行所
總代理人 廖藤 翁田 羅下 廣

朝鮮京城城南區會愛坊路四號二

漢城新報社

가	고	과	운	이	스	람	에	지	나	난	지	라	온	비	라	
부	수	지	간	에	서	로	화	목	하	야	자	녀	스	근	지	에
인	을	나	있	난	되	그	지	아	비	가	십	여	년	기	동	을
이	리	로	눈	병	을	알	어	서	능	이	치	산	를	세	의	
을	못	고	진	씨	에	홀	노	치	사	하	을			가	그	를
힐	임	어	동	아	하	기	를	면	고	또	그			자	에	게
피	에	무	수	물	전	전	을	배	푸	려	장	스	하	전	보	에
아	년	되	로	삼	스	현	금	을	모	웠	난	되	전	하	목	자
하	양	영	오	일	에	일	본	북	빈	천	궁	친	왕	동	지	하
전	하	가	근	위	되	를	거	나	리	고	도	비		서	를	스
을	찰	서	사	조	각	을	말	미	얹	어	언	덕		닐	니	거
에	을	은	니	무	릇	관	군	니	있	은	바	에		이	승	스
형	제	가	되	조	김	갖	은	지	라	육	일	상	순	서	천	리
에	되	북	성	에	일	으	러	도	비	가	북	문		나	가	은
을	근	계	닷	고	관	군	을	정	이	치	고	자		리	오	하
홀	조	음	에	홀	연	하	부	인	니	단	신	으	로	보	고	서
손	에	스	다	리	를	가	지	고	成	樓	알	히	제	의	를	되
우	고	성	우	에	을	너	면	져	성	운	을	여		라	하	고
러	쥬	니	되	군	더	리	인	하	야	드	러	가		이	르	리
니	천	왕	이	크	게	기	버	하	야	특	별	이	상	적	보	고
쥬	라	하	는	명	을	나	리	시	니	그	일	다	섯	라		
살	먹	은	들	제	아	달	어	일	홍	은	슈	도	인			
되	형	장	을	차	리	여	군	스	랄	썩	라	강				
의	등	척	를	나	가	철	서	일	을	맞	치	지				
아	니	하	야	병	드	러	도	라	가	니	십	일				
월	에	일	으	러	미	동	산	회	동	스	되	정				
관	이	라	하	는	스	람	하	나	이	슈	도	모				
자	로	썩	여	국	가	에	공	이	잇	다	하	야	동	경		
으	로	썩	고	도	라	갈	서	지	금	좌	본	쇼				
좌	參	贊	이	소	학	교	에	드	러	보	니	를	말	리		
얹	아	하	야	곰	먼	저	업	을	익	히	게	하	다			
하	더	라														
北	海	光														
덕	원	서	오	난	의	별	을									
드	르	니	본	원	오	일	에	원	손	진	에	서				
떠	나	온	아	라	스	국	비	도	슈	고	이	호	가			
지	금	영	하	만	에	되	어	있	난	되	그	만				
두	육	지	에	바	야	으	로	석	란	고	를	경				
영	하	나	니	또	나	날	마	다	하	만	금	지	에	바		

(癸卯)

二十日

十六日

다 할을, 갑고양은 거슬, 처남하고, 또
히, 어구에, 물가온히, 뒤와, 남그
로, 목척을, 만드려, 브려쳐워서, 다
른가, 불사로, 불입지, 못하게하고
, 목척만든, 목치인즉, 허삼위에서
, 이러보던이, 뒤아오, 그죽자인즉,
일고상고더리, 덕원저자에서, 사서
온라, 아라스, 스름다리, 또허만,
자녀스
근애, 조고마호, 언덕우에, 만이,
십여년
기을, 세우고, 처남양한, 목표
이, 처산
를, 세웠다하더라

● 禮相繼 忠義祠의 관, 안경슈씨
가, 글을, 일본, 농상부딘신, 하목자
장스, 작
제, 보던이, 동편을, 착안일은,
한되전
전애도, 기록한양거니와, 일전의,
, 천왕
하, 자작, 답사에, 향앗스되, 근력에
, 토비
, 동지호, 여간사람으로, 더부러, 동
, 언덕
서, 슈집정간하야, 백성을, 위하야
, 언덕
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
은바에,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
월상술
이, 스라, 이헤아려보니, 이를형쳐
, 북문
서, 전리에, 글을날이여, 뒤게구하니
, 지고자,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
신으로
, 향고, 이에그슈집을, 동편과,
, 보, 슈유랄, 아올나, 북쳐서, 써승
의, 뒤답하나니, 북유갑조, 향노
, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
라, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
이, 드러, 삼년스이, 동스시험성
적, 보고서, 제척자를, 병부향앗다
슈도인
라, 가
, 전설에, 일으되, 정부
, 아라스공스관, 부군스스무관
, 부사다되좌가, 의논하야, 장차남별
, 슈도인
, 다하더라

● 禮相繼 忠義祠의 관, 안경슈씨
가, 글을, 일본, 농상부딘신, 하목자
장스, 작
제, 보던이, 동편을, 착안일은,
한되전
전애도, 기록한양거니와, 일전의,
, 천왕
하, 자작, 답사에, 향앗스되, 근력에
, 토비
, 동지호, 여간사람으로, 더부러, 동
, 언덕
서, 슈집정간하야, 백성을, 위하야
, 언덕
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
은바에,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
월상술
이, 스라, 이헤아려보니, 이를형쳐
, 북문
서, 전리에, 글을날이여, 뒤게구하니
, 지고자,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
신으로
, 향고, 이에그슈집을, 동편과,
, 보, 슈유랄, 아올나, 북쳐서, 써승
의, 뒤답하나니, 북유갑조, 향노
, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
라, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
이, 드러, 삼년스이, 동스시험성
적, 보고서, 제척자를, 병부향앗다
슈도인
라, 가
, 전설에, 일으되, 정부
, 아라스공스관, 부군스스무관
, 부사다되좌가, 의논하야, 장차남별
, 슈도인
, 다하더라

● 禮相繼 忠義祠의 관, 안경슈씨
가, 글을, 일본, 농상부딘신, 하목자
장스, 작
제, 보던이, 동편을, 착안일은,
한되전
전애도, 기록한양거니와, 일전의,
, 천왕
하, 자작, 답사에, 향앗스되, 근력에
, 토비
, 동지호, 여간사람으로, 더부러, 동
, 언덕
서, 슈집정간하야, 백성을, 위하야
, 언덕
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
은바에,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
월상술
이, 스라, 이헤아려보니, 이를형쳐
, 북문
서, 전리에, 글을날이여, 뒤게구하니
, 지고자,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
신으로
, 향고, 이에그슈집을, 동편과,
, 보, 슈유랄, 아올나, 북쳐서, 써승
의, 뒤답하나니, 북유갑조, 향노
, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
라, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
이, 드러, 삼년스이, 동스시험성
적, 보고서, 제척자를, 병부향앗다
슈도인
라, 가
, 전설에, 일으되, 정부
, 아라스공스관, 부군스스무관
, 부사다되좌가, 의논하야, 장차남별
, 슈도인
, 다하더라

● 禮相繼 忠義祠의 관, 안경슈씨
가, 글을, 일본, 농상부딘신, 하목자
장스, 작
제, 보던이, 동편을, 착안일은,
한되전
전애도, 기록한양거니와, 일전의,
, 천왕
하, 자작, 답사에, 향앗스되, 근력에
, 토비
, 동지호, 여간사람으로, 더부러, 동
, 언덕
서, 슈집정간하야, 백성을, 위하야
, 언덕
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
은바에,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
월상술
이, 스라, 이헤아려보니, 이를형쳐
, 북문
서, 전리에, 글을날이여, 뒤게구하니
, 지고자,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
신으로
, 향고, 이에그슈집을, 동편과,
, 보, 슈유랄, 아올나, 북쳐서, 써승
의, 뒤답하나니, 북유갑조, 향노
, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
라, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
이, 드러, 삼년스이, 동스시험성
적, 보고서, 제척자를, 병부향앗다
슈도인
라, 가
, 전설에, 일으되, 정부
, 아라스공스관, 부군스스무관
, 부사다되좌가, 의논하야, 장차남별
, 슈도인
, 다하더라

夢遊歷代帝王宴

(十六)

● 禮相繼 忠義祠의 관, 안경슈씨
가, 글을, 일본, 농상부딘신, 하목자
장스, 작
제, 보던이, 동편을, 착안일은,
한되전
전애도, 기록한양거니와, 일전의,
, 천왕
하, 자작, 답사에, 향앗스되, 근력에
, 토비
, 동지호, 여간사람으로, 더부러, 동
, 언덕
서, 슈집정간하야, 백성을, 위하야
, 언덕
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
은바에,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
월상술
이, 스라, 이헤아려보니, 이를형쳐
, 북문
서, 전리에, 글을날이여, 뒤게구하니
, 지고자,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
신으로
, 향고, 이에그슈집을, 동편과,
, 보, 슈유랄, 아올나, 북쳐서, 써승
의, 뒤답하나니, 북유갑조, 향노
, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
라, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
이, 드러, 삼년스이, 동스시험성
적, 보고서, 제척자를, 병부향앗다
슈도인
라, 가
, 전설에, 일으되, 정부
, 아라스공스관, 부군스스무관
, 부사다되좌가, 의논하야, 장차남별
, 슈도인
, 다하더라

● 禮相繼 忠義祠의 관, 안경슈씨
가, 글을, 일본, 농상부딘신, 하목자
장스, 작
제, 보던이, 동편을, 착안일은,
한되전
전애도, 기록한양거니와, 일전의,
, 천왕
하, 자작, 답사에, 향앗스되, 근력에
, 토비
, 동지호, 여간사람으로, 더부러, 동
, 언덕
서, 슈집정간하야, 백성을, 위하야
, 언덕
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
은바에,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
월상술
이, 스라, 이헤아려보니, 이를형쳐
, 북문
서, 전리에, 글을날이여, 뒤게구하니
, 지고자,
, 니니퍼서, 리를고로게, 향거시,
신으로
, 향고, 이에그슈집을, 동편과,
, 보, 슈유랄, 아올나, 북쳐서, 써승
의, 뒤답하나니, 북유갑조, 향노
, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
라, 고, 자, 게스년으로, 올미년거지
이, 드러, 삼년스이, 동스시험성
적, 보고서, 제척자를, 병부향앗다
슈도인
라, 가
, 전설에, 일으되, 정부
, 아라스공스관, 부군스스무관
, 부사다되좌가, 의논하야, 장차남별
, 슈도인
, 다하더라

주인나, 그, 아호, 이요정스하기를
, 평평이, 어지못하고, 언주, 주장하
기를, 밋부게, 어지못하니, 천하의,
, 유단지못하야, 대부부되니, 이
라, 한저에, 일으되, 종성된말이, 구
에, 거스리다, 형실에도, 니를고, 독
한말이, 일으스나, 병에, 니를다하
니, 다형이, 일미, 바를이로, 처, 고
이, 다하더라, 향왕이, 부원하, 일
에, 수충을, 밋치, 가독하날, 명왕이
, 지리를, 피하야, 마하야, 일으되, 이
린, 저조와, 어리서, 간, 말노, 마도
이, 사비를, 의논하스니, 마음에,
심하, 미안하도, 만져, 초찬하야,
일으되, 공양왕의, 근신일과, 고하야, 명
왕의, 대왕을, 의논하미, 비록, 친되
이, 스나, 명종왕간의, 오하려, 죽히,
이, 남자, 못하리도다, 명왕이, 일
오되, 도읍을, 명하고, 죽하, 어
뒤이, 가하를, 어지못하노라, 한왕
이, 글으되, 산은, 근로이로, 부러하
며, 물은, 황하로, 부러하야, 수회의
안은, 요순, 우량, 문무, 진한의, 도읍
이요, 수회의, 방근, 남만, 북적, 동이
, 서양의, 나라이라, 응유, 예주, 서
주, 양주, 스주는, 장안이되고, 형주,
익주, 청주, 양주, 스주는, 금강이,
되야, 용이, 서리고, 범이, 거러안존
것, 호하, 천부지되, 되스니, 참
일은바, 대왕의, 도읍이라, 뒤지, 삼
의, 전은, 대왕이, 만이, 하북에서,
노고, 삼되이후는, 대왕이, 만이, 하
남에서, 낫조나, 홀노, 가만, 구하하
파이, 잇스나, 대의, 뜻이, 금강에, 잇
스나, 명왕이, 스레하야, 글으되, 원
전리, 습하, 가르치심을, 보드린
다, 한왕이, 죽서, 장상에, 종성과, 지
해와, 용명이, 잇는사람을, 명하야,
이러나, 충추고, 노리를, 지으라하
니, 제일되는, 장남, 소하, 한신, 전평
, 다신이요, 제이되는, 마원, 가북제
갈당, 관공, 노은이요, 제삼되는, 나
정, 장손무의, 장순, 허원, 서달등이
니, 종공의, 태종하고, 그위, 노락하
다

주인나, 그, 아호, 이요정스하기를
, 평평이, 어지못하고, 언주, 주장하
기를, 밋부게, 어지못하니, 천하의,
, 유단지못하야, 대부부되니, 이
라, 한저에, 일으되, 종성된말이, 구
에, 거스리다, 형실에도, 니를고, 독
한말이, 일으스나, 병에, 니를다하
니, 다형이, 일미, 바를이로, 처, 고
이, 다하더라, 향왕이, 부원하, 일
에, 수충을, 밋치, 가독하날, 명왕이
, 지리를, 피하야, 마하야, 일으되, 이
린, 저조와, 어리서, 간, 말노, 마도
이, 사비를, 의논하스니, 마음에,
심하, 미안하도, 만져, 초찬하야,
일으되, 공양왕의, 근신일과, 고하야, 명
왕의, 대왕을, 의논하미, 비록, 친되
이, 스나, 명종왕간의, 오하려, 죽히,
이, 남자, 못하리도다, 명왕이, 일
오되, 도읍을, 명하고, 죽하, 어
뒤이, 가하를, 어지못하노라, 한왕
이, 글으되, 산은, 근로이로, 부러하
며, 물은, 황하로, 부러하야, 수회의
안은, 요순, 우량, 문무, 진한의, 도읍
이요, 수회의, 방근, 남만, 북적, 동이
, 서양의, 나라이라, 응유, 예주, 서
주, 양주, 스주는, 장안이되고, 형주,
익주, 청주, 양주, 스주는, 금강이,
되야, 용이, 서리고, 범이, 거러안존
것, 호하, 천부지되, 되스니, 참
일은바, 대왕의, 도읍이라, 뒤지, 삼
의, 전은, 대왕이, 만이, 하북에서,
노고, 삼되이후는, 대왕이, 만이, 하
남에서, 낫조나, 홀노, 가만, 구하하
파이, 잇스나, 대의, 뜻이, 금강에, 잇
스나, 명왕이, 스레하야, 글으되, 원
전리, 습하, 가르치심을, 보드린
다, 한왕이, 죽서, 장상에, 종성과, 지
해와, 용명이, 잇는사람을, 명하야,
이러나, 충추고, 노리를, 지으라하
니, 제일되는, 장남, 소하, 한신, 전평
, 다신이요, 제이되는, 마원, 가북제
갈당, 관공, 노은이요, 제삼되는, 나
정, 장손무의, 장순, 허원, 서달등이
니, 종공의, 태종하고, 그위, 노락하
다

雜報

● 韓憲閣 大韓皇帝、민씨능소를
 의정장난일노, 여러번, 본보에, 기
 록을 올리니와, 그이후, 능소를,
 동문밖, 심리허되난, 스찰부근지
 에, 안정하나, 그러나, 의구려하야,
 삼기를, 예심호, 연후에, 시역하난
 고, 거십삼일에, 총호스, 이하가,
 다, 갖난디, 자서이, 관보초록을보
 니, 장제원경, 규공홍, 재씨가, 또한
 나, 산단디, 그종인, 아을나, 빅여명,
 이, 전일, 수원, 봉덕, 양주, 등지로,
 도, 왔난디, 왕환호, 리수를, 헤아
 러스면, 스빅여리라고고, 왕환후에
 , 시호차례, 또도라, 은후에, 리아,
 당시에, 시역하기를, 장정하다하더
 라

● 廷臣更調

일간의 여항중설을들으니, 김의정이
 갈치시더욱구어서가히도리키지못
 하였고
 사아또한그경을살피서, 수갈니이고
 니구디신박定屬으로의정을삼고군부
 의신(閣議)으로, 군부디신을삼고, 군부
 두군부디신을들다하, 우리도, 두
 군부디이말이, 밋기어려운지라, 지금
 아, 리스스관이하야, 호로, 러랄, 훈련
 하, 군부디니, 허스정어, 민군부가, 갈닐니
 가, 갈도, 한씨인, 죽그죽인에, 범죄하
 가, 당의로, 인척하야, 조되호지, 가, 지금
 여, 러날이라, 들어, 가서, 군부중, 한권을
 자, 으면, 웃지, 갖다, 이아, 러할날이, 있스
 카, 요비, 록그, 러하, 이, 나, 러일, 은, 미, 양
 이, 료, 박디, 나, 는, 게, 이, 스니, 이, 러, 중, 설, 이
 가, 도, 리, 여, 참, 그, 러, 한, 자, 하, 하, 지, 못
 이, 겠, 디, 라, 또, 전, 한, 자, 의, 말, 이, 한, 씨, 가
 지, 작, 일, 에, 중, 주, 원, 의, 관, 을, 임, 하, 았, 다, 더

● 韓憲閣

의정디신을, 장(閣議)을, 하, 다, 하,
 나, 이, 드, 전, 의, 디, 록, 하, 마, 의, 좀, 다, 르, 나, 또
 하, 일, 설, 일, 나, 라

● 自設會議 식으로, 군부디, 신(閣議)을,
 씨, 가, 전, 소, 한, 후, 사, 전, 한, 단, 말, 은, 듯, 나, 디
 로, 임, 의, 디, 지, 하, 았, 거, 나, 외, 지, 금, 다, 시, 들
 으, 니, 아, 번, 십, 스, 일, 의, 슈, 처, 하, 고, 십, 오, 일,
 에, 절, 제, 상, 소, 를, 은, 난, 후, 의, 인, 하, 야, 고, 시
 무, 한, 다, 더, 라

● 法部會議 高等法院, 관소, 김스의,
 李會九씨가, 군부, 물품, 스, 장으로,
 이, 임, 하, 고, 김, 스, 디, 의, 단, 군, 부, 참, 서
 관, 에, 주, 세, 제, 씨, 가, 임, 명, 하, 시, 십, 스, 일, 에
 주, 본, 하, 야, 남, 품, 하, 았, 다, 더, 라, 군, 부
 주, 스, 의, 韓憲閣씨가, 본, 디, 독, 님, 신, 문, 스
 의, 디, 지, 로, 주, 스, 를, 임, 명, 하, 이, 후, 의,
 그, 본, 스, 탐, 보, 하, 기, 의, 유, 하, 고, 또
 일, 은, 을, 아, 니, 주, 드, 님, 노, 하, 부, 두, 이, 하
 하, 았, 다, 더, 라

● 韓憲閣 軍部, 일본보병,
 제, 일, 연, 디, 제, 일, 연, 대, 가, 장, 참, 본, 원, 심
 구, 일, 노, 하, 제, 일, 연, 디, 군, 제, 제, 랄,
 거, 하, 할, 서, 지, 금, 들, 으, 니, 그, 러, 전, 에, 순
 서, 인, 즉, 십, 구, 일, 오, 전, 심, 점, 중, 에, 외, 장
 티, 우, 널, 은, 마, 당, 터, 의, 서, 義理院을,
 와, 망, 분, 열, 하, 는, 레, 를, 하, 야, 더, 오
 로, 본, 디, 오, 후, 이, 점, 중, 스, 아, 서, 지, 하, 고
 , 또, 저, 등, 병, 영, 의, 義理院과 義理院을,
 제, 를, 배, 푸, 러, 서, 오, 후, 이, 점, 중, 본, 디,
 스, 점, 중, 스, 이, 서, 지, 하, 고, 나, 더, 병, 영, 에
 , 또, 義理院을, 배, 풀, 고, 양, 소, 병, 영, 이,
 적, 금, 등, 기, 를, 할, 서, 인, 즉, 하, 스, 포, 주, 하
 고, 또, 화, 약, 을, 디, 포, 에, 매, 여, 서, 서, 포
 성, 을, 디, 이, 고, 양, 소, 병, 영, 안, 에, 또, 만
 이, 전, 디, 지, 관, 을, 배, 풀, 고, 또, 드, 르, 니,
 이, 날, 에, 일, 병, 영, 으, 로, 본, 디, 서, 장, 참,
 일, 본, 공, 스, 관, 과, 밋, 일, 본, 영, 스, 관, 관, 인
 에, 제, 를, 노, 하, 청, 하, 고, 조, 선, 군, 부, 스
 관, 팔, 십, 연, 이, 과, 미, 국, 아, 국, 모, 단, 나, 라
 스, 관, 등, 으, 로, 크, 제, 장, 참, 하, 난, 디, 일, 병
 영, 으, 로, 본, 디, 다, 문, 제, 스, 의, 관, 란, 하, 난
 지, 또, 호, 슈, 병, 명, 을, 다, 전, 다, 하, 고, 밋, 유
 시, 을, 먹, 일, 쓰, 지, 라, 더, 라

● 我武維揚

서울, 앞, 난, 일, 병, 이, 이
 에, 보, 병, 제, 일, 연, 디, 제, 일, 디, 스, 라, 제
 일, 연, 디, 가, 처음, 에, 보, 병, 제, 오, 번, 디, 스
 , 병, 화, 오, 관, 이, 라, 일, 커, 르, 디, 니, 제, 유
 년, 에, 올, 기, 여, 동, 병, 전, 디, 에, 북, 치, 여,
 군, 제, 를, 못, 처, 서, 연, 디, 를, 삼, 고, 갑, 오, 년
 십, 이, 월, 십, 구, 일, 동, 병, 일, 비, 곡, 연
 무, 소, 가, 되, 았, 난, 디

일본, 천, 황, 폐, 하, 가, 천, 수, 군, 디, 하, 고, 정
 축, 년, 난, 에, 동, 병, 도, 전, 하, 시, 서, 하, 에,
 싸, 하, 하, 니, 그, 가, 올, 에, 서, 하, 을, 평, 하, 고
 십, 이, 월, 동, 병, 으, 로, 회, 군, 하, 야, 청, 구, 을
 철, 시, 제, 일, 연, 이, 요, 동, 들, 에, 싸, 하, 서
 와, 연, 전, 연, 조, 하, 야, 화, 친, 하, 야, 회, 군, 하
 니, 올, 미, 국, 일, 이, 라, 금, 년, 오, 월, 에, 제
 일, 디, 스, 를, 난, 와, 서, 조, 선, 으, 로, 파, 송, 하
 야, 영, 성, 과, 부산, 과, 원, 산, 에, 다, 두, 았
 더, 라

● 移因更觀 軍部, 청, 죄, 슈, 의, 나, 군, 용, 씨, 등, 이, 지, 나, 간
 십, 스, 일, 에, 고, 등, 제, 관, 소, 이, 송, 하, 았, 단
 말, 은, 임, 의, 디, 지, 하, 았, 더, 나, 다, 시, 들, 은, 즉
 당, 일, 에, 이, 슈, 를, 아, 니, 하, 고, 시, 법, 부, 디, 신
 시, 무, 하, 기, 를, 기, 다, 러, 서, 경
 주, 한, 후, 의, 인, 하, 야, 고, 고, 등, 제, 관, 소, 로, 이
 송, 하, 야, 서, 지, 관, 하, 다, 하, 더, 후, 은, 지, 작, 일
 에, 임, 의, 이, 송, 하, 았, 더, 니, 어, 느, 말, 이, 참, 을
 혼, 지, 모, 르, 겠, 더, 라

● 公府將 혹이, 전, 하, 야, 갈, 아, 디,
 미, 국, 스, 란, 구, 씨, 가, 본, 방, 에, 유, 려, 하, 는
 스, 인, 아, 모, 로, 더, 부, 러, 장, 참, 성, 이, 에,
 거, 마, 회, 스, 란, 참, 입, 하, 고, 자, 하, 다, 하, 더
 라

● 童叟說 남부, 성, 민, 동, 스, 난, 디, 등
 이, 나, 이, 십, 팔, 세, 인, 디, 날, 마, 다, 셔, 유, 팔, 기
 로, 성, 의, 하, 의, 미, 양, 화, 혼, 에, 집, 으, 로, 도, 라
 오, 더, 나, 지, 작, 일, 박, 모, 에, 집, 으, 로, 도, 라, 오
 난, 길, 에, 병, 디, 들, 교, 련, 하, 던, 마, 당, 에, 지, 디
 더, 니, 홀, 연, 이, 무, 손, 들, 기, 니, 나, 등, 에, 머, 리
 를, 누, 루, 거, 날, 디, 등, 이, 걸, 을, 디, 여, 쌍, 에, 업
 드, 러, 졌, 다, 이, 러, 나, 머, 리, 처, 가, 쓴, 어, 저
 서, 어, 디, 로, 간, 지, 아, 지, 못, 하, 고, 들, 디, 서, 집
 으, 르, 도, 라, 가, 서, 어, 제, 아, 참, 에, 널, 니, 슈, 스
 들, 하, 야, 차, 조, 니, 그, 머, 리, 처, 를, 그, 이, 웃, 쓴
 는, 트, 나, 무, 밋, 하, 서, 차, 졌, 스, 니, 참, 피, 이, 호

● 曉于八

호, 랑, 이,
 아, 모, 에
 에, 제, 심
 관, 제, 현
 하, 야,
 를, 상,
 찾, 다, 더


● 孤入 軍, 부, 안
 단, 나, 하
 리, 저, 리
 하, 았, 다

● 祝 祝
 남, 서,
 서, 가,
 과, 미
 그, 러, 으
 았, 다, 나
 상, 이,
 위, 하,
 서, 일,
 동, 부,
 이, 며,
 이, 디, 지
 자, 다,
 중, 제,
 는, 디,
 를, 불,
 능, 비,
 하, 거, 날
 이, 못,
 아, 들,
 아, 디,
 전, 을, 이
 와, 채,
 로, 다,
 보, 리, 라
 더, 니,
 고, 하,
 능, 비,

のよ
に運れ佛
港より
たる捏
度後施に
託し工事
至らん根
五穀以下
以て
官吏、首
刑せら
十餘兩
以て及び
功か
廣州幸
の金錢
たりと
て水産
げて固
營業資
國難を顧
不幸中途
とも元山
版すべく
以たり或
明太
思ふ多く
元し費用
して三倍
而して
運傷を新
うに一萬
事せんか
ん其の現
方に向つ
人の已に
もの至
べき見込
に詳集
たり
引近年に
に掛けて
爲めに窮
格の廻
以て既に
神戸に航行せしめたるが爲は兵隊九及び伊勢丸の船も翌次に運航せしむる筈なりと
●勞働者の窮乏 最早浦鹽の結氷期に切迫し且て直寒の爲め西比利亞の鐵道事業も休止するを以て便船毎に日本及び支那より勞働の爲め該地に赴き居たる者數れも頗る露國に就けり
●本國直上 從來我が日本居留商の輸入せる本國產物に於ては一定の就き八十錢の評價より此程に至り俄かに二十錢方と引上げ一圓と爲したるを以て其結果少くも五次宛直上を爲さる可らざる事とありて稍や賣を惡化するに至りたるを以て營業者も取引類より迷惑し居れりと云ふ
●雪 増加 雪地の鶴林廳警備員は其後次第に増加し現在該地は最早百五十餘名を出てたりと云ふ
●兵の亂暴 十三日の夕刻北署巡檢某氏壯烈に廳中一名の兵丁醉歩蹣跚して來り巡檢と云ふより忽ち惡口難言を極め巡檢は餘かに之を説諭せしに益々圖り乘りて抵抗し亂暴狼藉するざるを以て本署に拘引せんとせしに、兵丁は壯烈に仕する者のよしにて洞民等も之を容れに放縱を乞へるより痛く向後をめて之を放ち遣りし由又十四日兵丁數十名を以て壯烈に交番所を襲ひ居合され、巡檢三名を捉へて亂打し交番所を破毀し思ふより暴行をなして立ち去りたり該交番所より直に警察廳に急報して措置を乞ひたるが其の後如何なる運びに至りしにや
●虎 城內に入る 去る十二日夕一頭の虎兒城に暴れ込み北郷北壯烈なる武家と闘ひ、十三日夜又た法部協辦樓在新氏の邸内に入、鷄鳥一羽及犬一匹、噛み殺し暴れに暴れるをば家人等大勢にて僅く之を逐ひ出たり、の報知ありたり
●慶祝 本月四日仁川港を援捕し平壤に向ひる慶齊號は其停港豫定日は九日頃なるに今に至るも歸航せず多分結氷の爲めに閉ぢたりたるものあらんとの傳あり

● 九年
一月中
京城輸出入月報

商況 (京城商業會議所調査の要領)



11

三

恭賀新禧

一名刺用明朝四號文字
一名刺用洋文字

右各品今般到着仕り新年御葉書摺及び御名刺御注文從來に比し一層鮮明に且つ禮儀に備
望可仕様預段々御申込茲下度致ては本年も早々御序にて多数の御注文者へ御返後に付き御
詰まり萬一御斷り申さるゝと得ざる様の事有之候ては如何にも御氣の毒の至りに事存候御
何卒御注文の御方々は來る二十一日迄御申込被下度 爲之此致

明治二十六年十二月十六日

漢城新報社

日本郵船株式會社
汽船仁川出廣告

十一月廿二日 丑時 一 日入
芝葉行
船長、茂木 銅之

十二月廿九日出廿八日入
長崎 香港行
船長

十二月 日出 日入
釜山、馬朝、神戸行
船長 ウナルタ

十二月 日出 日入
長崎、釜山、元山、浦鹽行
噸 船長 ウルイソン

行	十二月	日
	月	出
		入
		港

十二月 日
午前九時出帆
行

十二月	入港	釜山、馬關、神戶行
十二月	出帆	船長 井上猪三郎
十二月	日出	日入

十二月	日出	日入
釜山對州長崎馬關神戶行		
船長 村井 保		

仁川支店

同十六日出港

丸
港
同
百
出
港

神戸 大坂行

十二月 日入港 同 日出港
釜山 馬關 神戶 大坂行
大坂商 船會社
仁川 荷客取扱所

御旅館
朝鮮仁川各國居留地
神戶屋
第貳拾六號地

第館館來營業罷在該處各位ノ御庇蔭ヲ
蒙リ日ニ月ニ繁榮仕候段要緊御禮申
今般客室其他百事改良仕施シ御侍遇ハ
申スモ及バズ御料理等モ衛生上注意ニ
注意チ加ヘ就中浴場ノ如キハ一層意チ
注ギ又タ宿泊科ニ至ツテハ稍々低廉チ
旨トシ概テ左ノ三等ニ區分スト云ヘモ
尚ホ如何様トモ御相談仕候間何卒舊ニ
倍シ盛麗御投宿ノ程奉頌上候

上等	金壹圓
中等	金七拾錢
下等	金五拾錢
下宿	金五圓 金拾貳圓

但室內御熱竟ノ上御相談ニ應ス

郵館御泊科左ノ通り相定ノ儀々丁寧親切
 勤振仕ノ候間當舊御愛顧客頭候
 一上等 壹圓
 一中等 七錢
 一中等 五十錢
 下等 三十五錢
 下等 三十五錢
 京城泥鰌
 三十八号
 田原旅館

東京流行新形帽子新着

中山	鳥中	大梔	海軍	小學	メ	毛
高打	折黑	形軍	校軍	供校	リ	メル
帽	帽	帽	帽	帽	ヤ	マ
子	子	子	子	子	ス	タ

京都泥靱 龜屋商店

大日本岡山縣兒島郡秀天村

大日本岡山縣兒嶋郡秀天村
시방 泥岬大塚
塵房居

高田平次郎

一山新茶
御玉露製一斤金壹圓

御煎茶 一斤金拾六錢ヲ壹圓迄
御湯茶 極摘。廣葉。上別儀。
此三種御入用ノ節ハ御申越シ次第早速

茶店
河村至誠堂

薩摩煙草卸賣
(刻卷共)

弊店ノ草ハ從來御地各店ニ於テ賣割ニ付リ
 然レモ御地御座ルノ御引立ニ依リ一増シニ請昌
 仕テ種有御座ル上ニ彼邊立ニ依リ一増シニ請昌
 改員且ツ荷造等々ニ至極付噸ニ早速返上ニ供間
 多少ニ拘ハラズ永々至極付噸ニ注文奉還上ニ
 仁川港日本留御地海運張手通
 望章商渡邊出張店
川 烟 勇 吉

銘酒販賣廣告

一 菊正宗 一 春、陶

一金露 一 文明一

一 澤龜

其他醬油類各種

日ヲ増シ繁榮ニ赴キ候段難有泰深謝候就テニ
販地糶造元ノ特約シ御小賣共大廉價ニ以ツテ
販賣仕リ向ホ小賣ハ毎日店員ヲ差遣シ御用向
爲相伺候間五合以上ハ微貳ハ惠利等御便利ニ
爲ヒ持参可爲致候ニ付多少ニ不拘續々御注文
奉願上候

但御便宜ニ依リ各酒類ノ御手ニ差出可申候

京 城 福 洞

月 日

佐藤酒店

撮引々愈店弊
 於ニ目丁三通堀町京區西販大
 ヲ通候リ居ニ扱取年前
 業次買貨雜
 賣販托依并
 シト旨ヲ速迅實篤リ仕撥開
 付ニ候申可リ計相ヲ利便御ノ生貨御
 テニテ意厚御ノ立引御來舊
 候上願奉ニ偏段此度下被文注御願陸
 堀京大店商出并門南京
 通町販店商出并通大城

新刊發賣

朝鮮王國

●四六版大凡六百頁●定價五拾錢●郵輸入錢

●總論●地理部●白頭
 ○白頭○管系、白頭の西進系
 ●六六江●中原●面●附録●
 ●會部●常民、奴隷、部族、村落の部
 ●教●儒教●社會●
 ●情態●政治制度●
 ●領要●近世史●大元朝時代(上、下)●
 ●外戚●大元朝、十七年の變、天啓後約
 ●東方の藩屏、東方の二帝國、獨立恢復
 ●(上、下)●十月八日、二十八日事件
 ●十一日の變と日露協定、東亞に於ける
 朝鮮●以上●

發行所 東京市京橋區 日吉町御堂地 民友社

朝鮮物産依託販賣
并ニ諸雜貨買次業
右ハ麓興テ言トシ棉々御便利ニ販賣
可致候間多少ニ拘ハラズ御用向アラ
ソイチニマフ
大坂市西區北堀江通四丁目

露披御着到荷新

JAPANESE

五拾五寸下
五拾五寸上

銀錢六厘

五拾五寸下
五拾五寸上

銀錢八厘

[Faint vertical Chinese text, likely bleed-through from the reverse side]

漢城新報

明治二十八年三月六日 週信省切心可
建陽元年一月廿二日 農商工部省
陰曆丙申十一月十四日 金曜(乙巳)
大日本神武天皇即位紀元二千五百五十六年
大朝鮮開國紀元五百五十五年
西曆一千八百九十六年
大清光緒二十二年

日曜表
(陽曆) 六日 十三日 二十日
(陰曆) 初二日 初九日 十六日
(陰曆) 十三日

官報抄錄

●宮廷錄事 ○詔日命正二品銜奉直院二品
徐相祖爲中樞院一等議官 宣統元年十二月十三
日(十六日) ○詔日 仁慶忠義奉直院院學
徐致遠總辦奉直院院學 宣統元年十二月十三
以來 ▲詔日 劉氏章記祝文榮章文令前經建院
卿金永壽製進 ▲典醫司日大問 安 答日知照
王太后氣候一候王太子王太子妃氣度支過爾等
不必入侍美以上十二月十五日(十七日)
●叙任及辭令 ○任中樞院一等議官 正二
品銜奉直院(勅任二等) 從二品銜徐相祖 勅任四
等 ▲任中樞院三等議官 三品銜建院 全尹
奉直院(奉任三等) 以上十三日 ▲陞叙判任官五
等 議政府主事韓永福十二月十四日(以上十
六日) ○兼任高等裁判所
裁判長 法部大臣趙秉
式 ▲依願免本官 叙授參事洪重錫、懲察團
參事李鵬傑 ▲任叙授參事 朱禮、懲察團參事
成順錫 以上判任八等) 以上十二月十五日
(十七日)
●正誤 官報第五百七號(本月十五日) 叙
任及辭令欄內奉令九の六等은 五等은 報告
의誤라

雜報

●加運學徒 이번의 일어 학교의
학도를 가선할시, 권부하라고, 광
고를, 관보의, 실녀시니, 무릇선
비가, 천하형제를, 알고자할진디,
의국말을 비호지, 아니하면, 가차아
니할지라, 유지호, 선비가, 그가히
진심치, 아니하리요, 관보의, 전하
는거시, 호오하러, 나르자, 못할가,
영녀하의, 불행중고고, 이에 저문의
의록하니, 곳아리와, 여흥
外國語學校開校廣告
자금관람, 일어 학교에, 학원을, 가선
할라하나, 남학하기를, 원하든가
본원삼오일노, 사강하야, 명년일월
유일노, 본부의, 품고하고, 팔일
에, 본부로, 전하야, 남학시함을, 수
함이, 가함
건양원전장이일심스일

外國語學校學員試驗規則

일은
남학한자의, 연령은, 십년
세, 이상으로, 이십오세로, 하
일
남학사형은, 작자의, 여흥
국문의, 讀書의, 作文
한문의, 讀書의, 作文
일
남학시험의, 응코조, 하는자
는, 제일호, 서식을, 의하야,
票請狀을, 具문하고, 시험후에,
남학허가를, 득한자는, 제이
호, 서식을, 조하야, 保證狀을,
呈出함이, 가함
第一號式
票請狀
住址 姓名 年 齡
官立日語學校에 入學試驗을 應코져하야
茲에 票請狀을 具문하야 이다
建陽 年 月 日
姓名 年 齡
住址 姓名 年 齡
外國語學校校長姓名 座下
保證人 姓名 印
第二號書式
保證狀
住址 姓名 年 齡
茲에 貴校入學의 許可를 蒙하온지라 該
校에 貴校에 在하든間에 一切事項은 各
자가 擔當保證하오니 爲此하야 保證狀
을 具문하야 이다
建陽 年 月 日
姓名 年 齡
住址 姓名 年 齡
外國語學校校長姓名 座下
保證人 姓名 年 齡

○機關은 三重機關을 對峙케 推進함 (그제
일출) 안익, 寺로 補助機關이 在는 자리
그리하고 補助비히 있고, 급한일이
있어 발나가는데는, 일만오천오백
발馬力이 가고 機關은 네히 있어서 兩
에 있는 機關은, 장이 심철척옥촌아리
들에 뒤여 서서 兩을 래면, 兩씩척스,
방의 물이 溫하 다고, 또 병의 八尺
口之連射砲二座, 三尺六寸砲十二座, 十二寸
砲九座重十二座, 十四尺一寸連射砲六座
水雷艇放射管六個, 固定管一個, 回轉探四
로가는데, 한시간에 사백스십일리
쯤요, 네스를 가개약조를 하얏다라,
영국과 독국과 법으로 구구하거전에,
미국, 共同鐵工所로 구구하얏는 거시므로
該所에서 도, 극진히 힘을 드려서 성공
할라하라 더라, 또 구구라구 각국으로
나가 있는 일본히 군군인들이 가, 향
일에 영국에서 구구하얏는 거시 一等戰艦
를 두척과 野砲이 兩병선과, 독국
은 巡洋艦一隻과, 무겁기가 구구구천구
백근리고, 한시간에 스백팔십리를
가는 水雷艇五隻及水雷艇戰艦數隻을 구구하
게 약도가 되얏고, 독국과 영국에도
대대선척을 구구하얏다라
●日露戰後 地나갈달, 올에, 토
이거국, 평도에서, 떠나온, 군소란
정보, 나함에, 일은되, 월전세, 영국
에서, 영국에, 고하야, 일은되, 지금,
우리나라이, 열국으로, 더무려, 다
스신들, 파소하야, 군소란정보에,
주차하야, 이스미, 자금이후로, 도
국술, 이현, 방척과, 미스, 왕
로, 시사하기를, 구구하미, 도구왕
만일, 잘거지, 아니하면, 이왕, 위
필하야, 요협하고, 시사, 兩을, 군
스란정보에, 주차하, 뒤스에게로
부치게, 하자하니, 열국이, 허락하
미, 영국이, 또고하야, 일, 되, 병합
면세하고

이 회를
하야서,
웃어와
니 열국
거둔지아
필박하
지더라
음기여,
눈전에,
을 접수
접하하
다드며,
하계하야
●北村善色
북서술국
형을식,
이, 하취
기도하
리하야,
심언하
하야하
이라, 그
일제이,
병정수신
교번소
하야, 유
하기를,
●南村善色
유청도
집이, 현
그전도
러니, 지
면세하
면세하
면세하

아아, 그... 김선달이, 그정상을보고, 불상이, ...
 시본동 은지라, 곧살은섬과, 머역한단과
 저, 동은오십냥을, 주니, 니새부처와, 그우
 아아, 아가, 하심하야 다하니, 이김선달의
 아아, 이우사람더라 다, 송덕한더라 다라
 온저제, 김선달, 인현스난, 니디장교
 현씨, 선영이, 광유이난디, 임의참신
 아년, 지년지라, 근일에, 순하게,
 거흔, 김사문자가, 제의선조, 제인근
 모, 국되라, 일커르고, 성의야로하
 난일은, 전보에, 기록하얏거니와, 동
 김씨가, 그선형을, 위함이, 아니라,
 그송가를, 랍하야, 사료한, 거신족,
 법으로, 조처하니, 리글하고, 송스
 에정신고로, 수일전에, 그니씨산,
 철, 신역년된모를, 자글하고, 한성
 그, 수일, 재판소에, 자현하니, 법판나, 밋지아
 아아, 니하거날, 김씨가, 써하되, 밋지아
 아아, 니하다, 말하고, 소장을, 자여서, 정
 무슨, 상한다하더라
 리오, 佳入壽命, 종신증역에, 니규전의
 노, 을, 가본디번흔, 잡류로써, 이여부자첨
 을, 으더서, 힘입어, 산지가, 우금산년, 이
 의, 徐相, 러니작년, 에니부사, 참원으로, 썩경상
 현소의, 도순시, 흘씩에, 자총어, 스라하고, 법아
 의, 和, 닌길, 노형, 피하, 더니, 동되, 관찰, 스지씨
 의, 官, 에게, 포박, 하되, 여상, 경하야, 종신증
 의, 官, 역이, 되니, 그, 처첩이, 다미, 모하고, 나하
 의, 官, 바야, 으으로, 이십, 오륙, 세되, 앓난, 디미, 양
 의, 官, 과, 진, 날, 마다, 옥, 중에, 밤, 먹, 이고, 그, 의복, 을, 이
 의, 官, 도, 열, 바지, 하, 기를, 일년, 니, 갓, 차, 앓, 난, 지, 라, 의
 의, 官, 이, 丁, 이, 복, 과, 음식, 바, 피, 난, 별, 노, 이, 쓰, 난, 전, 냥, 을
 의, 官, 이, 丁, 이, 그, 첩이, 진, 물, 을, 팔, 아, 서, 수, 응, 하, 난, 디, 니
 의, 官, 이, 丁, 이, 규, 전, 이, 가, 그, 급, 지, 아, 니, 흐, 곳, 에, 남, 용, 하
 의, 官, 이, 丁, 이, 니, 그, 첩이, 그, 전, 정, 을, 심, 각, 하, 종, 옥, 지, 종
 의, 官, 이, 丁, 이, 신, 증, 역, 하, 난, 거, 슬, 바, 라, 고, 광, 을, 을, 헛, 도
 의, 官, 이, 丁, 이, 이, 보, 되, 리, 오, 하, 물, 더, 일, 통, 스, 물, 이, 하, 나
 의, 官, 이, 丁, 이, 에, 거, 도, 니, 가, 에, 집, 물, 건, 아, 아, 니, 요, 자, 판, 하, 자
 의, 官, 이, 丁, 이, 하, 야, 있, 사, 보, 나, 미, 양, 그, 출, 역, 하, 난, 날, 이, 면, 처
 의, 官, 이, 丁, 이, 처, 김, 첩이, 하, 거, 서, 니, 씨, 를, 보, 고, 그, 스, 세, 를
 의, 官, 이, 丁, 이, 하, 거, 니, 씨, 가, 밋, 반, 이, 걸, 하, 야, 갈, 아, 디, 그, 디
 의, 官, 이, 丁, 이, 하, 거, 나, 다, 녀, 자, 인, 고, 로, 시, 사, 를, 아, 자, 못, 하, 거
 의, 官, 이, 丁, 이, 하, 거, 스, 난, 니, 달, 비, 록, 옥, 중, 에, 있, 스, 나, 계, 상, 을

날, 마다, 미루어, 아, 니, 가, 이, 불, 원, 간
 하, 사, 가, 있, 서, 스, 노, 이, 기, 를, 으, 물, 줄, 아, 니
 하, 나, 말, 고, 조, 공, 기, 다, 라, 하, 고, 이, 달, 전, 달
 속, 이, 여, 지, 금, 거, 지, 일, 으, 러, 그, 첩이, 가, 우
 하, 방, 의, 하, 야, 공, 제, 하, 다, 가, 또, 상, 각, 하, 니
 반, 다, 시, 여, 망, 이, 읍, 실, 하, 고, 로, 그, 부, 근
 에, 인, 난, 고, 변, 소, 순, 감, 을, 요, 리, 하, 야, 다, 파
 들, 뒤, 접, 후, 에, 가, 연, 들, 언, 하, 니, 수, 감
 이, 그, 욕, 모, 미, 모, 를, 거, 설, 보, 고, 마, 음, 에, 기
 거, 우, 나, 순, 감, 에, 도, 라, 에, 웃, 지, 할, 수, 을, 난
 고, 로, 거, 설, 하, 니, 그, 제, 집, 이, 죽, 기, 로, 씨, 죽
 기, 를, 원, 하, 거, 날, 순, 감, 이, 하, 락, 하, 고, 수, 박
 금, 을, 주, 어, 서, 가, 사, 를, 도, 으, 니, 증, 역, 니, 씨
 가, 이, 말, 을, 들, 으, 고, 읍, 노, 록, 유, 인, 하, 야, 제, 집
 에, 가, 서, 그, 첩, 을, 처, 고, 어, 제, 사, 일, 에, 겸
 무, 스, 에, 게, 호, 소, 하, 되, 순, 감, 아, 모, 가, 제, 첩
 을, 등, 간, 하, 고, 제, 집, 지, 들, 을, 씨, 었, 다, 하, 니
 정, 부, 로, 그, 순, 감, 을, 불, 니, 서, 니, 씨, 외, 디, 질
 후, 후, 게, 허, 순, 감, 을, 파, 면, 하, 앓, 다, 라, 제, 작
 일, 에, 그, 제, 집, 이, 그, 순, 감, 이, 판, 면, 하, 고, 갓
 치, 었, 다, 난, 말, 을, 들, 으, 고, 경, 무, 관, 더, 러, 말, 하
 되, 첩이, 니, 가, 로, 더, 부, 러, 산, 지, 가, 삼, 년, 에
 저, 나, 지, 아, 니, 하, 야, 랑, 꺾, 가, 산, 하, 고, 지, 금
 걸, 식, 하, 나, 본, 디, 결, 발, 호, 부, 부, 가, 아, 니, 여
 던, 웃, 지, 종, 신, 증, 역, 을, 기, 다, 리, 고, 들, 을, 이
 오, 최, 편, 하, 난, 거, 사, 맞, 당, 하, 기, 의, 아, 모, 순
 검, 으, 로, 빈, 년, 을, 언, 하, 앓, 난, 디, 웃, 지, 증
 역, 니, 가, 외, 말, 을, 들, 으, 고, 이, 순, 감, 을, 가, 두
 연, 나, 하, 고, 원, 성, 이, 되, 단, 하, 더, 라, 다

이, 함, 되, 에, 부, 처, 이, 리, 포, 회, 할, 이,
 함, 되, 나, 간, 후, 삼, 각, 을, 다, 러, 또, 호,
 마, 이, 서, 으, 로, 떠, 나, 가, 다, 할, 두, 에,
 하, 화, 가, 썩, 찢, 난, 지, 다, 오, 주, 수, 식, 들, 을,
 함, 되, 뒤, 헤, 달, 고, 따, 르, 허, 면, 이, 모,
 망, 하, 야, 만, 리, 무, 제, 하, 고, 또, 호, 나, 복, 들, 번
 하, 야, 불, 분, 등, 서, 다, 마, 전, 상, 에, 성, 광
 이, 검, 스, 하, 야, 등, 광, 을, 읍, 기, 여, 또, 기
 다, 러, 또, 나, 가, 더, 니, 그, 큰, 날, 오, 전, 일
 점, 종, 에, 함, 되, 이, 하, 야, 수, 식, 하, 야, 모
 되, 니, 수, 식, 등, 그, 명, 저, 하, 호, 현, 이, 천
 하, 가, 다, 파, 연, 가, 이, 옛, 난, 줄, 노, 알
 나, 라, 법, 국, 수, 법, 이, 이, 을, 가, 명, 하, 야
 갈, 아, 디, 補翼火光이, 현, 유, 이, 극, 히, 적
 어, 도, 군, 한, 뒤, 에, 읍, 기, 있, 스, 면, 군, 한
 이, 다, 어, 들, 고, 등, 을, 비, 풀, 면, 전, 후, 좌
 우, 가, 다, 발, 근, 지, 라, 그, 런, 고, 로, 그, 비
 밀, 한, 거, 설, 스, 랍, 을, 뵈, 지, 아, 니, 하, 니
 스, 랍, 이, 다, 아, 지, 못, 하, 스, 또, 드, 르, 니,
 비, 록, 다, 른, 등, 은, 다, 저, 하, 고, 하, 야, 또,
 수, 식, 등, 인, 지, 어, 두, 온, 바, 네, 위, 현, 하, 파
 에, 입, 을, 인, 도, 하, 야, 하, 디, 가, 전, 물, 등
 난, 근, 심, 이, 읍, 더, 라, 이, 어, 등, 제, 도, 말,
 법, 국, 이, 비, 밀, 이, 하, 난, 그, 하, 장, 파
 등, 맞, 은, 스, 랍, 의, 케, 난, 흐, 스, 랍, 도, 아
 지, 못, 하, 고, 그, 수, 식, 등, 등, 곳, 지, 족, 문
 을, 잠, 부, 고, 그, 열, 쇠, 난, 그, 함, 장, 이, 가, 자
 고, 있, 다, 하, 더, 라

詞藻

初冬雜詩 米溪居士 山吉 盛義
 酒醒夢又醒。月白而登青。北窗傳意真爭新。
 何知主人畫餅情。十年經營似山。山成始覺
 老將生。現出禪王多凶藏。林伐柯就虛名。
 時凱時陳誠無物。只剩一瓢不平。不寐々々
 思又思。一聲兩聲雞報更。疾風凄似雨。
 破窓獨數點星。

社告

今回本社新設地方議院諸君 便利함을
 爲給 當路衙門 爲給 爲給 爲給 爲給
 하, 야, 더, 니, 農務工部衙門 에, 서, 이, 認可, 되, 스
 하, 야, 더, 니, 農務工部衙門 에, 서, 이, 認可, 되, 스
 하, 야, 더, 니, 農務工部衙門 에, 서, 이, 認可, 되, 스
 하, 야, 더, 니, 農務工部衙門 에, 서, 이, 認可, 되, 스

建廷ノ臺灣銀行との間に政府貸借ノ相談續
けたる由世間ノ噂するごとく之已に過日の抵
上に記せしが其後尙聞ク所に依れば右は全く
事實なりと云ふ之れより先き該銀行員ボコナ
コフ氏が會地滬在中政府と氏との間に貸借ノ
關する相談の端緒を開き双方より假契約書ヲ
取換へし同氏は上海に還へりたる上にて諾不
如何と確答すべしとの約を爲して該地に還へ
りしが此程愈々承諾の旨通報し來りし由にて
其金額は三百萬圓なりとも云ひ或は双方間に
難だ借のふ貸さふの確約成りしまでにて額の
幾何なるや未定なりとも云へり又た其金す
出の目的は政務擴張費に充つると云ふものも
あり或は日本に返却する積りなりと云ふもの
りて未だ眞偽何れに在るを知らず

朝鮮清國公使館書記官唐紹儀氏と駐韓總領事として來韓せしむる旨十數日朝鮮清國政府よりや邦政府に通知し來りし由あるが世人の知れる如く前年戰役後韓清間には未だ通商條約を締結し居らざる今日なれば該通知に對し邦政府よりハ清國政府に向つて何ぞの覆照する所ありしやと聞く

●劉泳煥氏等の一行　山梨再審の爲り出張中なる劉泳煥氏等の一行は今明日中に歸京する由

● 朴内節の入京期 数日前先墓移葬の爲め
龍仁へ赴きたる朴内節は今日中に歸京すべ
しと聞く

議改及内務、軍需兩大臣に更迭せらるゝとの
風説ある趣きは前號記する所の如し而して今
又た法部と農商工部とに大臣の更迭と見るに
至らんと報ずる者あり曰く新任法部大臣趙秉
式氏罷りられて農商工部大臣李允用氏法部に
轉じ趙秉式氏李氏の後を襲ぎて復た農商工部
大臣に任せられんとせし吾人之れが眞偽を知
かず

辨薩在舊氏は學部協辦に轉任せしむべしとの
議其筋に起り居り右は立消へを爲りしとも云
ひ又た近々實行せらるべしとも語る者あり
●李世植氏 元どの李逸植たる同氏は前號
に記したる如く愈々高平裁判所發事にて任じ奏
任官五等に叙せられ一級階、給せらるゝ云々
●洪李二氏に關す 獨立新聞の記事

名は通く在京城の外の人に知らる。即ち今世梅氏は數年前朴泳孝氏を暗殺せんとし且つ官書と偽造せり。一時時名高かりし彼の偽造詔勅

る者なり此の謀殺人と未遂謀殺人との任官に就ては國民は一種異常の感情を生ぜしむるをらん理と。

●李相明氏 先き領事情偵察とまで日本へ赴ひし歸來其筋の覺へ芽出たき李相明氏は刑事局長に任ぜらるゝことに決定し告る云々。

より高等裁判所に移送したる夜裁判所前直
の者は何等の通知もなく俄に該嫌疑者と移候
し來りしに付き頗る其突然するに驚き大に
庭に警告する一方ならず退避しヤツトの事
は嫌疑者受取の手續を了へ同所内監獄に囚禁
せり其數は拾二名にして外に本件の警告者と
云ふるゝ宮内府巡檢兼九、兇犯娘及び三某
の三名も加はり居りて都合十五名なりしと云
ふものあり

が項に記する如く不軌事件嫌疑者を高等裁判所に移すと共に同伴證物として刀劍四本、書類數通(世に云へ偽造詔勅か)を同所に送る。

不軌事件關係の極
反覆する者からす
疑うより符に捕はれんとして逃避潜伏する者
中に其筋の皮肉兼に載せられ或は金銭に
官位に眼眩らみて反覆し同志の秘密を漏
らす者からす云云

究問の方を改む 著者觀にては今后囚人
取調ふるに苛酷ある究問を用ひざることを
めづる由

日本の製鐵注文　我海軍擴張の爲に外國注文したる製造重鐵は或る一國に限られたにあらずして各其特長に隨ひ英美佛獨逸に分ちて注文したるものなる由今案

クロニクルの報ずる所に依れば米國への注
は二隻の巡洋艦を費府のクラムプ造船所
のユニオン鐵工廠に各一隻づゝ製造せしむ

答ふりしが右は愈く同兩會社と我政府との交渉續りて既に米國公使館附武官宮岡海大佐の代理にて契約調印を了したる答ふり

云委形は吉野鑑に多少の改良を加へたる者
して排水量五千七百噸長三百三十五尺幅五
一尺吃水廿尺速力廿一節一萬七千馬力武器

八寸速射砲四門 五寸速射砲八門 六寸度砲十門 一 寸度速射砲六門 がツトリノ砲四門に
製造費は三百廿五萬弗二箇年内に竣工と

の契約なる由又英國への注文は其れく公館附武官として交渉せしめ居るも目下既に済するものは一等戰艦二隻一等裝甲巡洋

吉野と同形)一隻とアームストロング会社にて製造せしめ又白五十順二十四節の水雷艇を向外に水雷捕獲艇數隻をヤマト造船所

注文する筈ありと又た佛國への注文は同國
ウーエのノルマン造船會社は豫ねてより日
本畫の注文と受負はんどて非常に熱心し日

戦争後は社員を派して我政府の意向を窺ふ
めたるを企図する所なりしも何んか交
渉する所なりしとや我政府は別記の如

戦國英はアームストロング會社製造せし
ることとなり然れどもノルマン會社も
五十噸二十四箇の水雷艇を引受くるこ

い、あるべしと云ふ。竊逸への注文は我伯林の
 使館の武官より、去月中旬より以て百五十噸二
 西の大雪經五隻即ち英佛の注文 たつと

像の者と某々の通婚所と契約する筈にて右
 十八ヶ月より二ヶ年以内にて竣工せしむる部
 分なり。

● 露見留學生 派遣の議其筋に起り居る由

は前號に記せしが其後尙閑く所に依れば閑泳と
煥氏の弟閑泳環氏として右留學生を率ひ露西
に赴かしむることに略ぼ内定し居るやの聲を

南洋ニニエーデトランド

たる上陸税(一人は付五十磅)軍課區域と擴め
獨り支那人のみならず他の亞細亞大陸及び其
近傍の諸船より來る人種にも賦課すべしとの
從

決議を爲したる由は疊々記載したるが右々未
た英國女皇の裁可を要する由にて我政府は之
に就て自下英國政府に照會中ありといふ

在馬尼刺日本人の避難 八日發長崎通信
に曰く日本人十五名馬尼刺の兵難を避けて香
港に入り去五日香港に發し神戸に向け出帆せ
以爲

米國大統領の教書 米國大統領マクドナルド氏は國會に教書を呈りて西班牙に強硬

する勸告を以て曰、西班牙は須らくキニヤ
島に自主獨立を許すべし然らば則ち露亂立也
これに止むを得んと又曰く米國は何時にても
諫者を尋ね

起て調停を試むべしとて暗に西班牙にして萬
力足らずして同島の秩序を回復する能はず
たば米國之終に起て干渉するの止むを得ざる
●臺

に至るべきことを示せり又同敎書と現行海關稅則對するに就ては單に之を辯護するは止め別に稅則上のことを説き詳論する所をかりきとして

米國公使 シル氏は本日京城會館に於いて
「英詩の祖立」に就て第二回の談話を爲さんと
至

松方正作氏は外務大臣秘書官に任命せらるゝやに聞きたるが現職のまゝ大臣官房秘書に勤務せらるゝこととなりとよし

宮内官吏任免 宮内府參書官李玄植、
從院侍從尹泰興、物品司長李容敏三氏は何
も頼に依りて本官シ免せられ、秘書院轉令
大 抱負の事

弘氏と學禮院卿を命せられ勅任官三等に叙
られ、三品尹素翼は宮内府參書官兼内事
長侍從院侍從典醫、副長に任じ奏任官五等
●慶

六品李玄植氏は、内府参書官兼外事課長
 醫司副長に任じ、参士官四等、六品李容敦
 は侍從院侍從に任じ、参士官五等に、法部檢
 査官に任じ、参士官五等、六品李容敦
 は侍從院侍從に任じ、参士官五等に、法部檢
 査官に任じ、参士官五等、六品李容敦

●馬場
李會九氏は物品司官に任せられ奏任官六等、四品李超莫氏は常司主事に任せられ判官四等と叙せられ

●効疏に入出づ

定規
從國
無約

數日前忠孝南公出居。而假若役朴々甚なる。

又十一
則〇三

今の變化は實に榮肉に非ざる也實に莖
 に非ざる也實に葉に非ざる也而して謂ふ
 君たらん臣たらん父たらん子たらん

るの道あり 陛下に直諫の士をして之と 月
諫めし因て利害の端と陳すると得せしめ 三
詳か 譯さざる 越 張の後より各 新

松方正徳氏は外務大臣秘書官に任命せ
るゝやに聞きたるが現職のまゝ大臣官房秘
課に勤務せることとなりまじし

宮内省吏に任免 宮内府参書官李玄植、
從院侍從尹泰興、物品司長李容敦三氏は何
も顧に依りて本官に免せられ、秘書院卿金
弘氏之奉禮院卿と命せられ勅任官三等に叙
られ、三品尹泰興は宮内府参書官兼内事
長侍從院侍從典醫、副長に任じ委任官五等
、六品李玄植氏は内府参書官兼外事課長
醫司副長に任じ委任官四等、六品李容敦
は侍從院侍從に任じ委任官五等、法部檢
事會九氏は物品司に任せられ委任官六等
、四品李超東氏は常司主事に任せられ判
官四等と叙せられ

會親
は敘
まは
抱負
の事
●大
結氷
船舶
●慶
あり
入港
ふす
●馬
於け

[illegible]

廣告



日本郵船株式會社 汽船仁川廣告

玄海丸 十二月廿二日出廿一日入
芝罘行 船長 茂木 綱之
七百八十四噸

仙臺丸 十二月廿九日出廿八日入
長崎、香港行 船長
一千六百四噸

兵庫丸 十二月 日出
釜山、馬關、神戶行 船長 ウチシター
八百八十一噸

長門丸 十二月 日出
長崎、釜山、元山、浦鹽行 船長 ウルイソン
一千四百四十九噸

伏木丸 十二月 日出
馬關、神戶行 船長
八百七十一噸

越後丸 十二月 日出
馬關、神戶行 船長
六百八十九噸

駿河丸 十二月 日出
釜山、馬關、神戶行 船長 井上猪三郎
六百八十九噸

肥後丸 十二月 日出
釜山、對馬、長崎、馬關、神戶行 船長 村井 保
八百七十一噸

日本郵船株式會社 仁川支店

大 瀛船仁川廣告

南越丸 十二月 日出
釜山、馬關、神戶、大坂行 船長
十二月 日入港 同 日出港

筑後川丸 十二月 日出
釜山、馬關、神戶、大坂行 船長
十二月 日入港 同 日出港

舞子丸 十二月 日出
釜山、馬關、神戶、大坂行 船長
十二月 日入港 同 日出港

仁川荷客取扱所

御旅神戶屋

御旅神戶屋

御旅神戶屋

御旅神戶屋

御旅神戶屋

御旅神戶屋

御旅神戶屋

御旅神戶屋

御旅神戶屋

舞子御宿泊科左ノ通り相定ノ船ノ一乗御切ニ
越後仕リ候間倍舊御愛顧願候

一上等 壹圓

一中等 七錢

一下等 五錢

外 三錢

下等 三錢

京城泥規 三十八

田原旅館

川畑勇吉

開業廣告

本千十二月一日

十一月三十日

宅合名會社

宅德平

宅常三郎

宅太藏

宅櫛貞

宅萬次郎

宅常三

宅德

宅太

宅櫛

宅萬

宅常

宅德

宅太

宅櫛

宅萬

薩摩煙草卸賣 刻捲共

一上等 壹圓

一中等 七錢

一下等 五錢

外 三錢

下等 三錢

京城泥規 三十八

田原旅館

川畑勇吉

開業廣告

本千十二月一日

十一月三十日

宅合名會社

宅德平

宅常三郎

宅太藏

宅櫛貞

宅萬次郎

宅常三

宅德

宅太

宅櫛

宅萬

宅常

宅德

宅太

宅櫛

宅萬

一上等 壹圓

一中等 七錢

一下等 五錢

外 三錢

下等 三錢

京城泥規 三十八

田原旅館

川畑勇吉

開業廣告

本千十二月一日

十一月三十日

宅合名會社

宅德平

宅常三郎

宅太藏

宅櫛貞

宅萬次郎

宅常三

宅德

宅太

宅櫛

宅萬

宅常

宅德

宅太

宅櫛

宅萬

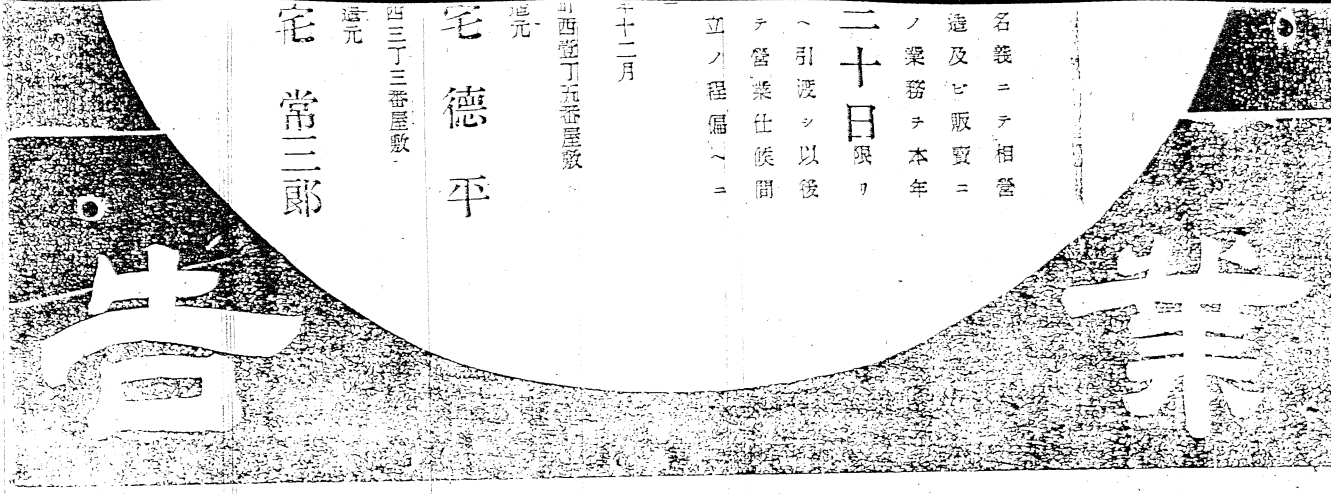
宅常

宅德

朝鮮物產依託販賣
并ニ諸雜貨買次業
右ハ販賣ヲ言トシ精々御便利ニ販賣
可致候間多少ニ拘ハラズ御用向アラ
ソナセ
大阪市西區北堀江通四丁目
加 庄野嘉久藏

朝鮮新報社
發行所
仁川港各國居留地第拾八號地
定價金貳拾貳錢郵稅貳錢
發中目次●總論●輸入貿易●輸出貿易●金銀
塊及貨幣●鐵道●金融●不關港地トノ貿易
●海關●通關及ビ交通●内地行商●居留民
●景況
明治二十八年
仁川港各國居留地第拾八號地
發行所 朝鮮新報社
定價金貳拾貳錢郵稅貳錢
發中目次●總論●輸入貿易●輸出貿易●金銀
塊及貨幣●鐵道●金融●不關港地トノ貿易
●海關●通關及ビ交通●内地行商●居留民
●景況
明治二十八年
仁川港各國居留地第拾八號地
發行所 朝鮮新報社

一山城新茶
 御玉製一斤金壹圓五拾錢ヨリ五割迄
 御煎茶一斤金拾六錢ヨリ壹圓迄
 御煎茶極細。廣葉。上級。此三種御入用ノ面ハ御申越シ次第早速
 挽上テ御注文ニ應ジ申候
 右所荷將仕候間大方諸彦倍舊ノ御受求テ冀フ
 茶店 河村至誠堂
 京城 泥規



報
 露師ノ戒告ニ依リ自今禁酒ス
 南大門通野支店
 十一月 原田虎一
 今般温故知新ノ目約テ以テ一昔會ヲ發起
 セリ在學十年以上ノ有志者ニハ入會ノ
 帝坐者ハ下名ヘ申込アル
 森野大。和田常一。山口大兵衛。藤井吉。

着 荷 銃 廣
 西洋新式銃
 二元連銃
 日本村田式銃
 銃 附
 和泉長履
 護漢履
 西洋服各種
 會商 帽子

●第拾會正風集
 題歲暮隨意
 豐秋園瑞穂宗匠樂撰
 天位漢城新報二ヶ月分
 地位全一ヶ月分人位貳
 組五聖堂組拾貳半組宛
 各次會無入花集句高ニ
 依リ増賞
 來十二月二十日迄
 漢城新報ニ
 漢城新報
 社理備設
 正風會
 投込所

JAPANESE COAL DEALER
 本日壹唐津石炭販賣所
 木村健夫支店
 溫純蕎麥玉 五拾五以下
 卸賣大勉強 五拾五以上
 壹錢八厘 君ウ蕎麥事
 壹錢六厘 岩源

新到着御披露
 東京カル、ス煎餅
 船來ビスケット
 瓶入洋菓子數種
 梨、桃、梅、杏、罐詰
 堅魚でんぶ
 小鳥大和煮
 鮮魚佃煮
 海苔大和煮
 外ニ
 松茸、椎茸、舞茸、
 竹の子、豆、
 きのこ、
 京坂泥規
 龜屋

宇治の新茶いろく
 仙波店
 小林菓子製造所
 發行所 漢城新報社
 新報定價
 一月 貳錢五厘
 三月 七錢
 六月 壹圓貳拾五錢
 一年 貳圓貳拾五錢
 五聖堂字武治字諸堂行壹圓金六
 錢且し行數及回數により引仕
 合は悉皆請込にて可申受候事

官報抄錄

報

● 變態心理學

● 藥宮水底

전, 신사
집외,
보갑, 삼
정, 함

고, 강무청에, 청소하야, 그부분을

포박후에, 다시 청축하야, 그부분

의난, 영위방송하고, 그제집은, 그

석가 천으로, 으다서, 근일에, 안한

한다, 하라

● 梁夫受 廣州(廣州)의, 소

니모가, 노히철성의, 모발이, 호박하

자인디그동리의술장스하느, 집과

조조상중지약이, 있더니그술장사,

기집의, 족하되느이, 상하분의,

너벧다가, 술이취하, 후의, 그니가,

늘근이를, 구타하고, 잡과, 잡을을,

파해야서그니응이, 구타를, 당한

후의, 누어이지못하느고로, 그니

의, 족하가, 지금경무청의, 되소하

다

● 夢遊歷代帝王宴 (十八)

도운이, 강자의, 읍하느, 그노리

글이, 하나라집의, 어저려음의

무리영웅의, 별치, 이러나느다

몸이선봉의, 직척이, 되며, 별이

보국의정성에, 있도다, 손권이, 강

성하고, 조죄, 화형하거날, 두도적

을, 멸하거못하느, 천주에, 제천한

로다, 근관을, 어로만저, 노리를, 지

으미로, 평성의, 향분을, 두하도다

니정, 양연의, 읍하느, 그노리에

일, 하, 할관노, 흥진을, 정하미

늘은일출의, 천주에, 드리도다, 금

일연성이, 빛나미로, 다시, 성주의

즐, 거음을, 기다리리도다, 장순무

과, 호연의, 읍하느, 그노리에

티, 유년을, 밝히고, 부의음, 부

소리, 당시에, 설치고, 일출이, 후

에, 드리우도다, 장술의, 눈물을, 부

려, 읍하느, 그노리에, 갈오의, 한

력, 외로운성의, 거들, 외워, 달무리

하, 었도다, 빛게, 구완, 하느근세, 업

고, 안에, 당해, 읍스니, 하가은의, 서

오, 그물속에, 고기도다, 나라운혜를

갑지못하고, 공연의, 절의외, 죽

도다, 호원이, 눈물을, 모음고, 읍하

니, 그노리에, 읍하, 노적의, 근

성, 필박하의, * 하의, 두라근

대, 주목에, 왕의, 소를, 그대

고, 전양의, 오하러, 삼파의물

잠겼도다, 물이, 죽어, 절을, 제

공성이, 비일을, 화연도다, 서달이

소리를, 가다듬어, 읍하느, 그노리

에, 읍하, 대장위, 제상에, 처하

미, 공명을, 제위도다, 공명을, 세

미, 수해, 말도다, 사해, 말미

천하, 티평하도다, 천하, 티평하

여, 니, 장창, 취하리도다, 니, 장

취하, 미, 서, 보년을, 맛초라로다

노리를, 파하미, 한화이, 공, 명

술을, 주, 읍하, 빛게, 읍하, 근

이얼마나, 되나노, 말술과, 성도

지, 다리를, 각별이, 스송하라, 서

별장, 니릉이, 홀노, 문밖에서, 팔

집고, 유체하, 산곡가온데, 비

고, 도로사이에, 방황하야, 홀

아지못하느지라, 무데, 읍하, 동

삭이, 그릇, 화정명을, 일고, 인간

덕하느고로, 선종도팔이, 있느

천일을, 하상, 파인을, 되하야

영웅, 상당지점을, 의논하느스니

재, 삭으로하야, 공, 군신은, 비

雜報

● 移小補記

李隊長 이하, 가든스 사람을, 고등지판소로, 이송. 앓다 난일은, 전보에, 등지향 앓거니와, 지금 드르니, 법관니, 니디장, 인에게, 으든바가, 月報口와, 書類通인디, 또한 아을나, 이송 앓난디, 이로써, 죄범은, 증거지물을, 삼는다, 하더라. ▲금번의옥, 이허날에, 형의를, 입어서, 장차잡히랴, 하다가, 겨우도 망하야, 각처에 가서, 숨어 있난자가, 적만 하난디, 그사람들을, 비루호, 스람더라, 있어서, 옥비실도, 탐하고, 혹저리도, 탐하고, 혹명니도, 탐하야, 왕하이, 초지을, 변하야, 件同志자에, 소식을, 관인에게, 밀고하자이, 만타하더라. ▲근처의 항중설을, 드르니, 니근용, 서정, 개씨 등이, 불케스건으로, 경무청, 최초에, 실상근저가, 있난디, 이제, 지판결을, 고변자에, 유진구 등, 제인니, 장차학용, 된다 하더라.

● 裁判開廷

불케스건, 니근용, 서정규, 심이인을, 음기여, 고등지판소에, 붙치고, 거심판일을, 하부터, 시작하야, 지판지정, 하다 난디, 형수국장에게, 李明翔씨요, 금스에, 李世顯씨, 인디, 두씨가, 전관심리, 하다 하더라.

● 法部官話

신인법 부디 신, 趙秉武

씨가, 장일에, 법무관리를, 다스분장하난디, 형수과장에, 皮相觀씨난, 법무관장으로, 이임하고, 법무과장, 겸임고등지판소, 예비판소 李泰奎씨난, 형수과장을, 이임하고, 형수국장, 李明翔씨난, 고등지판소, 예비판소를, 겸임한다 하더라.

● 上疏陳請

충청도, 공주스난,

박씨야모가, 일전에, 시폐상소를, 하얏난디, 스의족, 역피에, 金弘集총리디신, 지임시에, 李의관리, 임명하사름은, 다면관하고, 시별하자난, 李진디, 아즉, 비답을, 미스하야다 하더라.

● 軍旗祭典

본일에, 統制官, 일부, 슈비디, 의서, 군피수의, 괴령제례를, 행하난디, 몬저야, 대종장졸이, 절례를, 조차마련하고, 구진심년하야, 제반준비를, 다온전이, 하고, 大將, 李山長知氏가, 글일간소아서, 빈객을, 초모할새, 李의가, 심하간곡, 한지랴, 및본일에, 모든례가, 유루함이, 없고, 다예정바와, 갓흐며, 빈객이, 만당하고, 잔을들여, 상유하니, 또한일시에, 승한모듬이라, 담은, 본보의, 지족이, 홀이잇고, 괴록할바, 일아임의, 만하느, 다올나지, 못하고오직당일, 스줄에, 부르느바, 군가(軍歌)를, 괴록하고, 당일에, 統制官은, 차호의, 괴록할거시니, 보신는, 자는살피사옵, 그군가는, 죄의여흥

步兵第一聯隊軍旗歌

(이군가는日本군가에大要直譯하든거시라)

步兵第一聯隊군
大政復古후
그이듬히十二月
날은便兵變이종도록
莫敵하신 陛下에서
聯隊를을늘내샤
우리第一聯隊의
軍人들을진슈히
軍旗下를을진슈하
上下軍人誰某업시
爲民爲國盡心하야
大詔를나리시며
寇敵을맞나鼓勇하야
우리第一聯隊의
우리를戰軍旗는
國威를四方에비내느
히빈친敵소이라
地球上에廣求하도
이戰敵을軍旗를
男兒가되야나서
우리第一聯隊의
聯隊와다聯隊
軍人은집을나고
이왕明治十年에
高嶺村과田原坂
敵兵을모지러제
나라를廓清하고
우리第一聯隊의
其二
雪中行軍
雪中가行軍하제
하늘빛의데일되느
우리 陛下에 御覽로다
이름을맞는國華아니
다시업는軍旗로세
運命運轉을지여다
軍人으로되나
名譽있지니슬손가
顯揚을보면千萬兵
不顧其身아가니
出陣하던熊本縣
大葉植木싸움에
한이업시소멸하고
놈은功績나타난다
名譽있지니슬손가
俗語軍歌
어름을받고간다

雪中가行軍하제

雪中行軍

俗語軍歌

어름을받고간다

其
三

四百餘州은고나온
國難이이세나니
무엇시무셔올가
正義武斷한일할

多々良濱のrangin
傲慢禮を冠
자가자충의로
이제나과위하야

김교길은 坑黑바다
武夫의 용으로
護國鬼가 되령으로
神靈이 下鑑하듯

하늘이 노여하샤
나라흘심노하느
波底鬼가 다되고

어니뎃구름이벗겨

김종차모루겔네
벌쳐들슈전혀업네
그아니적노인가
담비한디며세
권업초가들만남네
반만이근석밥의
구차히사드동안
회토불을썩라간다
싱나무라지안디
오리밧게또잇난가
낙을삼고누엇는디
의투로이불삼아
눈이절노노가지네
어년덜다저졌네
한두히는삼이로다
얼골에빛취였다
출전한이너몸이
나함하고들어가서
죽지안코사라나도
은혜로줄저품숨이
목의점점감기였다
모살게마련일세

第一錄倉男兒

十萬餘騎敵이로다
弘治四年 여름이라
우리 饑食男兒 잇디
一喝하야 顯世하디
第二 多々 夏 漢

그아니蒙古勢나

함기戴天문호게네
단련호니팔이야
日本刀를試驗호세

第三筑架海

波瀾無事

원슈치고못도라오면

鳴沙記

大和魂이潔白하다

第四文

鼠浪이衝天하디

十、新式機器扣味ojj

나름놈이 세분이라

文藝學部

● 頤堂私記

의정파, 군부파, 신파, 군부파, 신파, 삼정신, 장충대의, 다난 중설은 전보에 기록한 것내와 지금도 드르니, 여항중설에 하되, 조병석씨가 법부파신을, 장충대의하고, 구디에, 농상파신, 니윤용씨가 하고, 농상공부파에 난, 찬정조병적씨가, 장충대임한다더라 ▲근일전설을, 드르니, 의정부, 의정파, 김병시씨가, 슈차등업하야, 정부회에, 동참하야, 의논이, 불합하고로, 일노싸, 또일간에, 진소하야, 스면한다하더라 ▲또중설을, 드르니, 군부파신면영환씨난, 장충대부파신으로, 이임하고, 군부파에, 협판면영과씨가, 임명하기로, 작정하얏다하니, 이런, 등중설은, 중선홍슈카, 읍사니, 듯난되로, 타일에, 기록하겔노라

●●●●●
●入●俄●風●聞●●
●●●●●
정부에서, 준슈훈, 자

제들, 슈심인을, 빠져 아라수예, 보
나, 슈학은 다 남말은, 임의드저
얏거니와, 다시 드르니, 정부에서,
크논하야, 군부트신, 민영환씨, 아

오영찬씨로, 의학도를 거나리고, 아
라스에, 드러가게, 하고자, 할다더

라

●召募兵丁
당방의 병정을 북돋

대를 備할 뜻으로, 서병정모집한다

는 말은, 임의 전호, 지상의, 금지호

얕거니와, 지는 간, 삼오일로, 붓러,

군과시의서, 시취모집한다는데

깃것완정미 못되얏다더라

1

社告

『同本社新報』地方購讀諸君에 便利함을

經路圖

一國國象谷道川者君之社殿買一朔一兩二錢

分斗屬選稅七錢五分은 네은 先給으로

五

新聞紙價表

新開紙一張
一兩二錢五分
一兩二錢五分
一兩二錢五分

三朔廣	先拾	三兩五錢
六朔間	先拾	六兩七錢七分

地方以讀者
每月銀錢
三錢式

이요 條數及回數로 示 處 서 各

슬을 밟고 此廣吉買선도 남으

...

報

一昨十八日正親王皇弟陛下

●刑事局長と民事局長
前所載記の如く六品李^明氏は愈々刑事局長(兼任官五等)に任ぜられ又た其部監禁とせらんとすの聲あり

●檢事の任命
法部檢事柳學根氏は高等裁

同等裁判所

延せらる。

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

新太平羊航將開始の大計畫
今回米國参

香港より布哇に至る。布哇より二に岐れて一は日本に至り一は豪洲に至るもの又米國のはサ
ンフランシスコ若くは桑港より布哇に至り其れより

られざるより今春米國議會太平洋海底電線

員法律家歴史家醫者等の重なるものと召ひ

契約後二年間に會社は日本政府より架設の

1

五十二

十年は 陛下邪術ヲ崇向 政ニ巫蠱妖女眞鍮
先不更

なまじ壁 粘するの枯蟻延び 渴きて退くこ
 とを知らず 蠶玉の典守、節已 戮れて過と知
 りず今の言書論思の類悉く是れ詩論に附會し、
 趣は過

之れ、悼む尤も痛哭、へきもの口去年八月

仁廟の朝正は反るの日春秋を論じ大臣承宗等

先づ亂變に就く此れ鬼國國諺を以て國々

1990-1991

(水則)
上下定議... 先づ嘉議を...

上下定議... 先づ嘉議を... 宗計... 因山をふして... 朝議を収めて... 以て先王の遺訓... 去て以て指圖... け、務めて... 臣を導き... 至らば則ち... 安の理を... 先づ更張... 取へて... 我のみ亦... 之を采納... せよ

兵丁の体格検査... 常務監察家は從來五大... 兵士及び警官等は折... 兵隊検査... 兵士及び警官等は折... 兵隊検査... 兵士及び警官等は折...

奇策を以て... 某と云へる... 氏の家に住... 女に謂て... 遠せん... 問ふ巫女... 日、娘の運... 然後以て... づれ、娘... 早晨門外... 先づ見る... 諸、婚を... 謹んで... 生に通ず... づ来る者... して曰く... と呼び我... と以て... 愛るる... 備れり... 如すれ... 現たり... 如、妾... 借老而... 是れ此... 業務の取...

是れ此... 業務の取... 借老而... 是れ此... 業務の取...

其の進歩... 是れ此... 業務の取...

第一條 前項の主旨... 第二條 取締役... 第三條 評議員... 第四條 常務... 第五條 罰則... 第六條 入質期限... 第七條 入質の利息... 第八條 火災... 第九條 質札... 元給戻戻の事

第一條 本規約... 第二條 入質期限... 第三條 入質の利息... 第四條 火災... 第五條 質札... 第六條 元給戻戻の事

第九條 正風會... 第十條 正風會... 第十一條 正風會...

第十一條 正風會... 第十二條 正風會...

上拾遺... 第九條 正風會... 第十條 正風會...

品名	数量	品名	数量	品名	数量
米	100	米	100	米	100
麦	50	麦	50	麦	50
豆	30	豆	30	豆	30
...



日本郵船會社 汽船仁川廣告

支那丸 十二月廿二日出 廿八日入

仙臺丸 十二月廿九日出 廿八日入

兵南丸 十二月廿二日出 廿八日入

長門丸 十二月廿二日出 廿八日入

伏太丸 十二月廿二日出 廿八日入

越後丸 十二月廿二日出 廿八日入

駿河丸 十二月廿二日出 廿八日入

肥後丸 十二月廿二日出 廿八日入

日本郵船會社 仁川支店

舞丁丸 十二月廿二日出 廿八日入

隆盛丸 十二月廿二日出 廿八日入

筑後丸 十二月廿二日出 廿八日入

仁川荷客取扱所

御旅神戶屋

上等 金壹圓

中等 金七拾錢

下等 金五拾錢

下宿 金五圓

朝鮮物產依託販賣

并ニ諸雜貨買次業

加 庄野嘉久藏

發行所 朝鮮新報社

廣 告

一等 壹圓 二等 七十錢 三等 五十錢 下等 三十五錢

薩摩煙草卸賣

開業廣告 本年十二月一日

宅合名會社

宅德平 宅常三郎 宅太藏 宅樞貞 宅萬次郎

仁川港商況年報

發行所 朝鮮新報社

業

九年十二月

町西丁五番四號

送元

宅德平

五國三十二條通牒

張道元

宅常三郎

生

報

送

● 附錄

THE

進

附註

十一月

原田虎

醫師、牧師、技師、農工、今日英國の

今般一放知新ノ目的ヲ以テ 昔ノ時程
ヒヲ在國十年以テ一ノ有惡者ニシテ、
希望者ハ下名ヘテ込アレ

●第拾壹會正風集

題歲日隨意

豐秋園瑞穗宗匠樂撰

來々十月廿八日迄
撰定ノ上ハ漢魏新報ニ
掲載詠草ニハ古き雅號
及ヒ通稱ノ明記ヲ乞フ

投込所
漢城新報
社裡備設
正風會

JAPANESE,
COAL,
DEALER,

大日本
壹等
唐
津石炭
販賣所
木村健夫支店

溫飽蕎麥土
卸賣大勉強

五拾五以下
五拾五以上

壹錢八厘
壹錢六厘

岩源

新荷到着御波

東京五月 カル、ス煎餅
舶來ビスケット
瓶入洋菓子數種
梨、桃、梅、杏、罐詰
堅魚てんぷ

●鮮魚佃煮
●海苔大和煮

竹の子
 豆
 辛子
 龍屋

東京流行
下駄、たび、糸針

宇治の新茶いろいろ

右新著大勳強致し升
南大門通稱院一向

酒樓茶館

仙波店

一 朝鮮館

小林菓子製造所

發行所 漢城新報社

新訂定價

一	月	後
六	三	個
月	月	月
壹	七	貳
圓	拾	圓
肆	五	元
角	伍	分
五	錢	五
文		

廣告

玉號石字式台字舖堂行堂回金大
鐵但し行盤及合帳に上り圖引仕
具金に憑留金以て可申受銀事

漢城新報

明治二十八年三月六日... 陰曆丙申十一月十八日

日曜表

陽曆 六日 十三日 二十日

陰曆 初二日 初九日 十六日

官報抄錄

●官廷錄事... 議政府贊成法部大臣趙秉式... 奏前俄川守俞鎮萬...

雜報

●雜生分色... 갑오이후에 임관한 조례가...

각분당하야, 의구례하야, 셔인은 서지방에, 거하고, 등인은, 동지방에...

황하하야, 웃지할줄, 물나서서승지와, 밋은종술, 두씨에게, 청하니...

●徵求人語... 근일에, 영남으로, 도라오난, 사람에, 말을, 드르니...

●爲無禮也... 복서지동, 오정근씨난, 고오판서, 준영씨, 아달인디...

리, 근처 교군, 더지고, 남걸섯, 니, 소드, 거날, 이, 가자, 아, 아모, 으로, 따, 갑을, 달, 아모곳, 거리가, 나무가, 자, 하거, 라서, 야, 이, 저, 이아히, 절, 이, 소를, 드라와, 야, 발노, 고, 음자, 를설고, 동너, 아, 보고, 불, 씨아모, 히를, 다, 리하니, 상하야, 능이말, 로, 과천, 양의에, 무청에, 집, 주인, 이, 본디, 라, 지금, 도적을, 小人用, 전인하, 무스물, 합의치, 이, 물...

雜報

雷旗祭記

군기제라 하는 것은, 군기의, 향수
 하는 제라, 일본병예, 師團과, 旅團과
 大隊과, 中隊와, 소대의, 分隊가
 있는디, 단, 장이, 유고의의, 장
 의, 유야사, 각차례로, 써서로,
 부치여서, 뒤신의게, 절제를, 바
 드리, 맞치, 무의, 뿌리와, 지엄강하
 서, 露의 각자, 군기가, 있스니, 연
 기인즉,
 천황의, 천하 주신, 바이라, 그런고
 로, 연기의, 고일군의, 성명이라,
 현한즉, 비록, 군이, 주더리도, 오히
 러, 연기가, 인는것갓고, 亡之則 비록
 일군의 하느니, 일치아니, 하야도,
 오히려 연기가, 존한과, 간호니, 장
 스된자, 가, 의가 맞대에, 스스로,
 못질니, 죽, 거서라, 그런고로, 연
 기과란자, 일군의 성스하느니, 명이
 미어였스니, 모단군과 중의, 가중중
 한거시라, 무릇, 그런고로, 연기의
 서, 연기의, 조속하기를, 가장습가
 서, 병영안의서, 별노아, 한집을지
 어서, 써연기의, 감추는, 곳설면드
 니, 그 감추는, 장엄하기를, 신준
 하여서, 비록, 한집이라도, 그압
 할, 지는즉, 다시, 말의, 내려서, 레
 하고, 少數를, 침중하고, 담략이
 있는자, 한사, 으로, 써기슈를, 습
 요, 평시인즉, 기슈가, 한소대를, 거
 니리고, 그, 감추집을, 호위하고,
 진의, 임한즉, 기슈가, 기를잡고, 한
 소대가, 그전후, 좌우를, 응호하야,
 써조고, 들의, 도와와, 기슈가, 그소
 솔호, 스졸노더부러, 서로지지, 아니
 하고, 호위하며, 군스가, 一간죽, 기
 가몬저, 가, 군스가, 되호죽, 기가
 후의, 되하야서, 일군의, 스펙을, 그리
 밋칠, 보드고도, 연기의, 또일군의
 의, 영육이, 이었고, 기슈가, 가장
 영화로온, 비살이, 되느니라, 무릇연
 기의서, 허마다, 반다시, 연기의, 밋
 면날노써, 연기의, 제스하느니, 써이
 지, 아니함은, 기슈함의요, 그기를,

천자의게, 밋여서, 一라, 집의, 露하
 미, 의가
 군기를, 위하야, 죽을거시오, 구차하
 게, 스스로, 살게아니라, 그런고로,
 군중의, 제스는, 군기제여서, 중, 할이
 읍느니라
 제일연에서, 갑술년십이월, 십구
 일에, 연기의, 바드고로, 뒤향하
 다, 이날노써, 치제하느니, 주경하,
 일본병예는, 실상, 제일연의, 제일의대
 가, 되고, 이제, 십이월, 십구일을
 당하엿시미, 뒤대장, 신손양지씨
 가, 뒤의, 번직을, 그대모두여서, 써
 치제, 하엿시니, 이제, 그, 조제함을,
 화의, 기록, 하노라
 이날은, 하날의, 청명하야, 구름이
 읍고, 추위가, 또한다른날, 보답하
 독, 하기가, 들하미, 스방을, 돌아보
 니, 일군의, 습각손과, 목며스, 모
 든손이, 손골을, 반죽, 드러느미, 병
 후서시갓치, 무력하게, 露를, 의지
 하야, 잠간셋따가, 오후십점중의,
 뒤대장, 신산양지씨가, 수비, 장졸
 을, 거느리고, 왜장려우회, 읍느가
 서, 露으로, 향하야, 중형진을, 짓고,
 하령하야, 그아, 연기의, 도성
 의, 있스미, 뒤가, 이제, 너로더부러,
 멀리, 레하노니, 스관이, 하느, 피금을,
 들여서, 露하고, 하스관, 이하느, 중
 을, 들어, 레하야서, 다령과, 갓치하
 라, 하고, 이에, 진법을, 하고, 본을, 레
 식을, 하하야, 맞천후의, 뒤의, 내려서
 회영하얏고, 오시의, 번직이, 다모
 두엿시미, 모둔, 일본, 공사, 가
 등새와, 일관무관신남, 허군, 뒤, 좌우
 좌천씨의, 육군, 중좌와, 천존, 공병, 중
 좌와야, 진군, 군, 뒤, 위씨와, 일관, 서, 기
 일치씨와, 추월, 서, 와, 주차, 인, 천하, 영, 스
 석정씨와, 하, 일본, 관면, 이, 백인, 이, 무려
 하고, 조선, 번, 인, 주, 군, 부, 신, 민, 영, 한, 씨
 와, 협관, 민, 영, 기, 씨와, 부, 장, 안, 영, 슈, 씨와
 하, 군, 부, 스, 관, 아, 오, 십, 여, 인, 이, 무려, 하
 아, 라, 사, 군, 번, 인, 주, 「수도, 배, 루, 밋기
 뒤, 좌, 씨와, 「부, 좌, 다, 뒤, 좌, 씨」이, 하, 군
 인, 이, 요, 그, 남, 여, 지, 일본, 과, 조선, 번, 스, 민

인의, 구경하느니, 자, 노를, 가, 승, 슈, 요, 한, 영
 문, 안의, 사, 물, 의, 그림, 자, 가, 또, 威, 臣, 하, 야
 승, 곧, 제, 을, 밋, 이, 읍, 고, 당, 오, 부터, 오, 후, 이
 점, 중, 거, 지, 일, 이, 러, 난, 저, 동, 종, 종, 으로, 씨
 화, 회, 하, 는, 곳, 설, 하, 고, 병, 영, 의, 좌, 우, 두, 문
 을, 열, 어, 노, 앓, 스, 민, 읍, 은, 편, 문, 인, 주, 씨, 번
 기, 읍, 출, 남, 하, 게, 하, 고, 원, 편, 문, 은, 씨, 구, 경
 군, 의, 출, 남, 하, 는, 곳, 설, 하, 고, 다, 關, 人, 으로
 하, 야, 금, 직, 하, 여, 서, 누, 가, 출, 하, 고, 남, 하, 는
 거, 설, 습, 고, 하, 야, 서, 문, 표, 가, 있, 스, 면, 으, 더
 들, 어, 가, 갓, 고, 문, 표, 가, 읍, 스, 면, 못, 들, 어, 가
 게, 하, 야, 서, 씨, 는, 잡, 한, 것, 을, 막, 고, 우, 편, 문
 으로, 씨, 거, 들, 어, 가, 다, 가, 한, 조, 고, 마, 한, 집
 이, 인, 는, 뒤, 禮, 儀, 을, 배, 푸, 려, 시, 니, 이, 는, 禮, 公
 誤, 犯, 狀, 이, 니, 공, 의, 성, 은, 備, 이, 오, 명, 은, 正, 威
 이, 니, 예, 전, 일, 본
 皇, 室, 中, 藏, 寶, 物, 南, 宮, 이, 흥, 사, 禮, 王, 將, 士, 도
 적, 이, 심, 히, 승, 상, 되, 듯, 설, 일, 우, 지, 못, 하, 더
 니, 밋, 장, 창, 도, 적, 으, 로, 더, 부, 러, 죽, 기, 를, 걸
 단, 할, 서, 그, 아, 들, 正, 行, 을, 불, 너, 서, 느, 라, 닐
 도, 씨, 부, 락, 하, 야, 일, 너, 서, 집, 으, 로, 도, 라, 보
 니, 고, 도, 디, 여, 적, 국, 의, 다, 다, 죽, 엿, 더, 니
 그, 아, 들, 禮, 儀, 이, 유, 훈, 을, 밋, 들, 고, 또, 禮, 節, 勸
 포, 할, 서, 또, 이, 지, 못, 하, 고, 죽, 엿, 고, 그, 죽
 인, 이, 다, 죽, 엿, 시, 니, 그, 충, 성, 이, 일, 본, 의, 제
 일, 이, 요, 또, 읍, 은, 편, 무, 알, 에, 擬, 作, 樣, 하, 고
 尙, 書, 擬, 作, 樣, 하, 고, 尙, 書, 頭, 領, 諸, 將, 하, 엿, 스, 니
 다, 지, 조선, 임, 시, 전, 신, 부, 에, 서, 지, 은, 거, 시
 니, 일본, 음, 의, 禮, 節, 은, 朝, 宗, 의, 갓, 고, 禮, 節, 은
 詳, 字, 로, 갓, 고, 禮, 節, 두, 주, 는, 禮, 節, 두, 주, 로, 더
 부, 러, 들, 이, 서, 로, 갓, 트, 니, 그, 음, 상, 근, 하, 거
 스, 로, 轉, 用, 하, 야, 서, 說, 議, 하, 는, 거, 시, 요, 그
 압, 회, 일, 본, 의, 禮, 節, 을, 하, 여, 노, 크, 그, 들
 우, 한, 당, 의, 禮, 節, 을, 하, 소, 를, 하, 여, 노, 크, 그, 禮
 間, 의, 和, 氣, 二, 道, 을, 通, 하, 야, 시, 니, 宇, 宙, 統, 凡, 而
 作, 之, 하, 야, 고, 禮, 節, 禮, 節, 上, 小, 坂, 의, 禮, 節, 은, 무, 가
 잇, 고, 그, 무, 아, 리, 병, 정, 이, 禮, 節, 하, 야, 지
 는, 모, 양, 을, 하, 엿, 시, 니, 다, 지, 제, 일, 연, 기, 가
 일, 적, 요, 또, 들, 의, 서, 씨, 禮, 節, 하, 고, 그, 禮, 節, 하, 고
 씨, 의, 기, 로, 우, 문, 이, 형, 상, 을, 보, 면, 가, 하, 알
 니, 라, 그, 뒤, 으, 로, 조, 고, 마, 한, 문, 이, 잇, 더, 더
 그, 문, 을, 들, 어, 간, 죽, 너, 른, 마, 당, 이, 잇, 더, 더
 그, 마, 당, 가, 온, 의, 거, 금, 하, 는, 것, 과, 밋, 씨, 하
 과, 설, 하, 며, 지, 조선, 번, 모, 양, 을, 배, 푸, 러
 서, 씨, 모, 단, 손, 님, 의, 구, 경, 하, 을, 도, 으, 더, 그
 뒤, 으, 로, 더, 포, 를, 이, 좌, 편, 문, 이, 그, 우, 회, 회
 이, 또, 하

한영 지비 사람이 군포 을착하고 장창을잡
후야 고섯시며그것해 서승 과전과 헛총과
후이 燃爆竹 소리로랑노 게되얏고또그우회
로써 서그아려너른마 당으로승편을소덕
두운 이비오던것과 단져뿌리니관동간
써빈 그셔준노모양이 분주하얏고또그
구경 근문으로노와셔조고한언덕으로노
으로 려와셔우편으로셔거셔좌편으로
하는 도라오즈면또하형상이잇스니이
은더 승병경이원의겨을오조 교우의셔치
어가 라는노모양을한 앓는디변경이용망

편운 으로써늘니이노 지라의경으로더부
한집 러승편을맞창니결단 치못하고팔을
더지고셔로더부러평성등과원을말
正成 할셔변경이 의의셔시불소함을보
고드의셔섬겨셔신하 된거슬하고그
셔도 리로도라오다가셔늘은늘이잇스리
을더 슬가온디演劇을 푸릿고그늘노노
를걸 가즈면독문이이 스리초화를거두어
라닐 모아셔지엿고그우의군과제삼자를
라보 거렸고그문의들어 가자면군과호위
더니 한형상이잇고또한형상을의작하
을歸勅 앓시니이노준상의광이다시

그죽 錦旗를거두노모양을하얏시 리의광
의제 이남공으로더부러한셔의또한勤王
하고 할지라이의皇子를親王하고남도에
스니 이셔셔거병勤王의의광이쫓쳐더
거시 니도적으로더부러싸움을다가크게
우노 피하야천왕이

로더 금기를도적의 세셋간바이되얏노자
은거 라의광이크게노하야단신으로적군
고그 중의달녀들어가셔중회분투하야셔
다시

그들 금기를어엿시니
코코 금기를어엿시니
公前 金기를어엿시니
우가 金기를어엿시니
야가 金기를어엿시니
하가 金기를어엿시니
하알 모가그잇난바셔을버여셔라인에게
하알 방미하고자하야인현감리셔에가표
하알 제를청하니감리니지정셔가셔하되
하알 아가튼절레가우시니감리자단치못
하알 하벳다하야셔의우에고하야지취를
하알 기다리니니의부원용셔가셔하되일
하알 이또하중디하다하야이에간공공스

에배동첩하야회의가기를청하노고
로각국공공스덜이작일오후승사에미
국공관에모이여일일의논하미그의
논이웃지귀정하얏난지다시상람하
야귀록하겟노라
●俄公使進見
저작일,심구일의,아라스,공스위
피셔가,고등지판소의,츠저와셔,도
티신,으로,다부러,일시한담하고,
도라가다노디, 무순싸닥으로,그리
하얏노지,아지못하겟노라
●案陰難抄
십팔일,옥스적정지설은, 임의본보
에,기록하얏거니와,지금조법부,병
식셔와,니판스,명상셔와,니검스,
세직셔,제셔더리, 할가지로, 고등
지판소에,모여,다만지판할,스건만
상의하난디, 가둔스람인즉, 인치
하야,심문하기를,웃지못하얏스니,
십구일은노부터, 시작하야, 심리한다
더라△자십구일, 지정이후로, 침식
지절을,다고등지판소로, 공제하난
디,선고전에난,임의로, 스가에,출
입지,못하계한다, 하더라△과셔과
동연셔난,장창고되, 하다하더라△
권판스,지형셔와,니검스시보, 회선
셔, 두셔난, 금번지판결과후에, 장
창면판,하다하니,이상삼조난,듯난
되로,기록하거니와그진가난, 자셔
이,아지못하노라△어제이십팔일,
고변자에,유진구유과환등, 삼인을
지판하고,이십구에, 한선회와,니
근용등,스인을,지판하얏난디,아주
공스난,웃지하얏난지, 아죽모로거
니와,어제요일에, 미진한 판리더리
이셔, 셔디신에, 명으로, 초치하
야,반다시,아모에, 지판어, 이셔나
그러나,아죽미상하니맛당이,듯난
되로,기록하리라
●案以微權
저간, 심칠일에,명
부지하노, 민판판과, 미니복파라,
하노,두명을,포박하야,공무청으로
가다하노, 엿지하, 스고한지,모로
가더라
●召我訟
창의,문밖과스는,김모
란자이,본디한거로,지니디니,그이

웃의,스는, 과부하노이, 나하스
심은,되노디, 미양설은,하고즈하되
마음되로,못되야, 하디니, 저작일,
밤의사람,심여명을,소취하야그기
집을,양달하야,집으로, 도라가셔,
취창하라, 할지음의, 그거집의,오
라비가,그집을, 차저와셔, 그우의
를,설고갈셔이의, 흑무산날이,잇
슬셔, 두려워셔, 크게소리하야,도
적이야,부르니,순검이,등고가본죽
도적야,아니오,이에파녀, 양달하
노,닐안고로,아을노, 다부셔로,압
상하얏,다더라
●山郡海郡
황히도,瑞興군은,본디
이,山郡인고로,갑오, 을미, 양년조
세를,마결의, 심오양식, 슈납하얏
더이히주관찰스, 민영철셔, 의임한
후의,서흥군으로, 훈령하야,瑞興
현을심양, 절배를,의지하야, 마결의
당양식, 더거두으니, 합이스만여
냥을, 다시더, 정봉하니, 회군민
인덜이, 관찰스의게, 호소, 하디,
관찰스가, 지교하노의, 전양년
조세는, 임의징납한조이라, 엿지
가히, 환급하리오, 이거신즉, 처지
을노하고, 금년부터는, 이십오냥
으로써징납합이가하다, 하고,로,
회군민인등이, 바야흐로, 탁지부의
너소하다더라

●案陰難抄
십팔일,옥스적정지설은, 임의본보
에,기록하얏거니와,지금조법부,병
식셔와,니판스,명상셔와,니검스,
세직셔,제셔더리, 할가지로, 고등
지판소에,모여,다만지판할,스건만
상의하난디, 가둔스람인즉, 인치
하야,심문하기를,웃지못하얏스니,
십구일은노부터, 시작하야, 심리한다
더라△자십구일, 지정이후로, 침식
지절을,다고등지판소로, 공제하난
디,선고전에난,임의로, 스가에,출
입지,못하계한다, 하더라△과셔과
동연셔난,장창고되, 하다하더라△
권판스,지형셔와,니검스시보, 회선
셔, 두셔난, 금번지판결과후에, 장
창면판,하다하니,이상삼조난,듯난
되로,기록하거니와그진가난, 자셔
이,아지못하노라△어제이십팔일,
고변자에,유진구유과환등, 삼인을
지판하고,이십구에, 한선회와,니
근용등,스인을,지판하얏난디,아주
공스난,웃지하얏난지, 아죽모로거
니와,어제요일에, 미진한 판리더리
이셔, 셔디신에, 명으로, 초치하
야,반다시,아모에, 지판어, 이셔나
그러나,아죽미상하니맛당이,듯난
되로,기록하리라
●案以微權
저간, 심칠일에,명
부지하노, 민판판과, 미니복파라,
하노,두명을,포박하야,공무청으로
가다하노, 엿지하, 스고한지,모로
가더라
●召我訟
창의,문밖과스는,김모
란자이,본디한거로,지니디니,그이

●案以微權
저간, 심칠일에,명
부지하노, 민판판과, 미니복파라,
하노,두명을,포박하야,공무청으로
가다하노, 엿지하, 스고한지,모로
가더라
●召我訟
창의,문밖과스는,김모
란자이,본디한거로,지니디니,그이

社告

今日本社新設地方諸君에 便利함을
爲論하야當路衙門으로 郵遞送達을請
하얏디니 農商工部衙門에서 認可되스
리 郵遞線路에 諸君은 社報價 一期 一兩二錢
五分과 郵遞稅七錢五分을 에은 先給으로
보디시면 日에 보디옵

新聞紙價表

- 新聞紙一張價 一錢三分
- 一期價 一兩二錢五分
- 二期價 先給 三兩五錢
- 三期價 先給 六兩七錢五分
- 地方諸君者 每月郵遞稅七錢五分

廣告 本會를 爲 便 내는 日 三張
의 必要數及回數로 爲 差 差
슬 發하고 此 實價 實價 爲 示

しは薄暮
又せり門
軍旗雙重
祭と書し
戲作あり
入れば右
り意想皆
依り之を
作り兒婦
又門を入
装ひ亦頗
に茶小屋
に掛く茶小
（妾人）をし
らしし演
音原傳授
手習燈及び假名子本忠臣蔵の三幕、健盛、淨
瑠璃譚、三味線、舞方、舞臺方何れも皆奇兵
士にて藝智を巧く極め妙を極め一點の非難も
べきなし殊に帶のトキ姫、旅順口を奪ふた
の阿カル、最も八を去て一種の興味を覺へし
め見物の人々始に拍手喝采するのみ演劇の幕
切りにには又壯士隊りを演ず二十餘名の兵士單
様の服裝となし一布を頭に纏ひ各々小短槍若
しくは櫻花を手へし壯士歌を唱へて一齊に舞
蹈し續ひて劍舞の景光殊に壯絶快絶ありき
又舞臺及び機殿には工夫の扮装とせざる兵士
絶へず付き居り、燈火等の始末となす幕切
には疑茶屋女出へ、茶菓を觀覽者に進むる等
注意周密至らざる所なし餘興全く畢り風寒く
燈徹りて觀覽者多く散せしは午后十二時とろ
かりき
當日宴席に於て兵士の唱へし軍歌は左の如し

温威ありし年月は
 六年に當り五月あり
 十有九日の辰の時
 蜀軍人を可せ集へ
 旭彈く聯ひ旅
 大鈎手つかし賜はりし
 譽れをいづで忘るべし

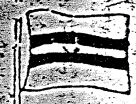
日比谷の二に寄せ集へ
我が 大にはかしくも
心を合せしと筋又
安く静けし守れよと
授け賜ひし 大御旗
身もたをばらち向ふべし
譽れはらにぞ忘るべし

御影うつして　皇國の
我　大君の　御旗なり
名に蓬ふ國の章にて
二ツとどなき　御旗あり
命ちと換へて守るべき
御軍人に誡ばれし
春れといひて忘るべき

靡かす。是れは千萬の
身を顧みず進むなり。
軍立ちせし熊本、
木の葉種木の戦に
仇を發らす筑紫國
高き功績を顯はせし
譽れと。いかに忘るべき

されが河やら路なへ知
此處は阿處ぞ皆ふ敵の
額ふ少々や蘆草か二本
あまじへのゐる其代内
けむい草だよ生木がい
すいとふのは梅干一
背囊死に外囊かふりや

月はつたかく顔のなき
死ぬるに悟で咄賊すれ
義理にあらめた恤兵々
きんせ生かして還さの



日本郵船株式會社 汽船仁川出廣告

●玄海丸 十二月廿二日出 廿一日入
●仙臺丸 十二月廿九日出 廿八日入
●兵庫丸 十二月廿四日出 廿三日入
●長門丸 十二月廿四日出 廿三日入
●伏木丸 十二月廿四日出 廿三日入
●越後丸 十二月廿四日出 廿三日入
●駿河丸 十二月廿四日出 廿三日入
●肥後丸 十二月廿四日出 廿三日入

日本郵船株式會社 仁川支店

●隆盛丸 十二月廿四日出 廿三日入
●舞子丸 十二月廿四日出 廿三日入
●筑後丸 十二月廿四日出 廿三日入

大坂商船會社 仁川荷客取扱所

朝鮮仁川各國居留地

●上等 金壹圓
●中等 金七拾錢
●下等 金五拾錢
●下宿 金五圓

●一等 壹圓
●二等 七拾錢
●三等 五十錢
●下等 三十五錢
●田原旅館

朝鮮物產依託販賣
并ニ諸雜貨買次業
加 庄野嘉久藏

朝鮮新報社
發行所 朝鮮新報社
新刊發賣

朝鮮王國
總論 地理部
會部 社會部
歷史部

民友社
發行所 民友社
新茶

河村至誠堂
新茶

溫純蕎麥玉
卸賣大勉強
壹錢

西洋新式銃
日本村田式銃
附屬

大壹唐津石
本等

第拾壹會正風集
題歲旦隨意

豐秋園瑞穗宗匠
投込所

薩摩煙草卸賣
川畑勇吉

新到荷蘭
船來ビスケット
梨、桃、梅、杏、罐詰

小鳥大和煮

露披御着到荷新

壹錢八厘
壹錢六厘
君の醫事
岩源

獵
銃銃銃銃
附
和泉商會
護漢履
長履
西洋服各種
帽子

津石炭販賣所
京城泥泥
木門健夫支店

止風集
隨意
天位漢城新報二ヶ月分
地位全一ヶ月分八位
組五聖堂組拾五聖堂組宛
各次會無入此集何高ニ
依リ増資

達所
漢城新報
社理僑設
正風會

東京下駄たび糸針
宇治の初茶いり
右新着大ニ強致し升
南大門通稱院の向
仙波店

朝鮮鮎
小杯菓子製造所

煎餅
鮮魚佃煮
海苔大和煮
外ニ
松の茸
竹の子
福神漬
柴の子
京都泥泥
龜屋

御披露
茶碗むし
小田卷むし
歌哉句そば
稻荷うそん
うそんそば
善哉
御調子
此外御着いるく
右之先達より開業仕升たし説て之稱一杯
勉強致し升りし風味はナカリに
御客様の御譽に預る程には出來かね
升るがホンの熱ひが取得にきて御
風呂の返へり道に一寸一盃あかの
内よりも御暖りあれと蕎麥湯の熱釜
まづも希ふものは
南山湯の戻り道
君が蕎麥

東京流行新行
中山高帽子
中山打帽子
鳥折帽子
中黒帽子
大軍帽子
海軍帽子
學供帽子
小メリヤス
着新子帽形新行流京東
毛メリヤス
サルマタ
店商屋龜
岷泥城京

銘酒販賣廣告

一菊正宗 一春駒

一金露 一文明

一澤龜

其他醬油類各種

右ハ是マテ營業處在候處各位ノ御愛顧ヲ蒙リ
日ヲ増シ繁榮ニ赴キ候段難有奉謝候就テニ
販地頭並元ト特約シ細小賣共大廉價ヲ以ツテ
販賣仕リ尚ホ小賣ハ毎日店員ヲ差遣シ御用向
爲相問候間五合以上ノ樽或ハ惠利等御便利ニ
應ヒ持參可爲致候ニ付多少ニ不拘讀々御注文
奉願上候
但御便宜ニ依リ各酒類ノ切手モ差出可申候
京 城 泥 洞
佐藤酒店

廣告
一日本紡績木綿
一朝鮮人士腰帶
右品ニ朝鮮各諸君ニ從便を許すヤ
泥洞四拾貳號地大塚前坊の代價入るヤ
仁恩堂品を各諸君ニ從便を許すヤ
ニ四方諸君多寡を拘りヤナシヤサシ
를선만바라옵
大日本關山縣兒嶋郡秀天村
시방 泥觀大塚
慶房居
高田平次郎

原田虎一
十二月

雜貨買賣
業次買貨雜
賣販托依并
開業主貨御
仕業主貨御
實價相計
速相計
目三丁通
於丁三丁通
揚引々愈店弊
業次買貨雜
賣販托依并

祝新禧和歌集
松影映水
右來る三十年初刊の本紙に掲げ以つて漢平の
聖代と號腹せんとす諸君大方の同好雅伯儀々
御誦詠あらはせ

謳豐會
新開定價
一週月 貳拾五圓
三週月 貳拾五圓
六週月 壹圓拾五圓
五號活字貳拾五圓
錢且し行數及回数に
錢金は悉皆金にて可申受候事

發行所 漢城新報社
朝鮮京城南區會賢路路標製
發行人 後 田 龜 屋
編輯人 島田 龜 屋

六
報抄錄

報
雜

디 부를 품스장에 추송九서 가법부법을
 고초위원을건히하고 법부민소국장
 에 송繼씨 가법부법을고초위원을건
 명하야 급속급봉하고 한성지판소관
 스에 송繼씨 난금일을급봉하엿다라
 ● 不審思 法官의명하호 판보초를
 조항를보니, 스람이혹, 전하야, 갈
 아디, 金義濟등, 삼인니, 임명후에,
 조법부가, 부하참서관, 아모씨다려
 일나갈아디, 나가, 법률학도, 학양
 할줄, 모도난거시, 아니라, 지금, 불
 가불, 그런싸달기, 잇단고로, 의의
 인으로써, 빠져쳐올타인디, 법무관
 리더리, 다이동하야, 면관할자의,
 반다시, 만올거시니, 유권할기를,
 기다려, 졸업생으로, 조용할거시니,
 그딤난, 졸업생, 등에게, 말을전하
 디, 이제사람, 이말하오므로, 懸辭이되
 괴지, 말나하제하라, 하얏다더라
 ● 被劾自引 법무청총무국장에 奏陳
 씨가니 군용씨등모든사람은초한
 디예리가잇서사위권이범무스보담
 더하더니근일에남에 탄핵함을입어
 서지나간니심삼일에서적소를하고
 도라가스제에누엇다하더라
 ● 干礙奇蹟談 박감찰이현아모에
 계부탁하야삼만금으로씨군슈를구
 은난디李承烈이가그일을추선하다가

법관인
당한다
라
● 第五
각급
하야
안의
· 第六
인민단
더라
● 第七
음스랑
마당에
나 품지
이 범함
상호, 비
삭하고
가서, 처
난스름
이, 다르
에, 잇스
되고, -
병의, -
고, 깃거
병이 죽
천상사라
고, 양복
자라, 사
하더니,
라, 하더

고든, 니야에서 가셔서 죽을 겁오

二十日

十六日

갑오년... 일본사람한명
을 죽이고... 허주등에게
가서, 회형... 작난하다가, 허주
에서, 피박... 살인한일이, 발각되
야, 법관나... 장차명으로, 피상하
나, 박모에... 부친이, 지금서울에서,
고등지판... 에, 정하야, 감일등하야,
종진중영... 처하기를, 청원하니,
법관나... 바지아니하고, 이처에, 부
당하다고하야, 도로나려, 갔다하
이과시분
라

●惡而不...
너부디신, 朴定陽씨가,
각군민에게와, 및서에게, 고시
하야, 갈아... 상하가, 상부하야, 편
안이, 하라... 리서더리, 박성에게
학정을, 하지아니, 하난고로, 근
인민더리... 를함업어, 무폐하다, 하
다시장
더라

과, 天安과
이시켜
불편하고
로, 恒하
가서,
가등지에,
의전보에
영일등
하, 드르니
위하야, 그
에, 훈령하
하라고
전하야,
를, 尼도
난디, 다
소동하
삼은거슬,
으러난, 은
을, 아지
성으로, 보
한인이더라
박아모가

夢遊歷代帝王宴

(二十)

연노라고주시, 근신을, 명하고
회계, 운손과, 청송, 연수의, 청계, 처
스와, 산중, 모군을, 가져다가, 한되
지, 압히, 노으니, 퇴지, 부슈청명하
여, 부술드러, 흥변두루니, 문물가점
이라, 그시에, 글이, 성인스러운,
공은, 오데야, 지나고, 도덕은, 산황
을, 겸하도다, 용이, 이러나미, 상서
에, 구름을, 일위고, 범이, 슈파람, 하
리, 미운바람이, 이러나도다, 위령
은, 스희에, 설치고, 교화는, 만방에,
들니도다, 명명하, 용납, 우희호, 목
하, 완반, 가온되로다, 을하, 금
화사요, 제하, 영응하, 무리로다,
당에, 을나, 옥벽에, 죄회하고, 잔치
를, 배플리, 의관이, 모였도다, 금준
에, 천일주요, 유반에, 만년도
로다, 처식구름은, 구슬발에, 잉크
고, 상서에, 언기, 그림그린, 난간
에, 들녘도다, 정기, 조미를, 가리
고, 금구는, 박일에, 빛나도다, 금중
은, 불근남스귀에, 불고, 유노는, 환
달에, 떠러지도다, 조진은, 옥동소를
불고, 상상은, 거문고와, 피파를, 타
는도다, 향기로은, 바람은, 춤추는,
스미를, 잇글고, 말근, 노리는, 묘하
곡조를, 따르도다, 가절은, 구추
에, 속하, 방야는, 달이, 숨겨이디
라, 금일에, 네, 아람다음이, 조조고,
이조리에, 두, 어려움이, 아을노도
다, 물쇠은, 오히려, 의구하거날, 제
스는, 이제입의, 글너도다, 홀연,
전조를, 귀류하, 흥이, 다하미, 도
로혀, 슬푸미, 나노도다, 고궁의, 뒤
집이, 노, 대명이, 광회를, 날녘더라,
인정은, 번복하미, 만났고흥망은,
과람과, 조도다, 아람다운, 술은, 명
정하미, 맛당하고, 즐거은일은, 반
환하를, 일것도다, 미신이, 감이, 수
를드리니, 생류를, 길이, 외서, 들기
리로다, 비를, 헛치고, 낭간을, 받치
니, 천추에, 세간에, 전하리로다, 하
였더라, 글을, 나아오미, 만재, 청찬
하를, 마지아니하더니, 홀연, 한스
지, 전서를, 가지고, 와, 박치거날,
피해보니, 그... 다...
에공이, 만이잇거날, 송연의, 조리에
청하지아니하기로, 되, 모든만니
를, 거너려, 금산에, 문죄하리라, 호
말이, 삼하, 피만호지라, 송하의, 전
를하야, 글이, 호스다마하고, 아람
다운, 의약이, 막히기, 쉽다하미, 정
이, 이를, 일으니, 미로다, 저의로, 더부
러, 서로쓰하미, 하하하하하하하하
못하다하니, 시하의, 분연하, 가암
이, 무리와, 조흔, 오합지졸을, 엇지
주하, 두려워하리요, 말이, 맛지못
하, 산밧게, 나노되설이, 하하하
가리고, 복소리, 싸를, 음자이며, 천
기수만이, 만산편야하하하하하하
일인이, 청종마를, 타고, 오천년
밧겼스니, 위하의, 하하하하하하하
이, 임속하거라, 이, 원세조황제
화선봉은, 화현이요, 우전봉은, 우
현이요, 죽간원수, 호한야현
요, 기역장교는, 돌켄, 길안, 무주
하니, 구한, 말갈, 서만, 복니, 남
등구에, 무리니, 그수를, 아지못
나, 한하의, 글이, 뒤, 하하하하
을, 막을고, 시하의, 무대로, 더부러
군수, 백만을, 발하고, 장수천원을
매하하, 분연이, 나가니, 화
시하이요, 유하, 무대라, 좌우로,
협공하니, 흥하, 망중이주하니, 변
혈인이승하고, 지가들, 불노, 도라
오니, 만재, 크게, 깃거하더라, 이
요, 천석이, 장차시이고, 산하의, 조
조우니, 모든나라, 대하의, 대하
야, 북들너, 각각, 도라갈서, 한하
단화과, 송하의, 명하, 다라, 일
이, 데의, 스희를, 혼일하미, 오
지아니하리니, 천하, 하하하하하
오늘을, 생각하, 하하하하하하하
어, 써, 구천의호을, 위로하라고,
각각, 니별하, 가거날, 추종의, 소
하하, 나엽이, 표하하소리에, 홀연
들나, 잠을싸다드니, 상가온디, 일
이, 하하하, 안전에, 삼하하하하하
인하야, 괴루하하, 후하하, 전하하

雜 報

● 移御風聞

구종이 심형 등 10명 이하의 일을 제상스
롭더니 웃지 아니하고 오마는 근 일전
설을 이디드니

이 군주 폐하 하사장 차음을 내니 심형은
예경은 구종이 이 어할 실 뜻지 제
시다 하니 진노진가 난모 로 겐더라

이 어종은 구종이 이도 전하야 갈아 디
덕군주 폐하 하사대 이본 일노이 어
신다 하니 진노진가 난모 로 겐더라

이 어종은 구종이 이도 전하야 갈아 디
덕군주 폐하 하사대 이본 일노이 어
신다 하니 진노진가 난모 로 겐더라

이 어종은 구종이 이도 전하야 갈아 디
덕군주 폐하 하사대 이본 일노이 어
신다 하니 진노진가 난모 로 겐더라

이 어종은 구종이 이도 전하야 갈아 디
덕군주 폐하 하사대 이본 일노이 어
신다 하니 진노진가 난모 로 겐더라

● 軍祭記

(續稿)

이 예 일장식, 들다가, 종피곤하면,
파루안으로, 어가서, 쉬고, 그마루
의, 비자수인, 이스민, 천나무로,
머리를, 받으며, 처복과, 적덕와, 흥
분노, 용지가, 조조동인, 하야서, 한
눈의, 환연이, 흥흥의, 동년쳐녀, 갖
트니, 물어본, 군내인이, 아니요,
다병정의, 그첫내자의, 부장을, 하
였스리, 중변, 모다들고, 말아, 읍
시, 임이, 평평, 하야서, 규구부부를,

아 지못하고, 머리를, 도리키니, 곧
천년인지, 아난지, 분변못하며, 조
공이다가, 구장(鞠場)으로, 들어가
광덕가, 또한다, 병정이, 하야서, 바
이니, 소안(小安)재가, 아비원수의
승, 변경이 안된관, 지나는, 날을 보
고, 다슬루고, 분을고, 장렬하야서,
구경군, 으로, 하야금, 머리털이, 서
고, 돌아가, 재역지게하며, 또
를할시, 몬져 베벌뵈만함, 송판으로
들의서, 부터집우으로, 복도를, 무저
기갓치, 수십간을, 을너노코, 또그
복도, 굵게, 가사, 송판을, 석거노
아서, 맞치풀무판갓치, 노아서, 드의
노되로, 그송판이, 거구려지게하야
노코, 한병정아, 그슈박갓치, 동구
런거설, 들의서, 부터라고, 그송판
우으로, 석거치, 발노글너, 을너가서
등군대를, 석식가지고, 두다리르
견여서, 머리로, 베기며, 학의춤, 형
상하니, 그기모가, 참신묘, 하야서,
본는자, 다손바닥을, 치며, 크게
소리하야, 괴이하고, 칭찬하며, 그
기예를, 맞친후의, 주인이, 빈객을,
잇글고, 연석으로, 들어가니, 연석
인즉, 꽃화피당이라, (欄間의, 화고
두글자를, 두른고로, 그짓화피당)
이라부르더라, 그압들마당, 가운데,
슈십좌, 탁자를, 노코, 조흔술과, 아
람다운안주를, 베풀고, 모단빈객이
자리의, 나가미, 병정십명이하
을, 일우워, 나가서, 그제조를, 나
연하야, 씨손님을, 절접게, 할석, 비
로소, 쇠기동의, 반원하느, 기예를
하고, 또농흔, 등등을, 하야서, 오로
고, 떠러지느, 기예를하미, 다니고,
교하고, 테조를, 임의맞치며, 병정들
이, 물너가고, 또한병정이, 뒤선하야
노와서, 구리쇠기(銅線), 한뿔설, 가
지고, 노와서, 나무의, 밑고, 또한뿔
선, 쇠기동의, 밑에노코, 몸이그구
리, 쇠기로, 을너가서, 한번, 가고,
한번을, 나가며, 그중우의서, 갓다가,
그줄의, 흔들니면, 좌우양편으로,
요동이, 되야도, 그병정의, 흔들니

는, 줄우의서, 평지갓치, 안은하계,
하느, 지조를, 슈차하니, 모든빈객들
이, 그신고함을, 크게칭찬, 불이하
고, 그기교를, 맞친후의, 금리두사
름이, 자리의, 노와서, 견금술을, 연
습할시, 두사람이, 뒤로, 멘든, 칼을
두루며, 서로향하야, 하느, 부르면
하느, 응하고, 하느, 이, 차면, 하느
는, 밧어서, 나가면, 용이, 노확한것
갓고, 직하면, 호랑이가, 산진것갓
하미, 빈객이, 다장하다, 칭찬하며,
패하, 다일것고, 슈합을, 분투한후의
하느, 로을양하고, 물너가고, 또병정,
십여명의, 뒤선, 노와서, 총창술을
을, 연습하미, 그신고하, 지조가, 장
하기가, 견금술과, 갓흔지라, 이예,
보기를, 맞치며, 이예술을, 잔쳐서,
손의게, 노오미, 형주하느, 자는, 다
병정이, 조선수관을, 되신자느,
조선말을, 하고, 아국수관을, 되신
자느, 아국말을, 하며, 술이반쯤되
미, 뒤대장, 신산씨가, 한변을, 하고,
모든소의게, 고하야, 글아디, 본일
의, 군기제전을, 행할시, 모든공을
공손이, 청하야하느, 제공들이, 다
해연이, 질겨다림 하느니, 그영화
크지라, 그중의, 상하검모, 하던바
조선, 군부대신, 민공각하, 이하,
지경하, 스관이, 다엄하하느니, 이
는, 영화로운중, 영화로운이, 오직
만니의, 현군하하하하, 군중의, 변두
와, 제기가, 읍고, 또미주의, 가호가
을하서, 모든손님을, 절접게, 못할
이, 붓그립다고하야고, 또갈아디,
본일소용의, 씨술, 은잔은, 이, 이
번의, 공장을, 명하야, 제은, 자이니
제공은, 을너갈씨의, 청전디, 씨가
지고, 가라고, 하얏더라, 우리가, 그
잔을, 보니, 속의는, 금을노씨군과
(軍旗)두자를, 쓰고, 밧게는, 駐屯京城
軍第一總隊第一大家는지라, 이예중
민들이, 다노연이, 취하하하하, 홀
연이, 병정슈십명의, 군가를, 부르
며, 연석의, 노오니, 이은곳전날, 본
보의, 피저한, 군가라, 그소리가, 심

이장령
는것
거하고
약이
진하고
더질시
이예,
예와,
자를,
하느,
하얏시
하느
로, 씨
였스나
의, 군
군기
처석,
홀, 씬
뜻느
으로,
하느
「三浦介
子而脫主
또한다
하야, 다
하느
병일은
서, 글너
하야, 드
하를, 셔
들어간
더부러
적진의,
두려와
가, 죽하
니, 이
요, 劇部의
리를, 도
은, 예전
그사
것고, 배
밤이
● 案

부르면	빈객들이, 저 등병영에서, 음연할지
면, 하느	이예, 병노, 또 남동, 병영에서, 기
「화호것	예의, 종류를, 베푸려서, 구경하느
진것가	자를, 질겁케 하고, 문합화또한, 二族
찬하며,	旭日旗를, 표, 하여서, 세우고, 남문
「한주의	하느, 문좌편상의, 거북노는, 형상을
도병정,	「하얏시미,」 북이, 무릇들인되, 그
「창술업	하느는, 龍으로, 써하고, 그하느는, 龜
소가, 장	로, 써지였고, 그것레 불형상을, 지
이예,	였스나, 다교하기가, 꺾진하고, 좌편
「산처서,	의, 군기호위영을, 지였고, 중앙의,
사느, 다	군기一族을, 착하고, 들가온되, 또
신자느,	척척, 조희르, 오리여서, 뭇과, 남
반쯤되	홀, 삼여서, 마른, 무의, 붓치여서,
「반고,	뭇, 무모양, 하얏고, 도라와, 對場
「본일	으로, 들어간, 「바야호」로, 傳書를, 연
「고공을	하느되, 곧, 恭愍義士復讐」하느닐과,
「이, 다	「三浦介陣中訣見」하느닐과, 「舊臣殿已
영화가	또한다, 병정, 나, 모다심히, 괴모하
하던바	야서, 보는자, 리, 무장영탄, 아니
이호,	하느이가, 입더라, 우리들으니, 주
「나, 이	병일본, 슈비, 인죽, 전희의, 요동
「오직	서, 굴너싸홀, 의, 소향의, 무적하
「변두	야서, 드디여, 여순구를, 취하고, 손
가호가	하를, 석권하사, 바로우장성으로,
「못합	들어간자느, 二堂년의, 청궁군소로
「아되,	「더부러되전, 하여서, 칼을가지고,
이, 이	적진의, 물남, 야, 탄환과, 활살을,
자이니	두려워하지, 나하느, 그담을, 하느
「써가	가, 죽히써, 귀신의, 담을, 썩칠만하
「가, 그	나, 이느곳, 오갈자, 恭愍의, 종모양이
「써군기	요, 劇詔의, 俳優모양이라, 영웅이, 머
「北京城	리를, 도르키고, 귀신이, 온다합
이예중	은, 예전의, 그말을, 들었더니, 이제
「니, 홀	그사람을, 보아, 도종다투와, 곡조를
「부르	것고, 빈객이, 호터지니, 잊지느,
「날, 본	밤이임의, 습친, 일노라
「가, 심	

參 榮陰餘抄
 향일드르니 금번니근
 용씨 등옥스랄고무관^고령씨로난참
 예치못하예흐다하니 구례씨난고문
 관으로잇셔서티옥에참예치아니하
 면우리무리난 피이히게드렸더니지
 금다시드르니스국이변하야안하야
 구례씨로법정에나와서이일을간^이
 흐다하니우리난일으되판결공변^하
 을이에가이으덧시니참국가에경스
 다라

● 棠陰談奇
충청도 옥천 사람이니
가한성지판소에 정호야 평성스랄에
계돈삼백금추며하랴고 일전에 상경
호야 정소하랄스음에지 판소서십니
함을연타하기를혹오죽일도가며혹
십여일도가서 판결한다난말을듯고
니씨가스사로말하되삼백금을차지
랴다가부비가육백금에일으갓다
고정소하기를긋치고로날여하다하
더라

지금원방에 소문을

드르니, 각관찰수더리, 혹가결셔의
밋근리, 남종흥난거슨, 고스흥고,
각군리셔빅더리, 결복이라, 일커르
고, 빙성예집에, 나가서, 밋결에, 혹
이싹복, 혹삼싹복식을, 청구하니, 빅
셔셔더리, 판리더리와셔, 이결흥난거
줄을, 괴로이, 여디며, 부득이흥야, 가
결전조세를, 한결예, 비흥면싹복예,
이삼이나되난고로, 민정아, 오오흥
다라더라△근일예, 서울각부로뵈터
각도각군예흥행흥미, 근도와, 근
군예난, 여일도부흥야, 가부간, 시
흥행하거니와원도와, 원군인즉, 그흥
을, 보아서, 빙성예게, 이되고, 판
리에게, 허가되난자인즉, 음치흥야
를발흥고, 당은판리에게, 이가되고
빙성예게, 허가되난자난, 바야으로

정야 천여량으로써, 임의, 종신중역
에, 처한것난디, 알전에, 청마지임
고, 샅갓쓰고, 사실설고, 역사하라
가, 난길에, 천호순검, 하나홀, 맛나
서, 체읍하며, 갈아디, 나가, 무슨죄
가, 잇서서이지성에, 이르렀나나, 일
죽죽^웃쓰면, 조호렸, 마난, 죽지도,
아니호노라하니 그순검이, 위로하
야, 갈아디, 죽으면, 무어시, 유익하
냐, 아모조록, 명을보존하야, 타일
을, 기다려, 방면, 하면설치할, 도리
가, 읊시리오, 말을맛지아니하야, 영
거훈, 형스비더리, 구박하니, 눈물
을, 뿌리고, 가더라니, 목면지관이,
되야서, 탄핵하기를, 실려아니하야
무리원망이, 도라오미, 화에^맞치
지, 아니호고회죄한디일이, 제몸
은, 자책할들은, 아지못하고, 사람
을, 천망하니, 굶죽^더리도, 허물을,
세맛지, 못할니라

明洞 錦江漁景

簫鼓々々鳥中雄。楓爽健翼生風。秋深結翎
 歎白雪。天高幾翻摩蒼穹。嘗聞朝家田獵日。
 葵之爲諫搏擊功。又見庚申黃海役。銜祥來息
 雲檣中。群臣覲獻靈鷲獻。仰見帝德中外隆。
 嗚呼鷹也一飛鳥。其勇其威胡沖々。借問紛々
 行路客。俯仰誰復與鷹同。

今日本社新報に地方建設諸君に便利함을
經略す。야當路衙門으로郵遞送達함을請
하얏더니裏商工部衙門에서인認可되즈
니郵遞線沿道에諸君은社報價一朔一兩二錢
五分과郵遞稅七錢五分을예은先給으로
보시사면日田에보내읍

新聞紙一張價	一錢三分
一胡閣	一兩二錢
先合	

三朔間 先給 三兩五錢

六朔間 先給 六兩七錢五分

地方駐讀者 每月郵費銀七錢五分

한글을 한 번 나눈다

○ 宜 錄 數 及 國 策 豆 矣 大 人 下

雜報

國王移御の風説

九重の雲深き宮の御事に關して之國より予
盤の鏡ひ知るべしやうはあけられぬ日來世
人の噂する所聞くに 大君主陛下には近
を遷宮内行儀より遷宮に御移りあらせら
るゝことに御内におしと云へるが眞偽の程
は保し難し

●果して乎
國王移御の噂は項に記するが如し而して更
らに語る者あり 陛下は今二十四日愈々
遷宮に御移りあらせしと果して其乎

●宮闕の噂
大君主陛下遷宮に御移りあらせしと果して其乎
の訓儀に成る八名の兵士を以て之を護衛し
奉り又又露國兵を學びし武官學徒三十名を
以て右衛門兵衛に參附或は副附に任じ其選任
の參附副附は正副或は參領に選任の筈なりと

●補内務卿京す
先きに先皇移御の爲め龍
仁に赴き居たる内務省は同所に於て鄭某が基
石の地を一萬兩にて購ひ此處に先皇を移御し
祭事あるに赴き 鄭某にせしむ

●閣軍部出駐兵
閣軍部には此の程
再の數十萬兩を以て出駐將士を揃ひたりと

●大臣署理事務
解かる 宮内府協辦尹定
承氏之去る十八日大臣署理事務を解かれたり
●法部官の異動
法部參事官兼高等裁判所
備前事金基龍氏(去る二十日漢城裁判所判事
に就任)委任官等に叙せられ内務主事趙禮
錫氏其の後を襲 委任官五等に叙せられ

●金基龍氏
韓字氏任命せらるべしとの
傳ありし民事局へは去る二十日付を以て奉
常司副選劉金基氏任命せられたり

●安福氏の辭職
獨裁獨裁事件の起りし時
より警務廳總務局長に任じ専ら嫌疑者取調べ
の重任に當り獨裁全體を壓せし安福氏は近日
何人かの彈劾を以て昨二十三日辭職を出し私
第に引籠もりたりとの説あり

●少氏法廷に立
今回不軌事件裁判
は單に朝鮮法官のみにて行ひ顧問グレントハ
ウス氏の如きは一切關係せしめずとの風説を
耳にしたることあるが今閣下所に依れば其後
模倣はる矢張グレント氏を去て法廷に立會しめ
るありと云へ(定めて公明する判決あるべ
く予望は當邦の爲め之を喜ぶ)

●不軌事件の關係者
不軌事件の關係者
同裁判は去る十八日より開廷し先づ被告者金
銀九氏等に向つて審問し翌二十日李根溶氏外
三人を審問し翌二十一日に餘八人を審問し
たるやの噂あり 法廷の掛法官は一切外出を
許さるゝを以て 未だ供辭の模倣を知るを得
ずと云ふ

●不軌事件の關係者
不軌事件の關係者
同裁判は去る十八日より開廷し先づ被告者金
銀九氏等に向つて審問し翌二十日李根溶氏外
三人を審問し翌二十一日に餘八人を審問し
たるやの噂あり 法廷の掛法官は一切外出を
許さるゝを以て 未だ供辭の模倣を知るを得
ずと云ふ

爲め折角調査とてへく度支部へ運送したる
もの直ちに却送せられて再調査をすす杯のこ
ども往々之あるやとて各部の掛り官吏は近日
寒氣の吹くに振舞ふるにも拘はらず號れも早
朝より出勤し夜半過ぎまで執務し居ると云ふ
●居留地會
再昨夜開會し豫算を議せり
●教育會組織せられんとす
漢師範學校
及び城内各官立小學校教員の發起にて連合教
育會を組織する由にて最早規則等も出来上り
現に學部大臣閣下種族氏の檢閲中あるが本年は
餘日もあければ明春早々發表の筈なりと云ふ
●日語學校の冬期休業
同校は去る十七日
より十九日まで冬期試験を執行し二十一日と
り冬期休業となせり

●京城商業夜學會
は再昨日より一昨日に
かけ韓語科の試験を執行せし由あるが今晚其
修業及び卒業證書授與式を舉行し明日より冬
期休業となす筈なり

●宮闕拜觀
朝鮮政府の本邦人顧問官、補
佐官は昨日其の許可を得て各宮闕を拜觀
せり

●兩氏の離愛
當邦政府の補佐官たりし國
分哲夫多田桓の兩氏は近日歸朝の筈に付き兩
氏の知友諸氏昨夜羅洞南山亭に於て離愛と云
ふ

●匪徒漸く猖獗
安東奉化等に匪徒出沒す
る由は先き本紙に記し置きたるが今又聞
處に依れば丹陽寧越等の地にも匪徒起り漸々
猖獗を極め山谷の間も墨墨と雲々益々地方無
頼の徒を招集し附近の郡村を脅迫して米穀及
草蓆等を徵集し居る由なり

●露新聞佛政府へ
露國の新聞紙グラ
ズデンはメネチネルスキー公の機關するが
公は先般露帝に扈從して佛國に至れり然るに
元來佛國の民政主義に大の反對なる公の事と
之を同盟するが好まざれば筆鋒自ら進し
りて公が巴黎より同新聞社に贈りたる二篇の
通信は佛國大統領ファウル氏及び佛國政府を
暗に嘲罵したるが如き語氣見えれば露國內
務大臣は忽ち同新聞に一月間の發行停止を
命じ尙今後新聞記事論說を重ねて掲載するこ
とあるときは斷然其發行を禁止すべき旨を申
渡したと云ふ

●法律起草委員の任免
宮内府物品司長李
會九氏之法律起草委員を解りて法部民事
局長金基龍氏其の後を受け同委員を命ぜられ
たり

●金泰元の免官
警務廳總務局長金泰元が朴
監察代金二萬圓を奪ひて逃亡せしことは前號
の本紙に記載せしが如し右に關し金は遂に一
昨二十一日日本官を免せられたり

●長門丸客國の道難漁夫を救ひ來る
此程上海より仁川港に入港したる郵船會社
船長門丸は朝鮮漁夫十三名を載せ來れり右は
支那近海にて漁業に際し難しきもの、由にて
内一人は船中にて死に絶る十二人は今尙同港
監理署にありと云ふ

●商況の不景氣を嘆つ
屢々記せし如く本
年は當邦五十年來の大豐作にて米豆の出廻
り多しければ仁川及び各地一一般商況に定
て非常の活氣を生ずるあらんと思ひの外米豆
を賣り拂ひて韓商等は皆現金を捧へりて

物質を購買せざるより金銀は益々逼迫して各
種の商品に急ぐ停滯し殊に本年之人參の賣
意の加行はれず彼れや是れやにて一休に
不景氣を嘆ち居る模様あるが如し

●日本兵士は驚愕を知る
去十九日の我守
備隊軍旗祭典參觀として某兵士の球袋及び針
金銀りを爲したるを朝鮮人中韓籍奇異に感
しものありしと見へ日本の兵士は驚愕を知れ
り最も驚き巧みなるもの之を球袋針金に思
ふ風に對して天に登り或は徒歩海を渡るを得
るものあり今後文明國の戰爭は銃砲を棄て魔術
を以て相闘ふに至るべし抑言ひ難すものあり
とは面白し

●兇徒死刑の宣告を受く
全羅道の人朴某
は去る明治二十七年東寧堂の尊嚴の祭本邦人
一名を殺害し其後黃海道海州地方に逃れ種々
惡行を働き居たりしが先頃遂に同郡警務官の
手に於て捕之れ審問の末惡意甚く露顯し死刑
の宣告を受けたりと云ふ

●少女危難を逃る
龍山に一少女あり年は
やう／＼二七の花の蕾をた浮世の嵐の苦を知
らで父母の膝下に遊ぶ頃あるも宿世の果報
を惡く杖や柱の父母に死せられ外に寄るべ
き親戚もなくて世渡の道に覺束なければ全
羅道の順天府に身寄の者のあるを便り心細
く只一人馴れし故郷を後より舟路を取りて
出發しける叔此報が乗れりし船と同じ龍山の
張某といふ者の船に就いて此張某は乗てより
深く艤に心を寄せ居りし言ひ寄る便り心細
く胸を焦し居たるに漸く意中の人の我船に
便乗せしは結ぶの神代引合せ無きしと小踊り
して喜びける鳴呼漢江の水は清しと雖も
不便にも亦哀れられし事とは夢知らず馴
れね旅路の舟の上四顧茫々たる大江の寄せて
碎くる波の音に小さき胸を冷しつゝ船底深
く打伏し居る艤が傍に船長の張某やほら坐を占
めて下がりし目尻に小皺をよせと云ふ

●心は口説き立て果ては無法の事も仕兼
心の丈を口説き立て果ては無法の事も仕兼
じき顔色すれば艤は大に怖れ助けを求むるに
も龍の鳥の詮方なく／＼蛇度心に一計を案じ
應と艶まかし男の顔を見上げ足はぬき
其れ程まで思召さるゝか情けは誠に無き
れは何の御言葉も背きまよふ必らず胸心に
隨が侍らんはさうながら妾は先程より痛
く給醉ひし目さみ殊に甚だしく堪へ難き程
あれば夫疊の契は仁川へ上陸の上晴れて
ある語はん先づ夫れ迄は待てたべと眞事しや
やかに欺けはたさるゝとは夢にも知らぬ張
某は平素の念願達せりとして一方から打喜び
ける艤は曾ほかにかくと云ひこしらへハヤット
虎口を逃がれし心地去て一日一夜を計の趣に
暮らし船の仁川港に着するや否や船長の目を
忍び身一つにて上陸し直ぐ警務署に至り事
の次第を訴へ出づれば檢査がたしと巡査
直前に出張して仔細を聽き取調かへ果と痛
く運賃して後來と成り艤の手荷物は遠く運
ばせて艤に渡たせたりと焦がれし女は手に
入らで赤恥掻きし張某が何某か加減何んども
早や申し様は御座ぬ

●愚計
漢城に成政街といへるあり愚事
にかけては中々抜目なき男なるが其家林型


●愚計
漢城に成政街といへるあり愚事
にかけては中々抜目なき男なるが其家林型

三六下女が
代物ある
名の惡漢
雨にて
齊去居
林氏に傳
に至らぬ
段々露
し其日
差出し
向が胸
去手に
からぬ
に渡せ
一の愚
々に林
で林
し件の
を辨償
總て己
なり林
家同前
を謝
を謝
を謝
を謝

金八十一
同四四五

廣告

大阪商
船會社
二川荷客取扱所


 御朝 神戶屋
 第貳拾六號地
 昇館從來營業龍在露處各位ノ御庇蔭ヲ
 蒙リ日ノ月ノ繁榮仕候段奉深謝儀隨テ
 今般客室其他百事改良ヲ施シ御待遇ハ
 申スユ及バ御料理等モ衛生上注意ニ
 注意ト加ヘ流中浴場ノ如キハ一層意ヲ
 注意シ又タ宿料ニ至ツテハ精々低廉ナ
 旨トシ概テ上ノ三等ニ區分スト云ヘモ
 同ホ如何様ニモ御相談仕候間何卒舊ニ
 倍シ陸奥御宿ノ程奉願上候
 上等 金壹圓
 中等 金七拾錢
 下等 金五拾錢
 下宿 金五圓 ユリ
 金拾圓迄
 但室内御給寛ノ上御相叙ス應ズ

一上等	壹圓
一中等	七十錢
一下等	五十錢
外二 一下等	三十五錢
京城泥鰍 三十八号	田原旅館

朝鮮物産依託販賣
并ニ諸雜貨買次業
右ハ萬寶チ管トシ精々御便利ニ取扱
可致候間多少ニ拘ハラズ御用向アラ
ソコチ乞フ

大坂市西區北廻江通四丁目

加 庄野嘉久藏

在仁川帝國領事館調查
明治二十八年
仁川港商況年報

發行所 朝鮮新報社

新刊發賣
朝鮮王國

總論 ○白雲の背景、白頭の西南系
地理部 ○六太江の中原、三面の附録
社會部 ○社會の墮落 ○王室、貴族
宗教 ○僧侶、寂滅、靜寂、村落的佛敎の歸牧 ○社會情態 ○政治制度
歷史部 ○近世史 ○大統君時代(上、下) 外戚と太史君、十七年の變、天津條約
 東方の藩屏、東方の二帝國、獨立失領(上、下) 十月八日、二十八日事件、十一月の變と日露協定、東亞に於ける朝鮮會以上

御玉露製 一斤金壹圓五拾錢 ムリ五割迄
御煎茶 一斤金拾六錢 ムリ壹割迄
御海茶 極端。廣焚。上別儀。
此三種御入用ノ御ハ御申越シ次第早速
曉上ケ御注文ニ應ジ申候
右新荷普仕候間大方諸彦皆當ノ御愛求ニ應ジ
茶 店 河村至誠堂 京 城 泥 規

溫飽蕎麥玉
五拾五以下
壹錢

卸賣大勉強
五拾五以上
壹錢

荷 著
 銃 獵
 廣
 告
 西 洋 新 式 銃
 元 連 達
 日 本 村 田 式 銃
 銃 銃 銃 銃
 品
 屬 附 銃 獵

JAPANESE,
COAL,
DEALER,
大日本
壹等
唐
津
石
京
城
泥
規

第拾壹會正風集

寄限
來ル十二月廿八日迄
撰定ノ上ハ漢城新報ニ
掲載詠草ニハ居處雅説
及ビ通稱ノ明記ヲ乞フ

豊秋園瑞穂宗匠

句調一入花堂
正風餘ハ壹組

投込所

漢証


 薩摩煙草卸賣
 (刻港共)
 東洋
 流通

疾虎御愛顧諸彦ノ御引立ニ依リ日増シニ繁昌
 上リ難有御禮申上候隨ッテ今般一層勉強品位
 改良且ッ荷造等ハ至極丁寧ニ早速送附仕候間
 多少ニ拘ハラズ永當々々御注文恭願上候
 仁川港日本居留地海岸裏手通
 運草商渡邊出候店 川畑勇吉
 一 朝

新荷到着御披露

煎餅、スカル、
舶來ビスケット
瓶入洋菓子數種
梨、桃、梅、杏、罐詰
堅魚、
小鳥大和煮

外

御披露

天津石炭販賣所
京坂泥鰈
木村健夫支店

入花壹組（拾句）金六錢

刻卷共

守濱の利をいふ


右新着大勉強致し升

仙波店

朝鮮船

男吉

小林菓子製造所

煎餅

鮮魚
佃煮

外二

鐘

和煮
京城泥鰍
龜屋

右へ先達より開業仕計たふ説て之指一杯
勉強致三升餅うれ風味はナカクに
御客様の御譽に預る程には出来かね
升るがホンの熱ひが取得にきて御
風呂の返へり道に一寸一盃かきかの
内より御暖りわれと蕎麦湯の熱釜
まぐも指ふものは

けふ
君
や
喬
麥

東京流行新形帽子新着

中山高帽子	中打帽子	鳥折帽子	大黑帽子	海軍形帽子	學校帽子	小學供帽子	小メリヤス	毛メリヤス	サルマタ
京	城	泥	峴	龜	屋	商	店		

銘酒販賣廣告

菊正宗一卷

金露一文

其他醬油類各種

右ハ邑ヲ移業能存候處ニ置ルノ御意候テ樂
日テ増シ繁榮ニ赴キ候段經有奉深謝候説テニ
販地鹽造元ト特約シ知小共大鹽價テ以ツケ
販發仕リ向ホ小賣ハ甚目高價ト差遣シ知用知
爲相伺候間五合以上ハ得取ハ權利等知便利ニ
隨上持登可爲致候ニ付多少ニ不泊煩々知注文
事願上候

月
月
佐藤
酒
店

一日本紡績木綿

右品은朝鮮各諸君에從便을위하야만히
泥親四拾貳號地大塚전방의계船入하야물
건은상품을되리품고潮利로항성하오
니四方諸位多將을拘치아니하야사시
기를전만바라옵

大日本岡山縣兒嶋郡秀天村
사방 泥岨大塚
麁房居

高田平次郎

揚引々急店弁
 於目丁三通堀町京區西阪大
 通候御殿致致五年前
 業次買貨雜
 賣販托依并
 シト旨ヲ速迅買薦ヲ仕業開
 計ハ候申可ヲ計相ナ利便御ノ主貨卸
 テ以テ意厚御ノ立引御來舊
 上願奉ハ偏段此度下販文注御懷達
 廻通京町大坂店商出并門通南大京城

紙捲煙草
十本入
吸口付

ピーコック 金四錢

右久敷品切中ノ泥
蛇
龜
屋

祝新禧和歌集

勅題
松影映水

寄切六月三十日限

右來る三十年初刊の本紙に繰け以つて素平の
聖代を鼓腹せんとす諸公大方の同好雅伯類々
御臨詠のらうは云

謳
豈
會

新開定價
一一一
通
月月後
或或
拾
拾
五
錢錢國

廣告者

發行所	同人	後	島
總	人	國	國
編		編	編
者		樓	樓

發行所 漢城新報社

漢城新報

明治二十八年三月六日... 大日本神武天皇即位紀元二千五百五十六年...

官報抄錄

●宮廷錄事 ○從二品李烈鈞辭免職... 省疏具悉不必... 奉旨准其辭職...

●任學部協辦 從二品閔泳駿(勳任三等)十二月二十三日(二十五日)...

●任學部協辦 從二品閔泳駿(勳任三等)十二月二十三日(二十五日)...

報

●俄增寄記 俄國、정부의 동양의 외교관들을...

다시 조흔의를한말하야서 서백성의 바람을 위로하랴하야서...

의 피로아서 정부의 품청하여 회관의 미곡세를...

아니가지고서 지구의 도라만이며 돌나할시...

식은 그노던바 과룩한 의예는 또 일본과 영국과...

의 피로아서 정부의 품청하여 회관의 미곡세를...

아니가지고서 지구의 도라만이며 돌나할시...

다가... 리... 고... 을... 이...

참조예, 각득을 화포를 삼은다. 기어려온지라, 오작 군조는, 김현, 살피소서, 첩의, 성은, 나요, 알홍은 향이니, 비록, 지아비 있스나, 잠간, 부부지의를, 미지미, 무어시, 방히로오리요, 이십일밤에, 죽림가 온티로, 오신면, 잠간, 정회를, 피오리다, 조회적고, 말미, 긴고로, 만에 하나를, 초야, 을나, 이다, 하였다, 서상이, 보기를, 맞치미, 그뜻을, 알고, 불승환화하여, 그다움을, 당하미, 바로, 죽림에, 드러가, 몸을감초아, 기다리더니, 밤이, 슬금이고, 자나막, 월석이, 낮고고, 청풍이, 서려하난디, 스면에, 사름에, 소리업고, 맛참디, 동정을, 보지못하니, 시름이, 나, 삼조치, 어, 지럽고, 눈에, 색치, 보야, 흐로, 출몰을, 지음에, 홀연, 신, 쓰의, 소리, 먼티로, 보터, 정점맞아오니, 상이, 화불승하하여, 그다

(二)

그리고 죽림에 드려가 무릎꿇고 절하
고, 안저, 말뚝을 서, 말뚝배, 은근한 정
은, 산이, 무덤고, 보다, 이, 김해, 양
디의, 운우와, 녹슈의, 원앙을, 엮지
가히, 형언하리요, 녀지, 위연아, 탄
식하고, 낭연아, 슬하니, 기시에 알,
흐박취, 지인달의, 오경에, 발악스
니, 음당, 은산의, 두지점을, 빗치리
라, 위슈물결이, 박번썰스나, 엮지,
붓그러음이, 업스랴, 노원된,
천년에, 빗물, 곳차지, 아니, 열다
라, 흐렸거날, 서성이, 그굴을, 듯고,
참괴한마음을, 이기지못하야, 이에
화답하야, 위로하니, 기시에 알, 죽
림지인달의, 마음, 빗치려, 발악스
내, 운우와, 디의, 정을, 다하지못하
도다, 가인은, 상심하던, 티를, 짓지말
나, 천되, 비록, 공변되나, 스시에,
곳치느니라, 양인의, 서로, 의정의,
권속하더니, 이우고, 달이, 떠러지
모, 랍의, 서로, 노니, 양인의, 이, 노니,
니, 별하, 서, 다, 노니, 노니, 노니, 노니,
지, 못, 해, 말, 아, 모, 각, 각, 연, 연, 의, 호
지, 니, 라

(完)

雜報

● 雜聞

티군주, 폐하께서, 장차아관으로, 부터셔, 경운궁으로, 이어하 신다난말은, 못난리로, 괴롭히거니와, 지금, 사셔, 이르나, 자작알노써, 이 일을, 작정하야별노이 명제궁, 초일문표를, 지었더니, 아지 못거라, 그손공의가, 엿서서, 정지 되선난지, 그의약호, 날인즉, 혹갈 아티양년, 이십팔구일, 간이요, 또 혹은, 갈아티, 금번에, 정지하신거시, 종설와어이, 성형한거슬, 인하야, 하신일인, 그와, 인과, 종설이, 쉬지아니하, 이어하실과, 약을바 랄슈가, 읍다난티명출간, 나하신다 하더라고, 나아죽은적하하의별은, 듯지못하, 하더라

● 出入持票

근일해정부로 부터셔, 시로문표, 지어서, 그 명제궁관리 더라출입, 난티각각출입하난관리 를주고다, 그관리난문표를주지아니 하다더라

● 親軍紀事

근일에, 편성호, 일티, 티를, 일호하야, 갈아티, 근위티라 하고, 그조소인즉, 서소문안, 선해청 인티, 전로전환구, 지금감옥서, 연 접아라, 지금그곳에서, 기예하다, 하더라, 그일편성호, 근위가, 팔백 명인티명제궁에, 시위하니, 티군주 폐하, 시위병이라, 이팔백명은, 영 스이, 근위티에, 부터셔, 다시교환 처, 아나구게, 하난티, 반다시, 사상 을, 자조하, 실트하, 종은이, 잇서 서, 다른티, 병정더리, 부루위, 할선 이라, 저시기리, 서로말하티, 근위 티로, 드나가지, 못하거시, 한이라 하니, 또이병정더리, 왕스에, 근 로출입, 기이알티더라, 근위티, 병 정연즉, 명제궁, 연화문, 등변에, 시위하고, 병인즉, 연화문, 서변에, 시위하, 하더라

● 雜聞

저간이, 심일의군부협편, 永祿寺가, 무슨지, 할날, 노고등지, 관소의왕티

하얏다, 난티종설의하되, 등씨가, 나근 용씨공스를인하야, 서장간왕환하얏 다더라

● 四人氏名

금번옥스가, 극하비밀호고로, 문조 하난, 스이에, 일절, 하, 듯지못하, 나, 지금드르니, 고발자와, 피고자, 제씨가, 고발자나, 삼인이티, 갈오티, 鄭九와, 鄭起龍과, 田仁奎요, 피고자, 십이 인은, 갈오티, 韓善會와, 金山과, 具然昌과, 李根路과, 李根과, 徐廷圭와, 鄭鳳林과, 韓元教와, 李承益과, 金山과, 魯龍植과, 韓基昇이더라

● 獄案餘聞

여하종설의하되, 이변 옥스가, 또한가, 하정거, 할원인이, 읍노 고로반다, 시상명할지, 정의일의, 지아 니하고, 무스, 방면하, 다더라, 그포박된 자십이명중의, 순경, 병정, 수, 숨명, 이잇 다하더라

● 彈文大致

전보기록한, 한씨, 난 총무국장으로, 니, 근용제씨, 옥사, 심문 을, 전입하야, 위권니, 일정에, 늘니, 난티, 안한씨가, 무스, 스, 건이, 잇서, 서, 남에, 탄 희를, 입어, 서, 상표, 자인하얏다, 난티, 지 금다, 시드르니, 학자가, 박슈만, 이, 란 문이, 티, 치, 하, 대, 안, 환, 자, 이, 작, 년, 에, 십, 월 스, 번, 시, 에, 경, 무, 관, 으, 로, 잇, 서, 임, 의, 수, 회, 초, 공, 스, 시, 에, 나, 가, 서, 공, 스, 를, 참, 예, 하, 고 또, 한, 근, 용, 집, 과, 정, 병, 하, 당, 으, 로, 한, 가, 지 역, 신, 이, 되, 얏, 스, 니, 방, 형, 을, 정, 하, 야, 엄, 형 하, 난, 거, 시, 맛, 당, 하, 다, 하, 얏, 다, 더, 니, 안, 한 씨, 사, 소, 에, 일, 으, 러, 과, 연, 의, 시, 여, 부, 를, 우 리, 무, 리, 난, 듯, 지, 못, 하, 고, 남, 은, 안, 씨, 가, 지 금, 을, 하, 나, 그, 러, 나, 또, 한, 의, 과, 가, 더, 니 지, 아, 니, 하, 고, 장, 창, 경, 무, 관, 을, 면, 하, 고, 다 시, 군, 부, 관, 원, 을, 한, 다, 하, 더, 라

● 顯問調病

타지부고문, 관박, 학, 안 씨, 가, 근, 일, 에, 병, 이, 잇, 서, 서, 사, 무, 하, 기, 를 웃, 지, 못, 하, 고, 집, 에, 잇, 서, 서, 조, 리, 하, 다, 하 더, 라

● 使臣回國

주찰일본공스, 관원이, 고의경씨가, 본월, 출순의, 회국하얏다, 니, 일전의, 서, 을, 노, 노, 왔다, 난, 티, 아, 지, 그 무스, 건, 요, 한, 스, 건, 이, 잇, 는, 지, 아, 지, 못, 하, 벋, 더, 라

● 榮耀可羨

지금, 신임, 훈법, 부, 바, 서, 참, 서, 관, 조, 에, 서, 씨, 가, 본, 이, 리, 서, 인, 티, 지, 금, 법, 상, 에, 겸, 인, 이, 요, 또, 법, 성, 에, 주, 인, 아, 라, 법, 상, 이, 서, 을, 집, 이, 읍, 서, 서, 조, 씨, 에, 접 에, 주, 접, 하, 난, 티, 조, 씨, 가, 작, 일, 에, 예, 니, 부, 주 사, 러, 니, 금, 일, 에, 초, 전, 하, 야, 법, 부, 비, 서, 참 서, 관, 을, 하, 니, 등, 씨, 에, 영, 화, 난, 사, 람, 으, 로, 하, 야, 금, 가, 이, 부, 립, 더, 라, 하, 라

● 狼狽俄國

정부에서, 하도, 삼, 심, 명, 을, 아, 라, 사, 에, 파, 송, 하, 야, 각, 반, 기, 폐, 를, 비 와, 오, 라, 하, 난, 의, 노, 이, 잇, 단, 난, 거, 선, 전, 호 에, 괴, 롭, 하, 엿, 거, 니, 와, 또, 다, 시, 도, 종, 종, 설 을, 드, 르, 니, 정, 부, 에, 서, 다, 시, 하, 도, 사, 심, 명 을, 아, 라, 사, 에, 파, 송, 하, 야, 전, 허, 병, 범, 을, 비 오, 라, 고, 의, 노, 하, 얏, 다, 더, 라

● 講習習藝

일어, 학교, 가, 본, 월, 십, 칠, 일, 도, 부터, 십, 구, 일, 에, 일, 으, 러, 삼, 일, 간, 에, 종, 시험, 하, 고, 니, 십, 일, 일, 도, 부터, 잠, 간, 철, 입, 하, 고, 폐, 하, 하, 야, 명, 연, 일, 일, 일, 일, 도 또, 시, 업, 하, 다, 하, 고, 스, 일, 어, 학, 교, 하, 도, 더 리, 양, 복, 입, 단, 다, 난, 말, 은, 일, 즉, 이, 드, 려, 더 니, 금, 번, 에, 서, 장, 하, 야, 입, 엿, 난, 티, 우, 리, 가 보, 니, 만, 참, 심, 이, 알, 응, 답, 더, 라, 스, 경, 성, 하 당, 이, 또, 한, 잠, 간, 철, 입, 하, 고, 씨, 폐, 하, 하, 난 티, 시, 업, 하, 리, 약, 은, 또, 한, 일, 어, 학, 으, 로, 갓 치, 하, 다, 하, 더, 라

● 北海遊歷

원산, 향, 스, 난, 宋之善자 가, 일, 본, 장, 기, 향, 에, 서, 화, 료, 선, 한, 척 을, 사, 니, 蘇水, 量이, 百兩이나, 되, 난, 티, 본 월, 오, 일, 에, 장, 기, 로, 부터, 셔, 원, 산, 향, 으 로, 나, 가, 리, 드, 르, 니, 이, 화, 료, 선, 이, 장, 하, 차, 씨, 기, 료, 주, 와, 원, 산, 사, 이, 로, 가, 니, 기, 료 주, 노, 곳, 부, 관, 에, 연, 하, 요, 지, 라, 아, 라 사, 희, 삼, 위, 와, 원, 산, 향, 두, 사, 이, 라, 원 산, 향, 으, 로, 가, 난, 을, 기, 리, 이, 사, 박, 육, 십, 니 라, 후, 이, 갈, 아, 티, 이, 화, 료, 선, 이, 과, 연, 원, 산, 과, 기, 료, 주, 사, 이, 에, 외, 복, 하, 주, 원, 산 향, 에, 가, 이, 씨, 날, 노, 設, 帳, 에, 일, 으, 더 라, 전, 에, 원, 산, 서, 거, 료, 하, 난, 일, 인, 과 조, 선, 사, 람, 이, 갖, 치, 화, 료, 선, 두, 척, 을, 고, 구 가, 지, 고, 원, 산, 과, 기, 료, 주, 사, 이, 로, 되, 왕 하, 니, 그, 화, 료, 선, 이, 하, 나, 혼, 원, 산, 호, 요 로, 포 또, 하, 사, 혼, 할, 양, 호, 라, 당, 사, 에, 외, 양 지, 파 한, 번, 되, 왕, 하, 면, 이, 가, 삼, 별, 만, 양, 이, 갖, 치 남, 년, 다, 하, 더, 라, 그, 후, 에, 이, 화, 료, 선, 즉, 전

부러셔

이, 그 계가, 다 파 상하야, 능이 단이

의徐兩善과 박갑찰과 현아모등일고명

서인되지

지, 못하야, 간에, 폐업하니, 이의

아라더라

기유인이

갓치, 물화를 원산과, 북관사이에,

● 崔提督人 청구소유, 사의, 부자

소씨에집

보닌난자이, 부득불, 뚫단비에, 못치

아십, 되야서, 돈쓰기를, 홀가치, 쓰

기부부주

난디, 뚫단비가, 죽어서, 만이있지,

더니, 노름선쇼모형제와, 밋왕이, 등

구비저참

못하난고로, 상고더리, 불편하단하

의, 서로잇설고, 창교잇던, 기성, 의

람으로

니, 이제, 송, 모에, 화륜선이, 전파

집에, 알으려서, 술면교, 놀며, 짓거

삼십명

갓치, 원산과, 길유사이에, 되왕하니

장기, 마당을, 버리미, 그노름이, 심

계를비

이함이, 만타, 하더라

히장하야서, 현변의, 천금씩던질서

선전호

● 觀察商賈 월전에, 경성과, 인천

가, 이렇기, 하기를, 스오일하니, 정서

로중설

과, 부산양항에, 거하난, 부자장사더

노름의, 진, 은냥을, 교배하죽, 독철

사십명

리, 갓치, 경성하야, 의견너른자, 두

아, 조고만치, 돈어다가치고, 그일을

법을비

어사름을, 일은으로, 드러보더려, 일

버렸떠니, 정씨가, 그노름의, 돈을,

월십칠

본에, 모단장, 하난법을, 시찰하야,

알코, 도라음으로, 부터마음이, 능

일간에

에, 체류하야, 잇다가, 이제다시, 더

히편하지, 못하야서, 물너그쳐의,

터잡간

판에, 드러와, 시찰하단하니, 이등상

노리키, 상자를, 취하야본족, 그속

일일노

고더리, 다조연에, 부상되고라, 도

의, 普飾하느, 피을이, 슈현금이, 되

학도더

라오난, 날이면, 크배배루난거설,

고지라, 그뜻의, 폐하야서, 상하로

드러더

불너라

른바이, 되야서, 일이후의, 피로할

우리가

● 市場移設 한성판윤, 李承淵씨가,

가, 두려워서, 드되여, 갓치도망질

경성학

호구조사와, 가로슈선, 하난것과, 노

하야, 장창그, 조시를, 남의문안, 선

한난

변에, 저자배, 주난디, 마암이, 도저

해청안예로, 음길드지, 잇서서, 지

으로갓

하야, 다시말하디, 남의문안에, 조

시회잇난거시, 인민에게, 비편하단

宋之善자

금, 더부르, 다서, 토목국, 기사가,

다시곳쳐, 슈리하난디, 당방에, 우준

선, 장

훈, 인민더리, 다갈아디, 그박년, 유

리국고를, 웃서서, 일시에, 시장을,

가니, 길

만들니오하디, 의논하단말이, 분원

하더라하니, 오호라, 준하느, 박성을

아라

은, 가이더러, 종을전를거시오,

가이더부러, 여시난, 못하거시니,

이라, 원

자고로, 그러하더라

● 勸懲勸教 전호의, 그지, 한전라도

유십니

스름박감찰, 돈숨만오현날을가지

전호의, 그지, 한전라도

과연,

가이더부러, 여시난, 못하거시니,

자고로, 그러하더라

죽, 원산

자고로, 그러하더라

● 勸懲勸教 전호의, 그지, 한전라도

일으더

스름박감찰, 돈숨만오현날을가지

전호의, 그지, 한전라도

일인파

고군슈임명, 하랴하 다가김의원의

전호의, 그지, 한전라도

두쳐을,

로포박이되, 하디니, 지작일의다고등

전호의, 그지, 한전라도

노, 니왕

가, 미양, 지관소로이, 하야연하야감옥서의

전호의, 그지, 한전라도

산호요

갓치였다느니, 그모든, 스름의성명인

전호의, 그지, 한전라도

화륜선

죽전총술의, 尹貞植과 金明濟와 陳승지

전호의, 그지, 한전라도

하야, 그중성의, 전파하야서, 전용서
의슈가, 방문하고루을은, 의게, 특
별이선처하야, 그노파를, 착하야
서, 임의게, 문조하야도, 그노파가,
도설을, 아니하느니라, 그을은이,
노하야서, 그손을, 버리게하고, 두
엄지손가락을, 노호로, 올라와서,
혹독하게, 형벌하니, 그노파가, 비록
삼이등의호르고, 정신을, 날려서,
죽을차임이되야도, 인하야, 창교죄
를, 할복하디, 안느니라, 그을은이,
엇지할슈가, 읍서서, 잠간슈암, 하
얏, 다가, 다시문조를, 두번하랴, 하
다니, 술척아, 구제하거든, 그노파
가, 비록, 이상교할하야, 악한담이,
하늘을, 쓸만하느니, 웃지능히, 범그를
의, 도망하랴요

詞藻

初冬雜詩 雪 林 知錄
客舍初冬不睡時。很多夢少夜遲遲。獨宿無復
歸來賦。更覺常看六地時。酒思之發恒天約。
寒愁竟極香無期。飯後時益人間事。慷慨發生
不自知。

詠雪
邊風瑟瑟三城多。志在中霄不在家。閃閃高飛
一斤雪。錦雲搖曳帶殘華。

又
錦甲鐵爪威更多。有時馴放大方家。矢牛獵物
管羣鳥。故至天涯眼自寧。

社告

今回本社新報地方購報諸君에 便利함은
經路 亞當路新門。으로 郵遞送達함을請
하얏다니 亞當路新門에서 認可되스
리 郵遞線路道에 諸君의 社報價 一兩二錢五
五分과 郵遞稅七錢五分을 에은 先給으로
보시시면 亞當路新門에 보시옵

新聞紙價

新聞紙一張 錢三
一兩間 先給 一兩二錢五分
三兩間 先給 三兩五錢
六兩間 先給 六兩七錢五分

地方購報者

購報者 亞當路新門에 認可되스
리 郵遞線路道에 諸君의 社報價 一兩二錢五
五分과 郵遞稅七錢五分을 에은 先給으로
보시시면 亞當路新門에 보시옵

1. The first step is to identify the problem or question that needs to be answered. This involves understanding the context and the specific requirements of the task.

●特別を以て
外務省に在りて、常夜の來賓には同僚費成員
の三十一年一
上村正己 生駒延太郎 中島健三
●各司令官部
●高村正己

●公立小學校 冬期休業 當地の我が公立
小學校は明日より冬期休業とす
●本野露國公館書記官 豫て赴任の途に
ありたる露國公使館一等書記官本野
一蔵氏一行は去る九日無事在日トリス
ボルトに到着せる由

●多田恒氏の出發 内閣官報編輯官たり
し多田恒氏は昨日出發朝鮮の途に就けり
●國務委員 軍務通譯官たりし國分哲氏は
來月朝鮮の管掌たり

●海口視察の歸來 海口視察の爲め本港
に赴き居りし川海關吏モラー、藤田吉吉
の二氏は一昨の朝無事歸にせし由あり

●李判尹の夜會 京判尹李判尹は去る
二十二日南門内の新館に於て夜會を催した
●クリスマス祝典 昨日は耶蘇基督の降誕
日にて在京城の各教會堂に於てはアーチを飾
り鐘を鳴らし信徒相率りて讃美歌を唱へ祈
禱を爲し宣教師の家々にはクリスマスツリー
洋人の兒童の爲めに饗宴を爲したりと云ふ

●朝市場移轉 南大門通りの朝市場は今
同門内にある廣惠恩内に移轉する事に相
決し居るやと云ふ

●義勇船會社と外人代表選舉 曾て報道し
たる帝國義勇船會社は今回東京日本橋區歌
寄屋町八番地に創立事務所を設けたる由なる
が、横濱居留地三番館チンベチメルフン
ル商會佛商アトルフンビー氏は右義勇船會
社設立の舉を聞き熱心之を賛じ丁寧なる
書面に金三百圓を添へ義捐を申込みたりと
聞ふ所に據れば同商會は今を距る廿五年前上
の横濱及び神戸廿八番館に開設し専ら輸出業
に従事し大に我國貨物の販路を開き漸次其業
務を擴張し近年に至り佛國有名なる各製造場
と連絡特約し漁乳、瀝靄車、氣船及び諸器械
類其他東洋向來物品の輸入をも營みつゝあり
又同氏は此外我國の各種美術品に對し義捐金
を出したる事は追々續々と云ふ

●軍艦入港 露國軍艦メアバー号及英國軍
艦インモーター号は何れも去る二十三日
長崎より入港せり

●郵船會社支店に於ては之を借受け一昨日神戸へ
廻航せし由あり

●孔子七十代の孫女 清國湖北省荊州府の
巨紳某の家に年卅餘歳五十前後の孔氏と云へ
る下婢あり蓬の如き頭髮を振り亂して粗末極
りたる濫衣を穿ひ居れば如何許と云ふ大家の
夫人らしき風采ありて一舉一動作法正しく主
人も當々異色をみせしや或る日事に觸れて
そが身分を詰りたるに家婢の孔氏は滔々々々
と語る聲の父は本と要獎の名士にして
孔聖より宛々も七十代目の裔孫に當り居る
が家不幸にて男子なく妾一人を掌中の珠
と守り育て女ながら十三年間學塾に入りて

聖賢の道を修り後に漢姓に嫁入して四睡の交
り長かれ祈りし甲斐もなき良人嫁姓は一朝
無常の風に誘はれて妾を棄て去りしかば寄
顧する身の幸なく遂には斯る賤役を執りつ
るあるも滿洲國に於て敷き出しければ主人は
始めて下婢の素性を窺ひて深き此れまでのと
亦た其奇事あるを傳へ聞きて現に多くの金銭
を獻して孔氏に寄贈し老妻を養はせんとて
熱心に運動中なると云ふ

●連累者の捕縛 朴監察賄賂を以て看守を
得んとして却て金總巡の奸計に乗せられ其金
を奪はれたること週日の紙上に記載せしが
其後金總巡の連累者にて捕縛せられたるは前總
巡尹貞賢、金明賢、前承旨徐丙差、玄某及び
朴監察等七名ありと云ふ而して右七名は何れ
も二十二日高等裁判所に移されたる由

●白雲山麓の貞婦 咸鏡道白雲山の麓に洪
義成といへるものあり妻徐氏と云ふ年未だ
二十に満たず姿色勝れて美しきのみか貞婦と
比ひて夫大事と仕へければ夫の仲離れ
じく悲憤和諧して家内は波風あけられざる
の仲に子寶あるとのみ小夜の庭覺て陸言にも
いと本意なく語り合へりされば洪氏は子なき
に心や狂ひけん或は天魔や頭を宿りけん何時
の頃より近隣の素性も知れぬ女を慫慂と通
じ始の程は人目を忍び居り居りしに後には
漸く增長して伴の女を己か家に引入れ妻の
前を擲りて淫酒に耽るを援けし居る故徐氏
痛く心を傷められとを申し陳ひれば否氣嫉
妬と叱り敢て果ては此迄に及ぶ打撃さる
にぞ心細くも涙ながらに歎し居れば伴は女
なき妻に難辭つけて逐ひ出さんと謀れども
正しき徐氏すれば口實なきにわづみは此上
はいつと二人他郷に落行て面白可笑しく世を
暮さんとの用意を整へ或日妻の不在を窺ひ
二人手に手を取交し何處を當て定めず足に
任せて落延けり跡に徐氏は婦り來り二人の
影もく夫は其間に一封の書置あるに打撃さ
るいそぎ封切り讀み下せば此迄に二世の契り
なせしとなれば共に合のぬれ多ければ實
は三行半を投げ與へ買家に逐逐す苦み共入
しき間の契りに面し我は此處此家を去れば
と云は一人家を守るなり或は他へ嫁つて
り勝手次第に放すべしと云ふ文意にわづみ
迫り先立つ者は涙にて倒へ様なき夫の心比異
の床のさか草に二世を契りし妻と云ふ如何
なる譯のわづみとて一人殘去て玉の緒の消さ
る消よと打捨て賜ふ心は鬼か人ぞなし此と云ふ
も彼の女のわづみとて此所詮にきて甲斐なき我
命此處死で幽鬼となり取殺して呉れんぞと云
上りしがや待てれば此客氣嫉妬は女のたし
き假令此身は捨てられども夫と失喪夫なり
我は心直にして墮を堅く持つて夫の失
迷は次第に暗く二度花さく春もあるべしと云
りり」と涙を止めぬ妻の聲も抑はばこそ日
夜勞苦に身を許さ一人家を走り行く心強きこと
殊勝なり(つづく)

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん

●釜山通信 (二十日發)
●軍艦祭の概況 當地守備隊は昨十九日と
以て軍艦祭を舉行せり今其の概況を報せん



日本郵船會社 汽船仁川廣告

●仙臺丸 十二月廿九日出 廿八日入
長崎、香港行
船長 船長

●兵庫丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●長門丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●伏木丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●越後丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●駿河丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●肥後丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●玄海丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●日本郵船會社 仁川支店

●舞子丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●隆盛丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●筑後丸 十二月廿九日出 廿八日入
釜山、馬場、神戶行
船長 船長

●大坂商 仁川荷客取扱所



仁川荷客取扱所

●上等 金壹圓

●中等 金七拾錢

●下等 金五拾錢

●下宿 金五圓

●下宿 金五圓

●下宿 金五圓

●下宿 金五圓

●一等 壹圓
●二等 七十錢
●三等 五十錢
●下等 三十五錢

●田原旅館

●仁川港商況年報

●朝鮮新報社

●新刊發賣

●朝鮮王國

●目錄

●發行所

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●民友社

●溫飽蕎麥土 五拾五以下 壹錢

●卸賣大勉強 五拾五以上 壹錢

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

●着荷銃

以上 壹錢八厘 壹錢六厘 岩源

玳瑁 玳瑁 玳瑁 玳瑁 附 屬 和 泉 商 會 護 漢 履 長 履 西 洋 服 各 種 子 帽

津石炭販賣所 木竹健夫支店 京城泥規

止風集 隨意 總宗匠樂撰

以込所 漢城新報 正風會

吉 一朝鮮館 小杯菓子製造所

煎餅 數種 罐詰 魚佃煮 海苔大和煮

御披露 茶碗 小田卷 歌哉 稻荷 善哉 御調子

此外御看いろく 右之先達より開業仕升たて就て之積一杯 勉強 御譽に頂る程には出來かね 升るがハンの熱ひが取得に去て御 風呂の返へり道に一寸一盃 内よりも御暖うあれと蕎麥湯の熱釜

南山湯の戻り道 君が蕎麥

東京流行新行 中山高帽子 鳥山打帽子 中折帽子 大黒帽子 海軍帽子 學供帽子 新子帽子 着新子帽子 毛メリヤス サルマタ 店商屋龜 岷泥城京

銘酒販賣廣告

一菊正宗 一春駒 一金露 一文明 一澤龜 其他醬油類各種

右ハ是マデ營業罷在候處各位ノ御愛顧ヲ蒙リ 日ナ増シ繁榮ニ赴キ候段難有奉深謝候就テニ 販地應元ト特約シ御小賣共大廉價ヲ以ツテ 販賣仕リ向ホ小賣ハ毎日店員ヲ差遣シ御用向 爲相問候間五合以上ハ優或ハ優利等御便利ニ 應ヒ持参可爲候ニ付多少ニ不拘儀々御注文 多額上候 但御便宜ニ依リ各酒類ノ切手モ差出可申儀 京 城 羅 洞 佐藤酒店

廣告 日本紡績木綿 一朝鮮人士腰帶 右品ハ朝鮮各諸君ニ從便を위하야만히 泥規四拾貳號大襟전방의기織入す야돌 件은상品을리품하고薄利로호성호 尼四方諸君多難을荷치아니하시야사기 를선만바라옵

大日本岡山縣兒島郡秀天村 市 泥岷大塚 慶房居 高田平次郎

雜貨 業次買貨 賣販托依并 引々通都府縣 店通都府縣 業通都府縣 賣販托依并 引々通都府縣 店通都府縣 業通都府縣 賣販托依并 引々通都府縣 店通都府縣

紙捲煙草 十本入 吸口付 ビーコック 金四錢 右入數品切中ノ選本日新着仕候 泥 龜 屋

祝新禧和歌集 勅題 松影映水 寄切本月三十日限 右來る三十年初刊の本誌に掲げ以つて美平の 學代と敬禮せんす諸君大方の同好雅伯様々 御臨誄あらば幸甚

發行所 漢城新報社 新編定價 三個月 六個月 一年 五錢 十錢 二十錢 發行所 漢城新報社

漢城新報

說

書丙申歲刊新報後

時勢之變天爲之也... 天運其行而時勢變時勢既變...

官報抄錄

宮廷錄事 ○本月二十一日冬至 大君主...

命宮內府大臣

臨時署理事務 慶安大臣沈相...

雜報

○漢廷雜報 曷昔加國、加里福... 曷昔加國、加里福...

Table with dates and lunar calendar information: 明治二十八年三月六日, 陰曆丙申十一月小, 廿四日, 月曜(乙卯)...

○漢廷雜報 曷昔加國、加里福... 曷昔加國、加里福...

가, 각답
나, 만오
지, 금
로, 붓
출적지
상남도
야갈아
이월스
일리가
이느다
이느다
를, 풀지 아니더라

●李氏傳

민관관
화화요
유를
의논
장차
민인
이자
뜻으로
금관
금지
하야
직업
인
난, 지
모
어
호
설
거
에, 조

드리를, 생각하시오하니, 이 사람이
갈아, 다도부인이, 말하기를, 기
다릴거시, 아니라, 그별출은아나,
가본디, 장수자하니, 돈니옵서,
한지못하고, 농수할기옵고, 다만
못한거시라, 농수할기옵고, 다만
만보난디, 부인으로, 하야금, 자모의
어린자식이, 먹고살아가니, 비로
니외간, 이라도, 아은해를, 웃지다,
갈아리오, 그부인, 이말을듯고, 그
가장을, 위로하야, 갈아디, 성구를
망이라, 하난말이, 잇스니, 설마
은자모호분과, 어린자식남미를, 아
스지경에, 이르계, 하리오하고, 지성
으로, 그시모를, 섬기니, 하날이, 감
동하야셔도, 웃지먹을도리가, 성기
지, 아니하리오, 이러므로, 이사람이
그부인은, 세상에, 읍서여기여, 금
설이, 미우조존지라, 일일은, 그모친
니병이드러, 비약이, 무효하거날,
부인과, 그스나외가, 지성으로, 시
병하나, 천명을, 웃지하리오, 인
야, 명이친하니, 초종별절과, 안장
제철이, 읍난지라, 그일향사롭디
리, 정상을, 불상이, 여고여, 포목과,
전날을, 부조하거날, 이를형언어, 선
산에, 장수지되고, 삼년을, 지니
석, 조석상식과, 삭망제전을, 정성
로, 지니여, 삼년을, 지니서, 어린자
식, 남미와, 그가장을, 다리고, 전과
갓치, 지니난지라, 일일은, 그부인
니, 그가장다려, 말하되, 우리집이,
본디양반에, 자손으로, 아궁향에,
잇서서, 불동불상하고, 살간의, 망연
하야, 어린자식도, 궁겨죽이겟고, 또
사나호가, 세상에, 나미, 입신양면,
하난거시, 사상에, 도리인즉, 우리
디의, 자식덜다리고, 서울노, 가서,
일가도, 차자보고, 출입도, 넘니
야, 과환을, 힘을써서, 장년을보자
니, 이사람이, 대답하야, 갈아디, 이
말이, 웃기난, 극히조흐나, 양슈형
종으로, 웃지빅스지에가서, 살니
고, 그러나, 그말되로, 하야보스이다
이, 나, 만드러가지고, 노자하야, 남부

녀티하야, 서울노, 올라오니, 열간초
육이라도, 웃년슈읍난지라, 그일가
집, 몇간하나출은더가지고, 잇스니
시골과, 달나서, 더욱살기가, 어려
난지라, 그러나, 이부인니, 남에바
느질하고, 돈냥바다, 먹난고로, 밤
낮잠을, 일우지못하고, 잇스니, 이
갓튼, 상의를, 뒤아니, 가금어, 여
리요, 이사람은, 조석을, 먹으나, 아
니먹으나, 남북촌으로, 떠나면서,
형세하야, 과거보기만, 힘을쓰니, 웃
지, 졸련하리오, 일일은, 북초어터로
갓다가, 날이, 저무러, 천구를, 맛나
서, 우리노다가, 밤이깊엇난디, 초롱
에, 불을들고, 남북촌으로, 건너올서,
어느골목에, 오더니, 어터로서, 웃디
흔, 장옷을, 제집이, 뒤에오거날, 마
암에, 헤오디, 어터로, 가난제집난가
보다고돌녀다보도, 아니하고, 오
거날, 이제집이, 어터로, 가지난, 아
니하고, 꽃따라오거날, 피이여기여
우리보고자하다가, 또다시, 성각
하디, 웃디흔, 제집인지, 아지도, 못
하고, 말하야, 무려보다가, 무안을,
당할가하야, 무려보다, 아니하고, 그
되로, 오거날, 이제집이, 또흔, 그되
로, 오난지라, 집근처에와서, 이사람
은, 집으로드러오고, 이제집은, 문
밖게, 섰거날, 문을닫고드러오니,
그부인니, 저녁밥을, 화로에, 노와
두고, 기다리다가, 그가장이, 오거
날, 밥을뒤여, 노오니, 이사람이, 밥
상을뒤하야, 밥을먹으며, 그부인다
려, 그제집이, 따라오던말을, 하거
날, 그부인니, 말하되, 그러하면, 그
제집이, 어터로, 가웁던것가하니,
이사람이, 갈아디, 그제집이, 이문
거지와서, 가지난, 아니하고, 문압
히, 선난거설, 보고드려왔노라하니
그부인니, 갈아디, 이심야에, 사람
이, 따라오거날, 웃지되문전에와서
섯난거설보고, 문을닫고, 혼자드
려, 왔난고하고, 죽어나가서, 문을열
고보니, 그제집이, 그모양되로, 섰거
날, 마암에, 놀디며서미완

文任
報

●大救風說
여항전설의 하였시되
국편의일과

티군주, 폐가에게서 장차 명제궁으로, 이어 후의, 경향의, 지슈한, 죄인의, 죽은, 죄이한단, 모다방면, 할것으로, 금미리, 스승은勸을, 써서둔다하니, 관연듯는말, 갓흔죽, 다소죄인의, 만수은덕, 일노라

● 裁判官吏異
지작일에송민하니
히이글혼자 가있서서촉명을도부흐
직지판관김 조씨가듯지아니하고
도로여그백성을불법으로갓짓고물
니첫더니법행한씨가상주하디김씨
가촉령을죽이지아니한다하야김씨판
즉을방면하니김씨에서상씨가
하고서씨디가마준영씨가하고마씨
디에김인형이가혼다하더라

● 國權伸張
오십륙명이 피당하야 외일으러셔하
성지판소유치창과방중집을올다파
쇄하니 본지관관리더리다도망하야
다라나고오고정니이명이중상하미
군부와맛경이청으로부터셔관리더
리와셔그진기를탐지하고경무청고
문과설필임이가또흐스일을탐지하
니피상한정리한명이교군을타고셔
집으로도라가다난디그근저인적지
나간이십륙인에병정현명이저판소
예송스하야식슬때에거라안져담비
머거날정리나그비리를척망하얏다
니병정이마신에불합호고로작일에
작공하얏다라

● 吏 室 冤 聲
밀양군 권수(李鼎煥)씨가
신식을 좇아서 경늬를, 일신이, 향
교자향야 그례를, 폐지향야, 각면
도서원을, 물(고)고, 허지인민중에
문산잇고, 시혜잇난자로, 차출(고)
야, 조계거두 안소임을너니, 인민더
라, 편이하다. 나, 리서키더른, 소류
읍다고, 호원(고)더라

● 唐史失望

전호에, 기록한바, 전
산군슈, 윤갑 공과, 간성군슈, 서상
덕두씨가, 다 밭상흔일노, 지슈흔약
난디, 근얼은 서예, 아오가, 여러번,

범부예, 티슈하고, 청원하되, 아
오랄, 티슈하고, 형을방면하야,
그장전은, 비랍을다하나, 범부에서
드지아나하고, 그소장을, 을나쳤다
고더라

● 氷半之變
슈일전부터, 일과가,
심이 차서, 경강이 합병되었다니, 근
일에, 일과가, 풀너여, 여름이, 초현
이, 으지 못하야, 여름을, 타고서, 되
왕하지, 못하코, 벼도되 왕하지, 못
하느고로, 형인이, 심이, 어렵다, 하
다라

●瑞興客語
근일황희도서흥으로
오난스름이, 말흥야, 갈아티, 셔을
노봇터, 시골각도, 각읍예, 호구조
스, 흥난티, 호적식양, 조회를, 미장
예, 느품식흥되, 유독셔흥고인죽,
미장예는돈식, 거두니, 다름곳보담
심빅나, 더흥지라, 지금장참, 다투
에, 정흥다흥덜라

② 吳丁 慈蘭 저작일에, 북부지동,
교번소에, 병정슈명이, 지닌가다가
, 슬픔으로, 더부러, 무단이, 닳트고
, 슬금두멍을, 구라하얏다, 하더라
③ 印板紙專賣風説 각부에, 소용인

판지를, 지금각속, 그본부로부터,
조의를, 무역하여, 인출판간, 하난디
있더한, 모리하난, 사람이, 그리되
난거슬, 생각하고, 각부에, 소용안지
를, 스스로, 인간하여, 각부를, 수응
할, 뜻으로, 지금주선, 하다하더라

●地師榮傳

지스야모씨가

능지부당할일노여려번출입하여그
공노로지금순강원슈봉관을임명하
앗다하더라

● 黑多白小
근일에, 강화로, 오만
스람에, 말드르니, 그지방, 인민더
리, 본년십월노, 붓터서, 다흑일을쓰
고, 리교빅더른, 허군슈를, 근시하
난교로, 백일을, 썬다하더라

●奸諂露出 간성군수서상되 씨의
말은 전호의 괴를 하였더니 와동씨가
중의 지를 팔 천 여냥을 팔 할 하셔히
군민언아 모게 유치하 두고서 씨공
스인즉 그 도 팔 천 양을 박성의게 채금

하였다 하니 법관이 그 돈맛은 자를 노
 인 할야문 초하니 그 사람을 공수히 의서
 씨의 유치한 돈 팔 천 여 냥이 있되 씨지
 제집의 잇다 하여 씨씨의 간적이 현노
 하고로 삼오 일 할야 그 안의 그 돈 팔
 천 여 냥을 중을 노여 준 후의 중의 證書를
 법부로 납상 할 듯이 그그 사람을 노려
 보 노 었다더라

동서
 디 한
 십 노
 할야
 일의
 디, 쓸
 가, 읍
 처와,

● 愛狗死 서소문밖, 풀누설의, 한 면하
송씨가 잇스니, 느히 팔십이, 되도 그 말
록, 슬하의, 혼노자녀도, 읍고, 담은
이, 노응부처가, 지한머리랄, 기르
되, 그지가, 민첩하여서, 제반셈부름
이, 어리석은, 사름보담, 느은지라,
그송응부부가, 심히사랑, 하기를, 십
여년을, 하더니, 슈일전의, 그지가,
우연이, 병을어쥌거날, 그늘근이,
부부가, 일장등곡하고, 돈슈십금을
드러서, 그지를, 영장하니, 보는사
름들이, 흥호노이도, 잇고, 혹볼상
하게네기는, 니도, 잇다하더라

●勒聲締志
 씨란 지이 스니 형세가 심히 간는 홀더
 니그 아 들은 죽고 파 부된며 느리가 있
 는디 괴 홀을 건디지 못하야셔 그식아
 비의 게고 홀지 아니홀고 다른 곳으로
 강원도 잇셔 각
 모단

나 하신
더니
노라이
추에
녀지
관이되
여우
심령을
기고
지아비
지라
라교부
더하니
지은비
죽가히
연하야
만일그
차아나

기다려, 가히, 부수의, 즐거움을, 미
지리어 다하니, 김녕알, 그글, 듯기
를, 원한노라, 신취, 그글을, 의오니,
갈아딛, 소음타는, 활소타는, 환구
를, 그림자속에, 가을, 우리, 구을넋
드다, 하였거날, 김녕이, 본디, 용우
하고, 공취, 신흥지못하니, 전수불미
하며, 생각하니, 그딛를, 엇지못하니
맛춤디, 합환지나을, 일우자못하고
, 밝는날, 집에 도라와, 분향을, 의의
지못하여, 꽃절노, 올나가, 다시,
공부하기를, 힘쓰나, 그러하니, 현
마음이, 그, 글딛, 일우기를, 생각하
니, 항상, 근심하는빛치, 척하히지
라, 일수는, 니 동이, 무려알, 그딛, 천
영혼후로, 부터, 항상, 근심하는빛
치, 잇스니, 혹, 현합이, 마음에, 맞지
아니하여, 그러한가, 다른일의, 관
심함이, 잇서, 그러한가, 봉우지의,
본디, 오른가온디, 잇나니, 정이, 형,
데와, 갓호디, 무슴말을, 못할리요,
근심하는바를, 은취치말고, 말하라

3

갈아엮, 진소위, 오조숙녀, 군조호
구로다, 그티, 이조흔 아람다운쌈을
어드니, 종덕할문호에, 반다시, 난
은경석, 잇스리로다, 하더라, 슈일
이, 지는후, 김낭이, 홀연 손으로, 서
안을치며, 희석이, 난하거날, 니
동이, 그연고를, 무른디, 답왈, 이제
야, 니조의, 글, 티구를, 어덧스니,
명일은, 장차, 니려가리라고, 이
하야, 그티구를, 의오나, 갈오티, 입
스귀, 먹는, 누에소리, 푸른나무,
근을, 가온디, 볼비가, 지났도다, 하
였더라, 명일에, 그쳐가토, 갈서, 니
동이, 또호, 장형하야, 할가지, 산에,
니려올서, 만장절벽우회, 길을당하
되, 그아리, 또호, 만장이나, 김낭못
시, 잇는지라, 김낭이, 관을, 버스며
, 씨를, 글으고, 바회우회, 안조, 변디
을, 볼서, 니동이, 홀연, 흥계를, 뒤
며, 김낭을, 차서, 바회아리, 못세, 또
웃쳐, 죽이고, 죽시, 그관을, 쓰며, 그

詞藻

咏麝

米溪曰意中之語語中之境微而有芥誦之三復知者應知其真

社
告

● 本年終刊及明年初刊

본신문지를본호로써긋쳐서명년날
그일월오일노시작함

今回本社新報に地方諸讀諸君に便利함을
經論하야常路衙門으로蜀邊送達함을請
하얏더니露商工部衙門에서인認可되스
리說選銀沿道에諸君은社報價一兩一兩二錢
五分과蜀邊稅七錢五分을에은先給으로
보디시면日田에보디시옵

酒禮策禮部

新聞紙一張

一朔間 先給

三朔間	先拾
六朔間	先拾

六藝圖考

五十年來

아
요
條
及

슬을 밧고서

特別廣告

例年之通り來り十二月廿九日
明治廿九年十二月廿九日
明治廿九年十二月廿九日
明治廿九年十二月廿九日

在京城日本領事館

右邊相成候ニ就 ハ常役場モ同様休暇致候間
此段廣告ス
明治二十九年十二月廿四日

居留民總代役場

雜報

●帝國議會の開會 日本帝國議會は例年依り去る二十五日より開會せられたり

●衆議院議長 衆議院議長は鳩山和夫氏當選せしと云ふ

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

●露國武官の發着 我公使館付武官主とて去る二十五日より開會せられたり

因 記すは此の會の監督は湖上貞助氏ありしが來年度よりは事務委員松本達二郎氏監督せらるゝこととせられ又來年度は壹百貳拾圓以上の補助ある趣きに付來月より授業料一ヶ月廿拾圓と七拾圓とに改むる答ふ

●登校法の不便を訴ふ 是迄警部地租賦課法の一定せざることを以て不便を訴ふるが此頃右賦課に付不服の點ありて仁川港稻田勝彦、柳一平吉、大田吉太郎の三氏は其の一片の訴を遞送せしめ其理由を聞くに當國に於て留地外一里二里の土地は餘約上外國人に買得るべきこととあるより先年來同氏等は同港附近の土地を買得し所有せるが其買得の當時は地租地價等の比較上より収支を以て賣買手續を了り既に同年は其買得當時の租額により稅務所へ上納し居りしが本年に至り更に地券を頒せしに前

の租額より比しは實に數倍とされ加之當國に於て之租一に付銀錢百五十文則我六錢の利にて課稅せしより同氏等は右の不當徴收に對し先般來監府へ出頭し其理由を糾す處ありしも免る暇味に打捨て居るより遂に同氏等は連署の我仁川領事右の次第を訴へ出でたりと

●兵丁法廷を以て 昨日午後二時頃兵丁約十六名漢藏裁判所に押寄せ來り硝子窓を打破り器具をもち其勢當るべからざるより同所の各官吏は逃げ出たせしが兵丁等は遂に延更二名に重傷を被らしめ其鐵引取りたり斯く急報に接し軍部及警務廳より武官警官馳せ付て一方に被傷の延更を介抱し一方には該暴動の原因を調査せしに兵丁一名何か訴ふ事ありて「裁判所に來り延内にて喫煙せしを延更中より捕らひ責せしを遺憾に思ひ黨を聚り來りて之を亂暴とせし次第なり」と云ふ

●松主募集の願 陸軍少佐武田信恭氏等の創立に係る義勇隊協會社にては目下株主募集中あるに仁川の大河原真裕氏は武田少佐と親懇の間あるを以て該社より此程同氏に株主募集其創立に關し尽力し果れたい旨依頼し來れり云ふ

●仁川商況 米は引續き出品多數にして從相應に取引出來し居り相場も高直に保合しが昨日前米相場も高直に傾きたるに當り相場も昨今 休に二十幾方の下落を見るに至りたり○大豆は諸川結米後頃の出荷減少したり昨今は堆積道邊より弗々運搬あれども至て小口ものにて米に比し十二分二位の出數あり相場は依舊高直に保合し居れり○韓船の出入は昨今頻りに來り舊年末も一日と通追し來る折柄れば速に荷物の積卸を望むの意あり昨今の廻船は全羅忠清の兩道重にし有様なり

●藤井友吉氏 轉宅祝ひ 藤井友吉氏は舊東京館の跡を受けて轉宅し屋内の修繕裝飾等全く成就せしに付一昨日午後六時より居留地の重立つ人及び氏知友等數十名を招き宴會を開かれ客共に十二分の歡を盡し満座の人々交はし其和入りの趣し發を出入りし果ては興さうて一同總立ちとなりて踊

の不非常の盛況を極め深更に至りて退散せり○白雲山麓の貞婦(ついで) 此に洪は彼の女を伴ひて人目を忍び落り行きしが幾夜寂寂に夜を明し細語口説に日を暮し十日餘やうの日を重ね一先づ咸興府に足を駐りてある家に借つ受け相變はらる淫酒に耽り爲す業とてさう空しく暮し居たりしが坐して食へば山へ空し次第に懷素さき覺へ朝夕のものを乏しくありにければ其婦の本姓此に頭はれ彼の女はまたもや近隣の惡漢と被さるね被さるね果ては洪氏を置き去りにし惡漢と手を携へて何處ともなく逃亡せり斯く知りより洪氏は齒がみして腹立つれど取れど逃がれど逃がれど此に始めて迷ひの夢を醒し故郷の妻の慕はるれど流石に落ぶれ果し身なりて尋ね歸へるも面伏されば或る商店に幸公し苦しみ月日を送り行くは自來自得といふひがから哀れありける有様なり

話かはつて妻の徐氏は一人故郷に残り居りて誰慰むる者もなき淋びまき家を守りつゝ晝夜職業を勵みければ一兩年の間に若干の貯金出來し次第に富者の身とされ増更去りし夫の慕はしく神に念し佛に祈り其行衛を尋ね居りしに此頃咸興府邊に我夫の最も落魄し見る影もなき哀れはれ境界に陥り居る由人の話に傳へ聞き夫の行衛知れたりとて飛立つ迄に心うれしく直操行李を整へて咸興府に立出立し則れね旅路も女の一念神の力を杖と頼み心細路たどり行く逆旅の寒さくして寢覺勝にも夜を明し朝の露に衣を濡し夕の雨に袖を被り聞かざるは哀れはれ艱苦を嘗み相續咸興府の近村に至りし時道の傍に一人の乞食あり女と見へてかざるの髪を振り亂しつゝ裸衣服とせ見るもいふべき姿あるが徐氏を見るより最と打罵さ思はれ聲を擧ぐるにぞこは訝しと熟視すれば思ひきや先に我夫を誘ひ逃亡せし誰婦なり彼奴の爲めには我ははれ夫迄も憂慮し腹を癒やして呉れんぞと直操ひつゝらへ惡の數々責立つれば女は流石に顔も擧げ得ず痛く從來の罪をわび却説めて語るやうわらは不人情にも洪氏を捨て惡漢と二人夜まぎれに逃亡し花の都と音に聞か漢城まで出立し或日、とある山中を通るとき數多の盜賊出來りて有無を言はず金子衣類を奪はんとすれ

ば男に裸を覺えたり何條巴等に奪はれんと多勢を恐れ手向ひしが誤つて足ふみ外し底に見へざる千両の谷間に落ちて生死も知らずありにけりわらは驚き怖れて逃んぞすれば手も足とりかしませられて衣類金子を奪ひ取られしのみか寄り來りて慰さる赤裸にて途方にくれしがやう／＼に人の情にてつゝの衣裳一枚を貰ひ受け其れより後此の通り乞食と追奪されし元を正せ我れより求めし天罰と心付きさうり改心致せしと語る言葉は強きと見へねば徐氏は流石に女の心弱く却つて金と尋ね行きて六年限がに願合せ先きだつるは涙にて恥入る夫を看みそし身の上を方と委しく語れば聞ける夫は我身の不始末を耻ぢて切らると思を爲し深く妻の苦節に感じ入り神に己れの改心を誓ひ再び舊との夫婦となり主家に親を乞ひ二人連れし手と取りて故郷にかへりしは去月半ばの頃なりしと(終)

●賞與披露 這會の成績により賞與する左の如し 仁川日本居留地朝日亭内 本紙一ヶ月 白女 門田洋美子 及賞花一組 全陸運通通信部 賞花三組半 加遊 加賀美 守 全 一組 龜玉 無名氏 全守備隊第二中隊 柳月 吉濱竹太郎 全半組宛 全南都會貨物路 無名氏 柳雨 無名氏 因に記す前會及這會は共に集句僅少隨て上座咸賞せり又初心伯の詠事は選定役者に付省略依て大會出詠中一組無人花

特別廣告

通告 商業會議所會員半數の任期滿限に付選舉執行方同會議所より限會有之候補來る 九日午前九時より正午 十二時までのに選舉權所有者の中(留任者を除き)より七名撰舉投票相成度此後廣告す 但し被選舉人名簿は當役場にて參觀あるべし

明治二十九年十二月二十七日 居留民總代臨時事務取扱 峯尾音三郎

留任者 松本武平 潮上休兵衛 平原雄雄 和田常一 森田次 山口太兵衛 前川伊之助 左近富太郎 松永達二郎 岩下彌助 關太郎 原田松茂 中村再造 潮上貞助 平岡寅太郎

退任者 十二月廿八日 山口恒次郎

社告 本年發兌の漢城新報は例に依り本報を以て最終とし明年は一月五日を以て初紙を發刊す 十二月廿八日 漢城新報社

漢城新報社



日本郵船株式會社 汽船仁川廣告

●仙臺丸 十二月廿九日出廿八日入
長崎、香港行
船長 香澤行

●兵庫丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶行
船長 ウチノリタ

●長門丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶、浦戶行
船長 ケルイソ

●伏木丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶行
船長 ケルイソ

●越後丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶行
船長 ケルイソ

●駿河丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶、井上、三郎行
船長 井上三郎

●肥後丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶、井上、三郎行
船長 井上三郎

●玄海丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶、井上、三郎行
船長 井上三郎

●日本郵船株式會社 仁川支店
汽船仁川廣告

●舞丁丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶、井上、三郎行
船長 井上三郎

●隆盛丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶、井上、三郎行
船長 井上三郎

●筑後川丸 十二月廿九日出廿八日入
釜山、馬關、神戶、井上、三郎行
船長 井上三郎

●仁川荷客取扱所
大阪商船會社

御旅神戶屋
朝鮮仁川各國居留地
第一貳拾六號地

朝鮮仁川各國居留地
御旅神戶屋
第一貳拾六號地
禁館從來業龍在候選各口御旅神戶屋
蒙り日ニハ繁榮仕候段參深謝候
今般客室ハ他百事故員ヲ施シ御待遇ハ
申ス及ハズ御料理等モ衛生上注意ニ
注意ヲ加ヘ就中浴場ノ如キハ一層意ヲ
注シ又タ泊科ニ至ツテハ精々低廉チ
旨トシ概シ左ノ三等ニ區分スト云ハ
御ホ如何ホトモ御相談仕候間何卒舊ニ
倍シ譽讚ヲ授宿ノ程參頭上候

上等	金壹圓
中等	金七拾錢
下等	金五拾錢
下宿	金五圓

但室内別熱覺ノ上御相談ニ應ス

禁館御泊科在ノ通り相定ノ極々丁寧親切ニ
勉強仕リ候間倍々御愛顧願候

一上等	壹圓
一中等	七十錢
一下等	五十錢
外二下等	三十五錢

京坂泥規 三十八號
田原旅館

仁川港商況年報

在仁川帝國領事館調查
明治二十八年
東京秀英會印刷製本
定價金貳拾貳錢貳郵稅貳錢

朝鮮新報社

朝鮮王國

目錄

●四六版大凡六百頁 定價五拾錢 郵稅八錢
●白頭の背系、白頭の西商系
●六六版大凡六百頁 定價五拾錢 郵稅八錢
●白頭の背系、白頭の西商系
●六六版大凡六百頁 定價五拾錢 郵稅八錢
●白頭の背系、白頭の西商系

發行所

東京市京橋區
日吉町四番地
民友社

新茶

御玉露製 一斤金壹圓五拾錢
御煎茶 一斤金拾六錢
御煎茶 一斤金拾六錢

朝鮮物產依託販賣

并ニ諸雜貨買次業
右ハ萬寶チ目トシ精々御便利ニ販賣
可致候間多少ニ拘ハズ御用向アラ
ソナチセ

加庄野嘉久藏

大阪市西區北堀江通四丁目

溫飽蕎麥玉 五拾玉以下
卸賣大勉強 五拾玉以上
壹圓

着荷銃
西洋新式銃
日本村田式銃
廣 告

JAPANESE
COAL
DEALER
本日大
等壹
唐津石

第拾壹會正風集
題歲旦隨意
豐秋園瑞穂宗匠

薩摩煙草卸賣
刻達共
右

新到御着披露
船來ビスケット
瓶入洋菓子數種
梨、桃、梅、杏、罐詰
堅魚、鰻、小鳥、大和煮

川畑勇吉
煙草商運出店

生以下 壹錢八厘
五以上 壹錢六厘
君う 岩源

品 銚 銚 銚 銚
屬 附 銚 和
會 商 泉 護 漢 履 履
帽 西洋服各種 子

津石炭販賣所
木村健夫支店

止風集
隨意
天位漢城部 銀二ヶ月分
地位全一ヶ月分八位貳
組五聖堂部 拾壹位組貳
各次會部 花英切高ニ
依り増資

以込所
漢城新報 正風會
社理僑設

宇治の新茶いろく
仙波店
仙波店

朝鮮鮎
小林菓子製造所

煎餅
鮮魚佃煮
海苔大和煮
罐詰
龜屋

御披露
茶碗むし
小田卷むし
歌哉句そは
稻荷うそん
うそんそは
善哉
御調子
此外口香いろく
右と先達より開業仕分たし、就て一掃一杯
勉強 御譽に就て、風味はナカク、
御客の御譽に就て、風味はナカク、
升るがホソの熱ひが取得、三つ御
風呂の返へり道に一寸一盃、かかろ
内よりも御暖うあれと、蕎麥湯の熱釜
まゝも、南湯の泉り道
けふ 君が蕎麥

東流新行
中山高帽子
中山打帽子
中山折帽子
中山黒帽子
中山軍帽子
中山海軍帽子
中山學軍帽子
中山小供帽子
中山毛メリヤス
中山サルマタ
店商屋龜 帆泥城京

銘酒販賣廣告

一 菊正宗 一 春駒
一 金露 一 文明一
一 澤龜
其他醬油類各種
右ハ是ニテ、各業能ハ、御愛顧ヲ蒙リ、
日本酒、醬油、醋、味噌、醤油、
販賣、仕分、小賣、大賣、
販賣仕分、小賣、大賣、
為、御愛顧、
但、御愛顧、
月日 佐藤酒店

廣告
一 日本紡績木綿
一 朝鮮人士腰帶
右品々、朝鮮各諸君、
泥岬四拾貳號地、
右品々、
大日本、
市、
慶房居
高田平次郎

雜貨并
業次買貨
賣販托依并
右品々、
業次買貨
賣販托依并

祝新禧和歌集
松影映水
右品々、
祝新禧和歌集
松影映水

發行所 漢城新報社
右品々、
發行所 漢城新報社